



花坂

honasakokun ha
oredoke ni yasoshii

くんは

俺だけに優しい

宮下キツネ



宮下キツネ

Kitsune Miyoshita

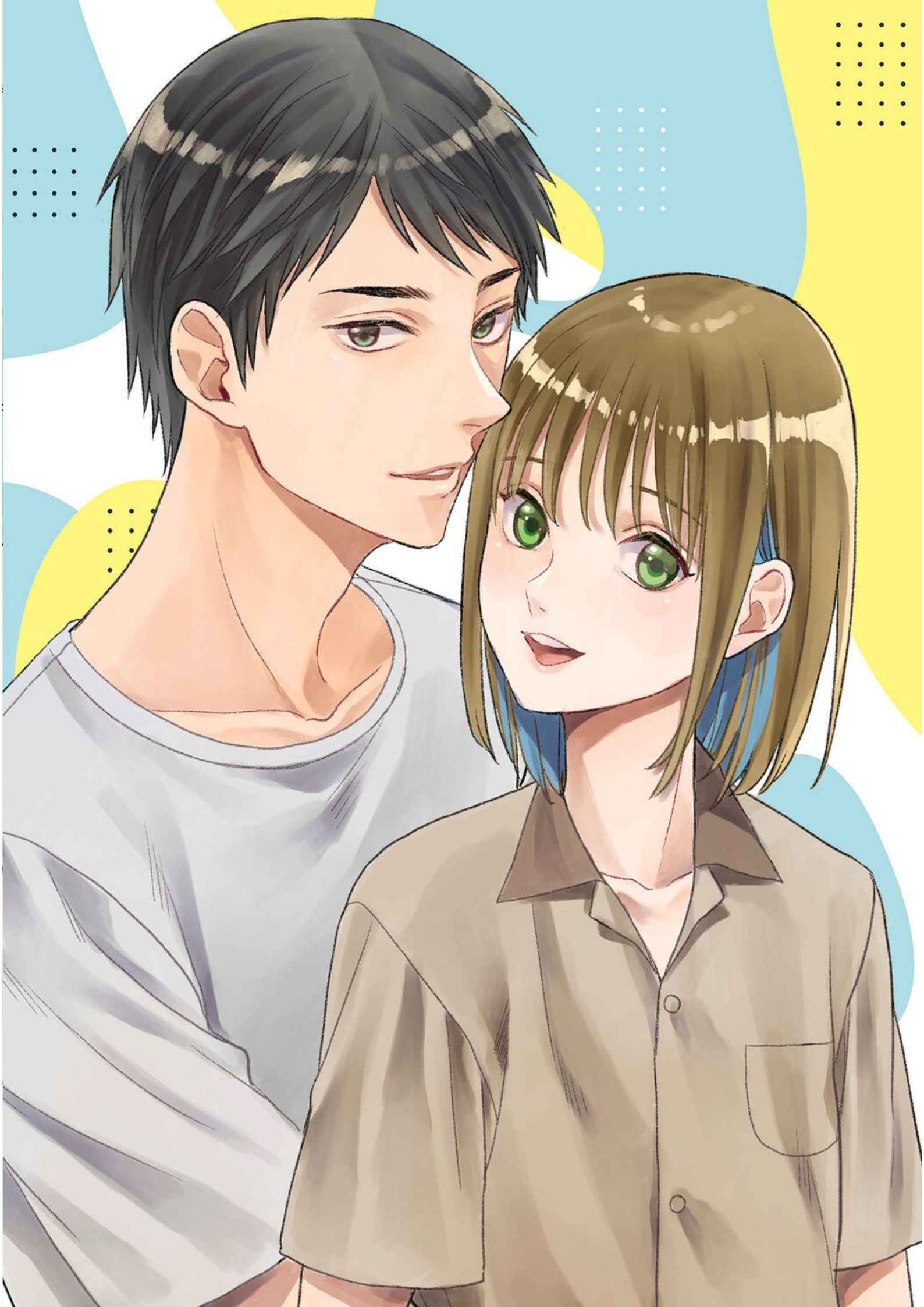
も
も
ち
ゃ
ん



花坂くんは 俺だけに優しい

hanasakakun ho oredake ni yasashii

宮下キツネ





contents

花坂くんは俺だけに優しい

第1話 007

第2話 039

第3話 071

第4話 103

僕の幸せな未来 135

花坂くんは
俺だけに優しい

hanasakakun ho
oredake ni yasashii

第

1

話





お会計合計
千五百八十円に
なります

いつもありがとう
ございます！

に
に
に
に
に

どうも

いつもありがとうございます？



数カ月前
いつもと違う
帰り道で見つけた
コンビニ

長くこの辺りに
住んでるのに
知らなかったなあ
なんて思ってたら

いらっしやいませー

レジにすぐくかわいい
子がいて思わず
引き寄せられた

男っていうのには
びっくりしたけど余計に
希少価値というか
ありえないというか
奇跡としか言いようが
ないだろ

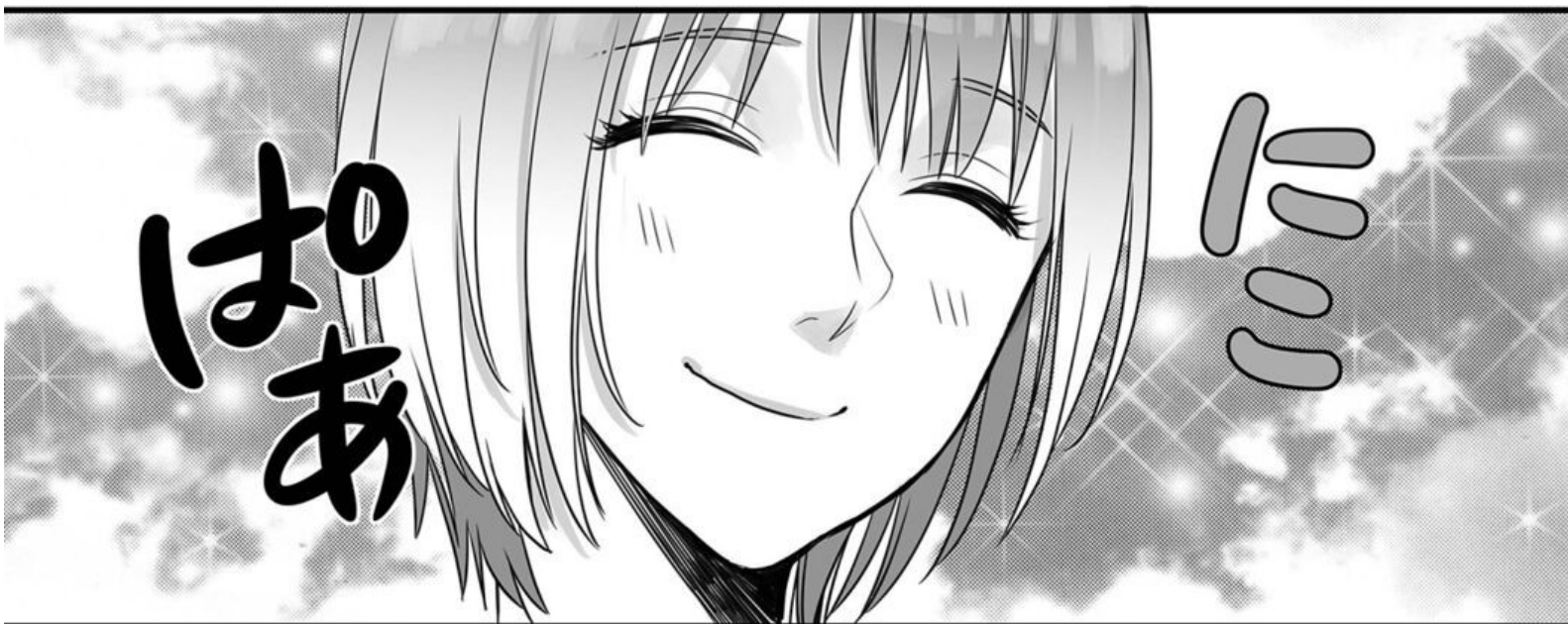
接客中

俺はそもそも
女が好きだし
そういうんじゃないけど
人に興味を持ったのは
久しぶりだった

トニトニ

名前も知らないコンビニ店員
……あの子を見てから
俺の心は毎日踊ってる







まじすか
恋の話!?

諸戸さんから
色恋の話!?

いや恋って
いうか

いつも合コン断る
のはそのせいっすね

うおー見たい!
どこのコンビニ行けば
会えます?

ふっ
いづれ知れよう

どんな子なん
ですかその子

んー
奇跡みたいな
見た目してる

まじすか!

は?
なんすかそれ

適当言った

行くぞ

えー

それより
手を添えるのは
どう思う?

あーそれは
勘違いすね

あーそう





あーうん
おいしいし
それにほら



今日もコンビニ
弁当ですか？



一日分の野菜
取れるって
書いてあるし



それは
心強いですね

はは



えっ そうなんだ
てっきりいるもの
だと思ってました

はいないよ
ここ何年かずっと

ん？



いや…
彼女いない
からね



彼女には作って
もらったり
しないんですか？

ピッ

えっ



あれこれ

なんだこれ??



じゃあ今ひとり
暮らしですか?

あれ?

うんそうだよ



あ...うん?
ってなんだよ俺!

いやこれ
どういう状況!?

トクン
トクン
トクン

よかったじゃあ
近くで待ってて
もらえたら



もう少しで休憩なんで
少し待っててもらって
いいですか?

あっうん



どんな会話だよこれ
何が起きてる?

あつ無駄口きいてると
店長に怒られちゃう



お釣りですく
あざーっす！



はーい
タバコひと箱く

ピポピポ



早く時間
経たないかな

あの一
タバコください



今日も
かわいかったあ

外で待ってて
くれてるのかな



いや別にこれは
決まて言われたとおり
待ってるわけじゃなくて
気分転換もかねて
外にいるだけだからな！



すみません



あうん

私服
かわいいな



よかった
待っててくれた！



急にごめんなさい
無理言っちゃって

うん…いや
いいよ

ところで用事？
何かな？



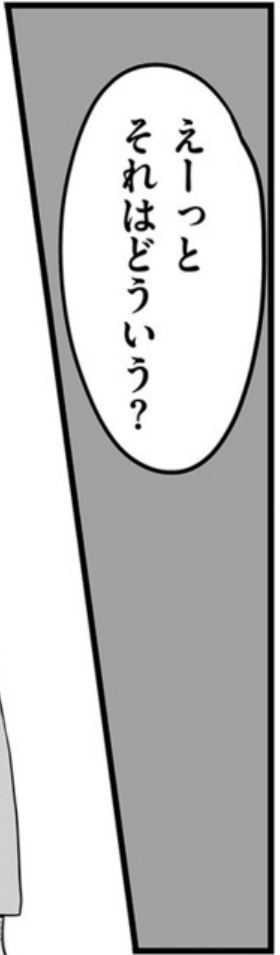
はいあの
ひとり暮らし
されてるんですね

あーうん…？



じゃああの
ふたり暮らしって
どう思います？

ふたり？



えーつと
それはどういう？



はい…

す…



僕は花坂和歩です
よろしくお願いします

ペーリ

俺は諸戸朝広です
よろしく

名前も
かわいいなあ

に

ホウ

ってホウっ
じゃねえ!
この状況にしっかり
対処せねば!

そうですよね
確かに考えてみれば
急にこんなこと言われて
困りますよね

失礼しました
すみませんっ
いつも会ってるから
すっかり知り合いになった
気分になってました...

あのじゃあ連絡先
交換してもいいですか?

はいっ

ようこんで

はいじゃねえよ俺
何素直に
喜んでんだよ

そりゃ
嬉しいん
だけど!

やった!
じゃあこれで
えっとおー



なんだあれは
なんだったんだ!
もしかして
何かの罠か!?

...

知り合いみたいなの
気分になってたって
それはそうかもしれないけど
同居願いの?
進みすぎだろ!

110
千





バレてる？
まさかね

まあひとりに
しては広いよな
…とは思うけど
部屋空いてるし



毎日ぬるい生活してて
少し刺激や活力が
あればなーとか
期待はしてたけど



会えます。
もちろん。

ちよろい！

ポン

今度の休みの日
会えませんか？





甘いなあ

あのさ今の所
家賃いくらくらい？
俺の住んでる所に
住み着いて折半すれば
安くなるって
思ってるでしょ？

はい

今よりも
高くなる：
とかあるかもよ
考えてみた？

ちゅ

あつ

そっか

俺が今二十万の
所に住んでて
単純に折半だど
十万になるけど
それってどう？

あく
そんなに…

いやまあ
今のは仮定の
話で…

もちろん
そんな
払ってないけど

…というか
払ってないほぼ

甘いのは
俺か—

ずっとおじさんの
空きマンションに
間借りしてる感じ
というか…



当たり前じゃないですかあ
ハタチですよっ

ひとまわり以上
違うのか



おっと大丈夫？

よろ

わあ

ガリッ

うわあ
お部屋だあ

すみません
飲みすぎたかも

いいから
足元をつけて

でもせっかくのお部屋
訪問なのに酔ってて
よくわからないかも

それはまた
後でいいよ

ふあい

うっ…
連れてきて
しまった

でも電車も
ないし
こんな状態の
この子を
タクシー
なんて乗せ
られないし
致し方なしだ

うわっ
大丈夫？

ホテ

座って

ん！

ホス



泊まっていっても
いいですか？



じゃあそこで
寝てね
俺はシャワー
浴びてくるから

あつ 僕も入る



住む気
満々だね

えへへ



ん
いいよ

やったあ
予行練習だあ

ばんざい



ああ…

あぶねー

入れる状態
だったからね

はくい



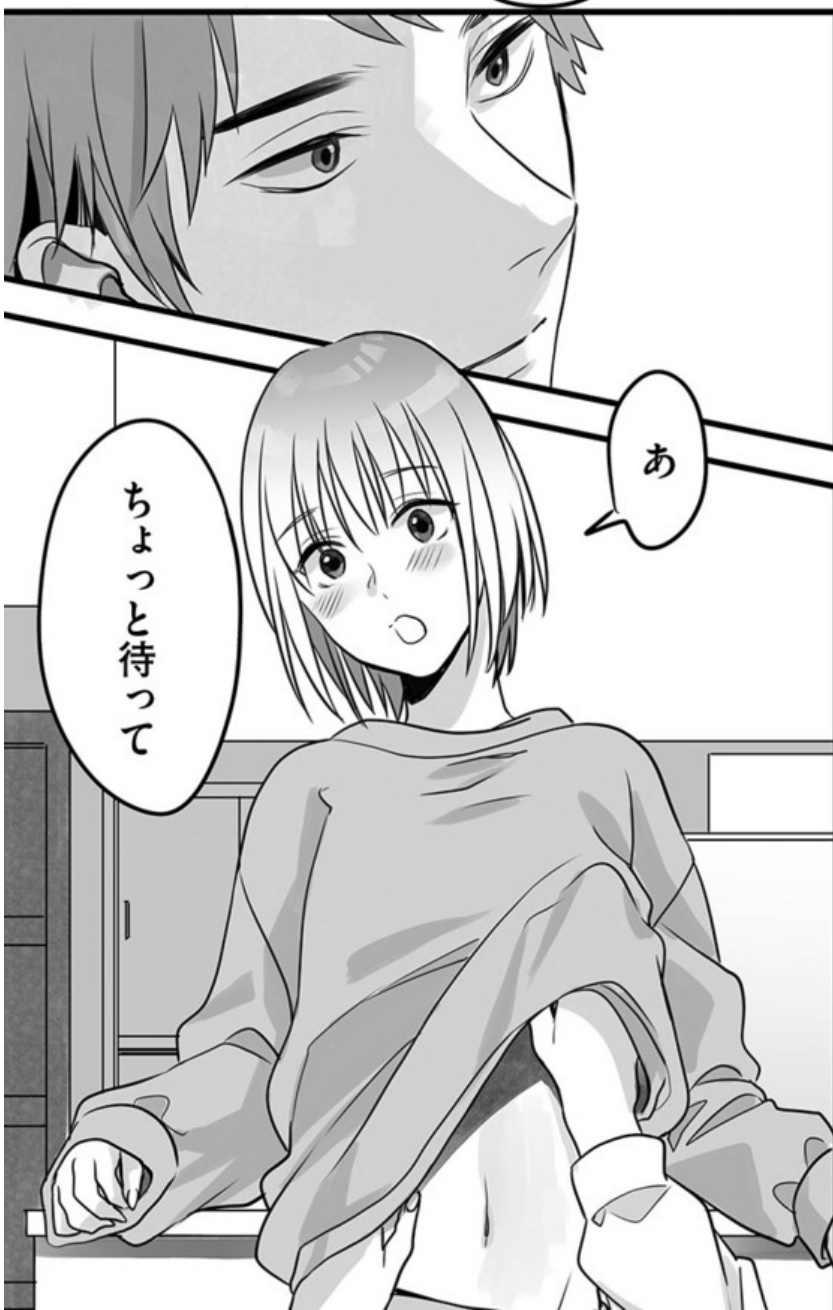
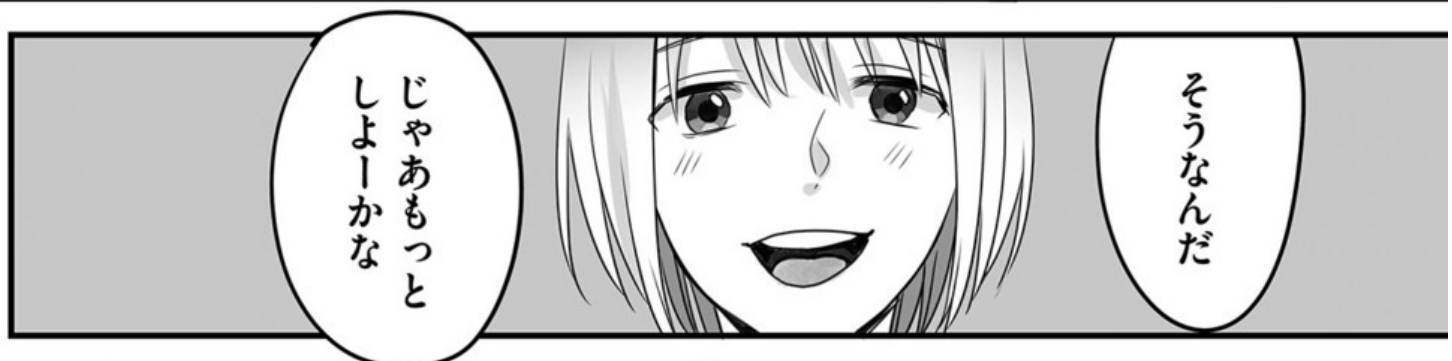
えっ！

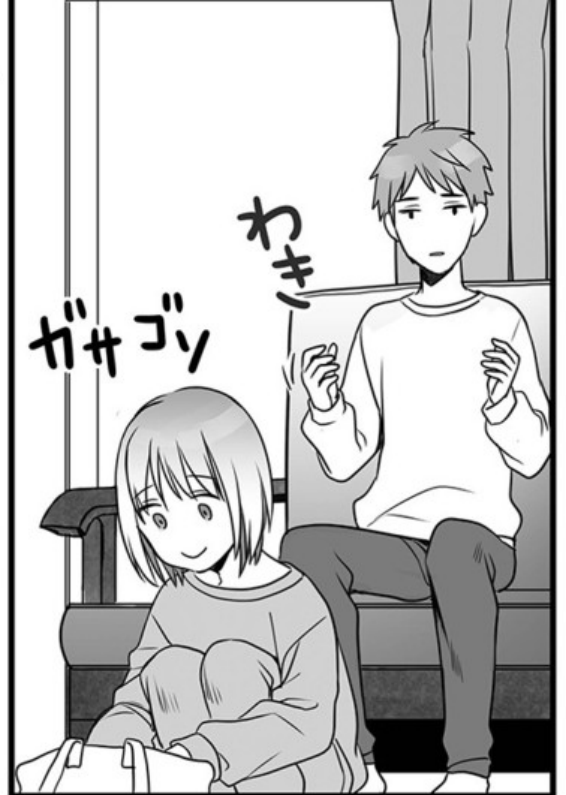
後で入っても
いいですか？

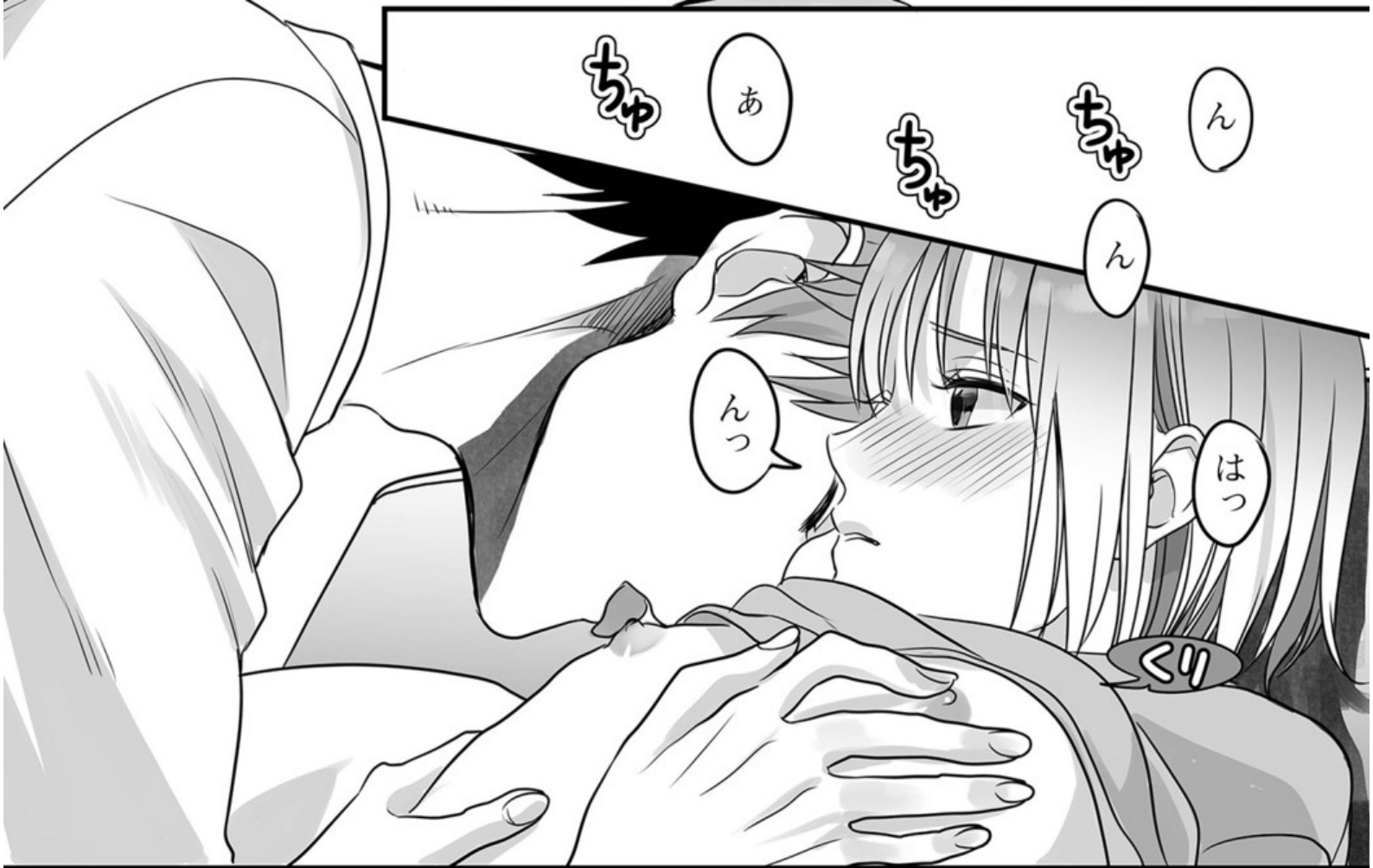


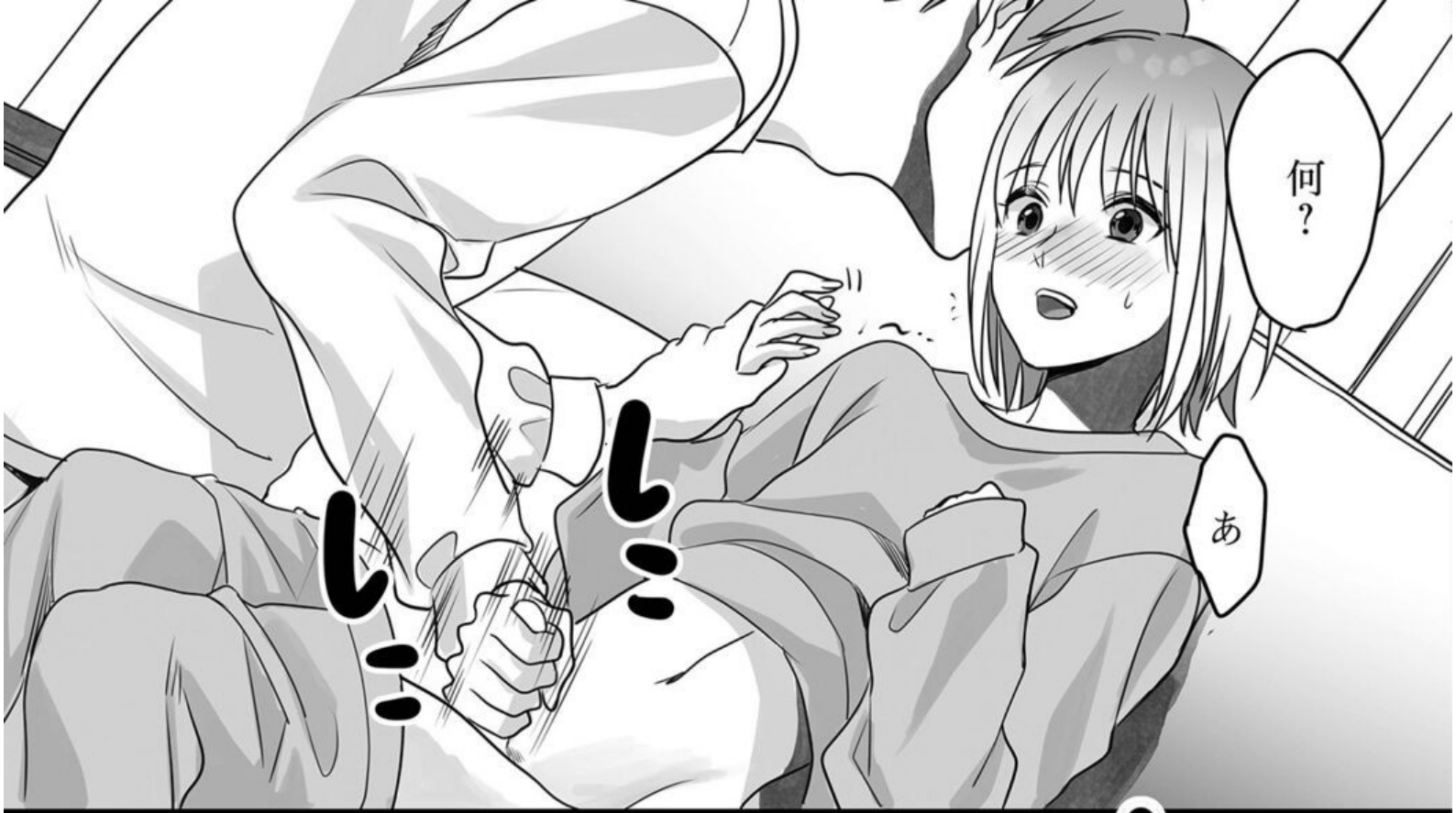
どうせ戻ったら
寝てんだろ













顔だけじゃなくて
体もかわいいとか

うわ

うん

はか

脚開いて



あ

すっぴん

ないよ...つと

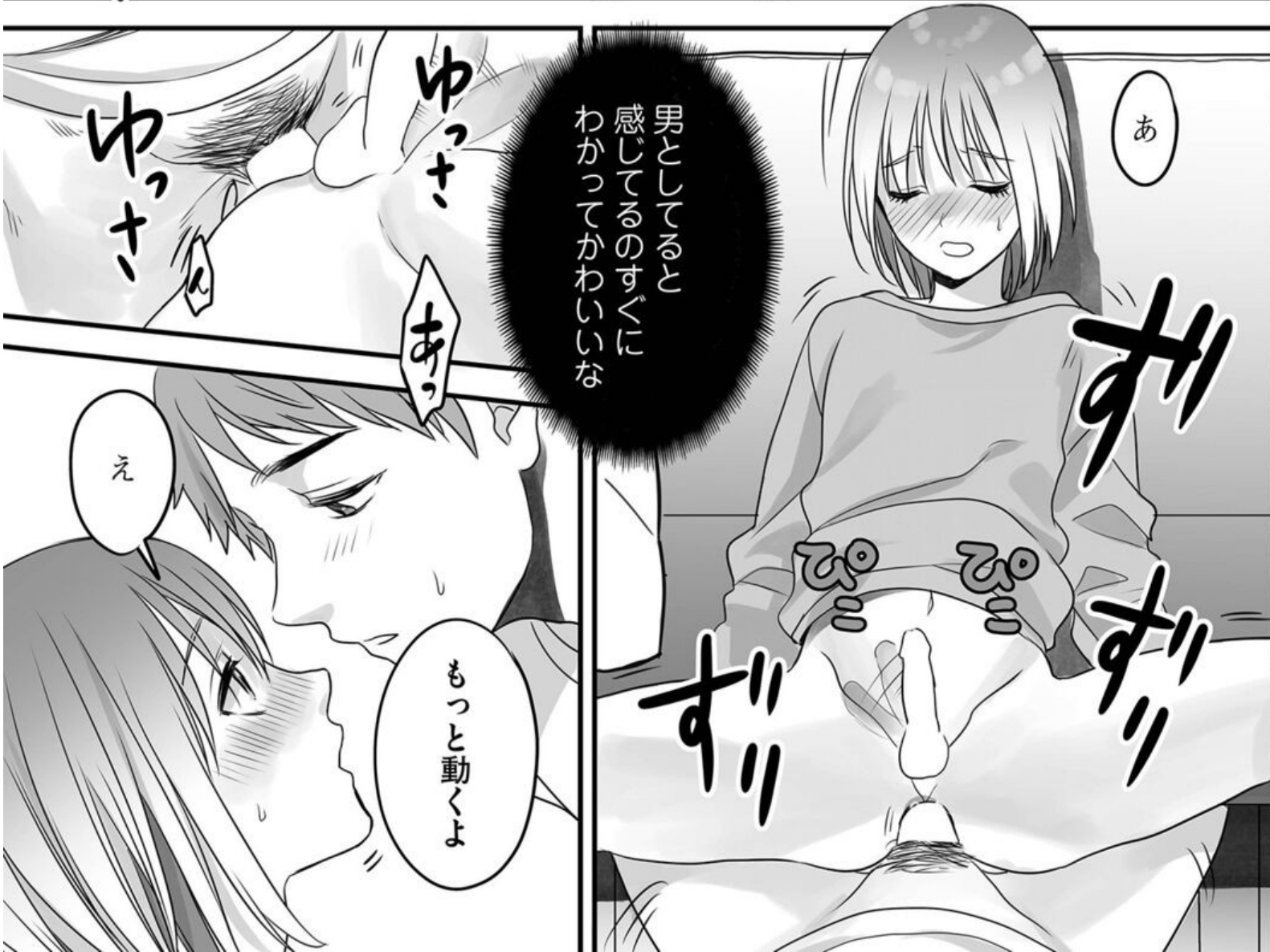
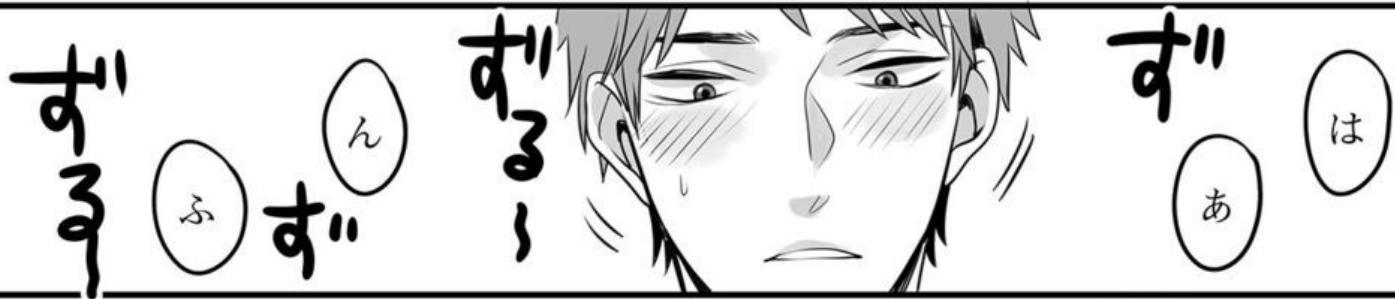


すごいね君は

何?

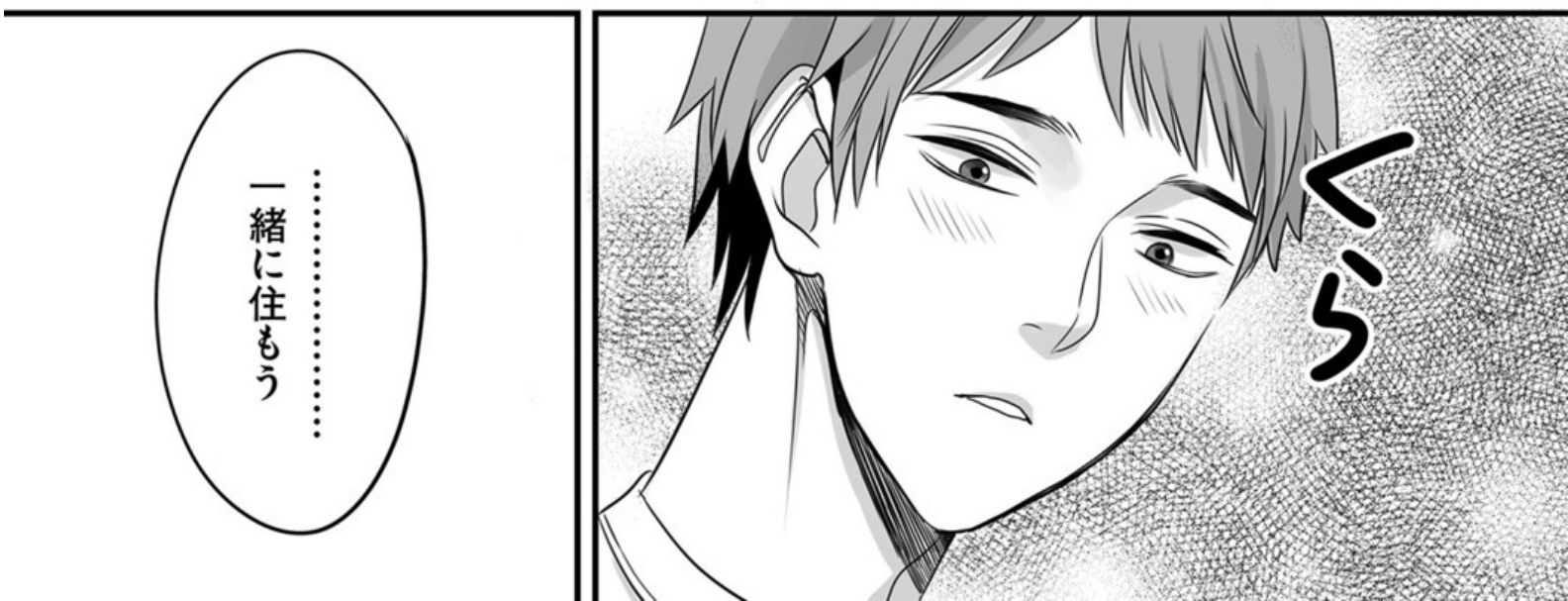
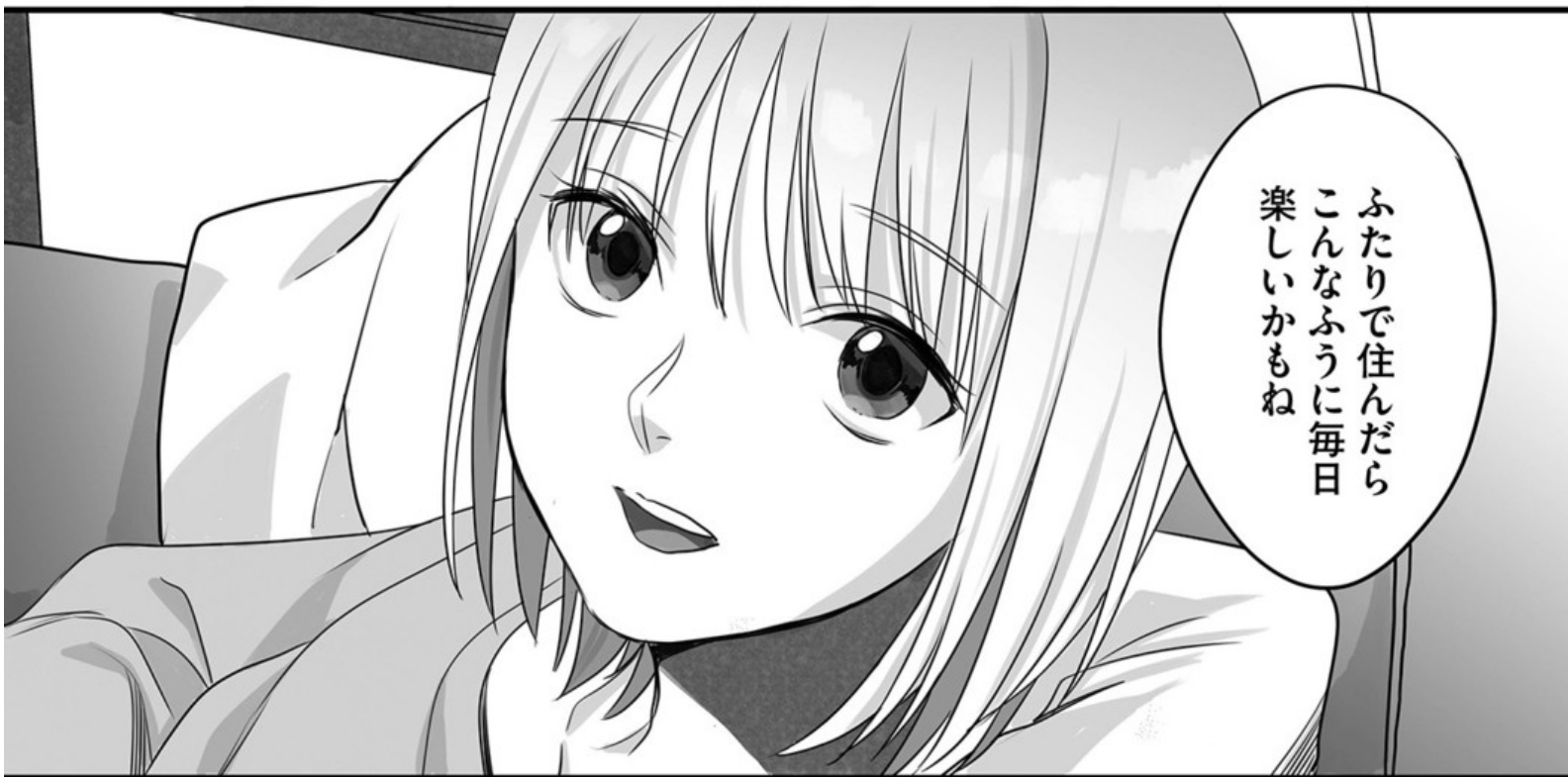
んーなんでも

と











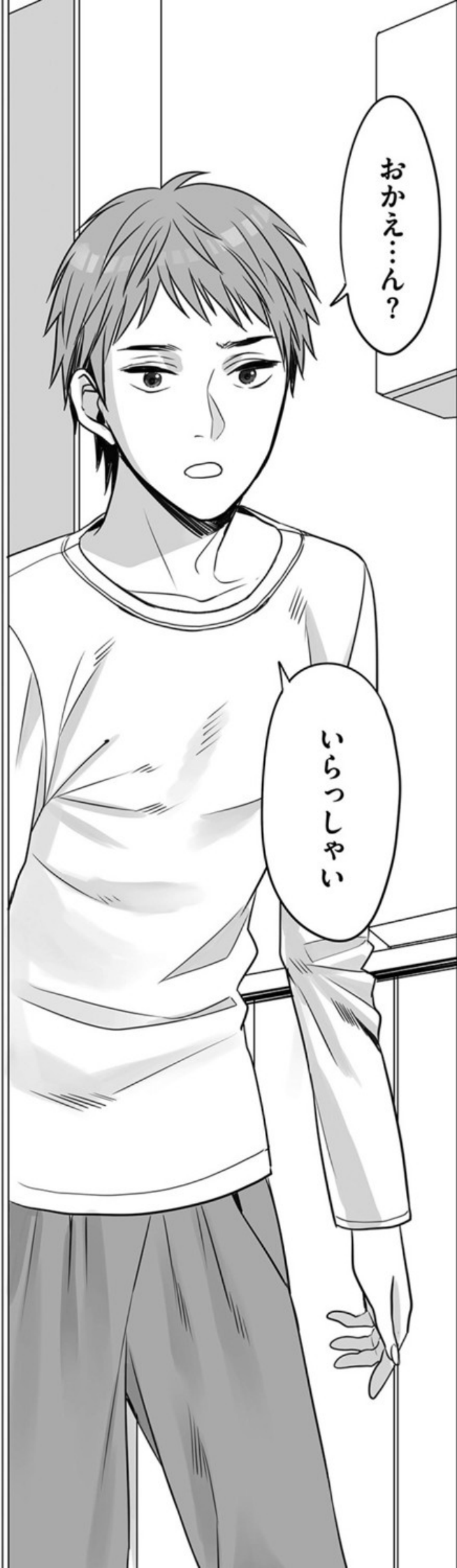
花坂くんは
俺だけに優しい

hanosakokun ha
oredake ni yasoshii

第

2

話



おかえ…ん?

いらっしやい



こんにちは
お邪魔します〜

じゃなくて

ただいまっ!



少し前まで
コンビニ店員と客の
関係だったのに
同居までするとか
どうかしてるよな

いやもうただの
店員と客ではないのか



毎日こうやって
楽しくできると
いいね



どうしたの？

んっいや

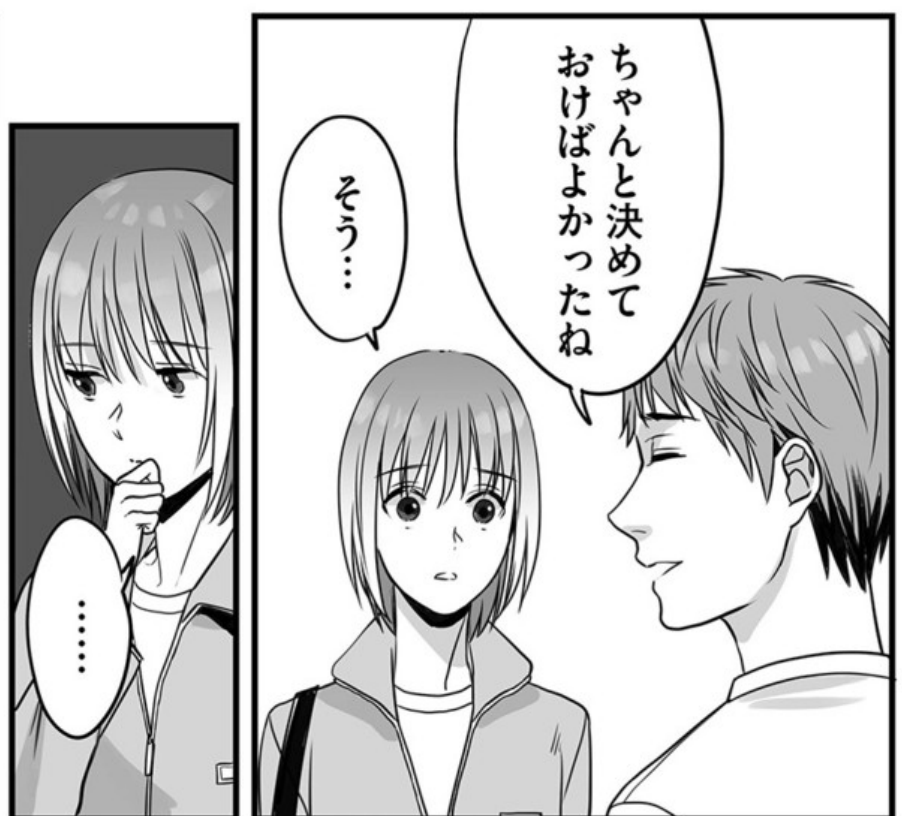
えっとじゃあ
部屋案内するね



いや断じてそれだけで
決めたわけでは
ないんだけど…！







僕
家事得意だから

任せてよ!

家事が得意ねえく

全然そうは見えない
口から出任せかな

でもまあ
やる気があるのは
いいことな気も
するなあははは

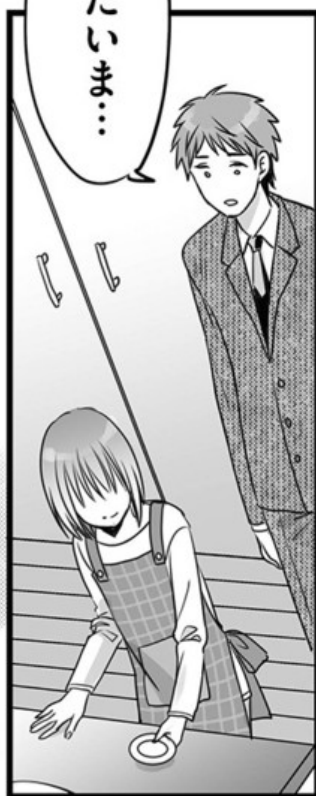
さて今日の夕食
どうしよう

出前でも頼むか…

カチャ



ご飯できてるよ



ただいま…



あっ

おかえり
なさ〜い



え？って何
びっくりしてんの
家事するって
言ったよね



え!!?



いや言ってたけど
本当だとは
思わなかった

もー
失礼だなあ

それでどうする？

お風呂にする？
ご飯にする？

え…風呂
沸いてんの？

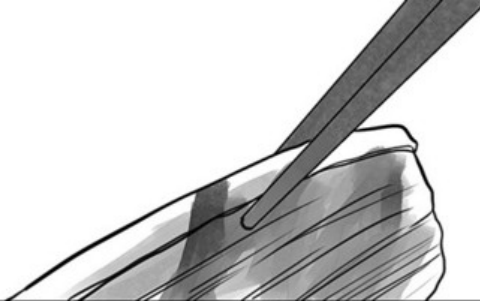
当たり前じゃん
お風呂入るでしょ

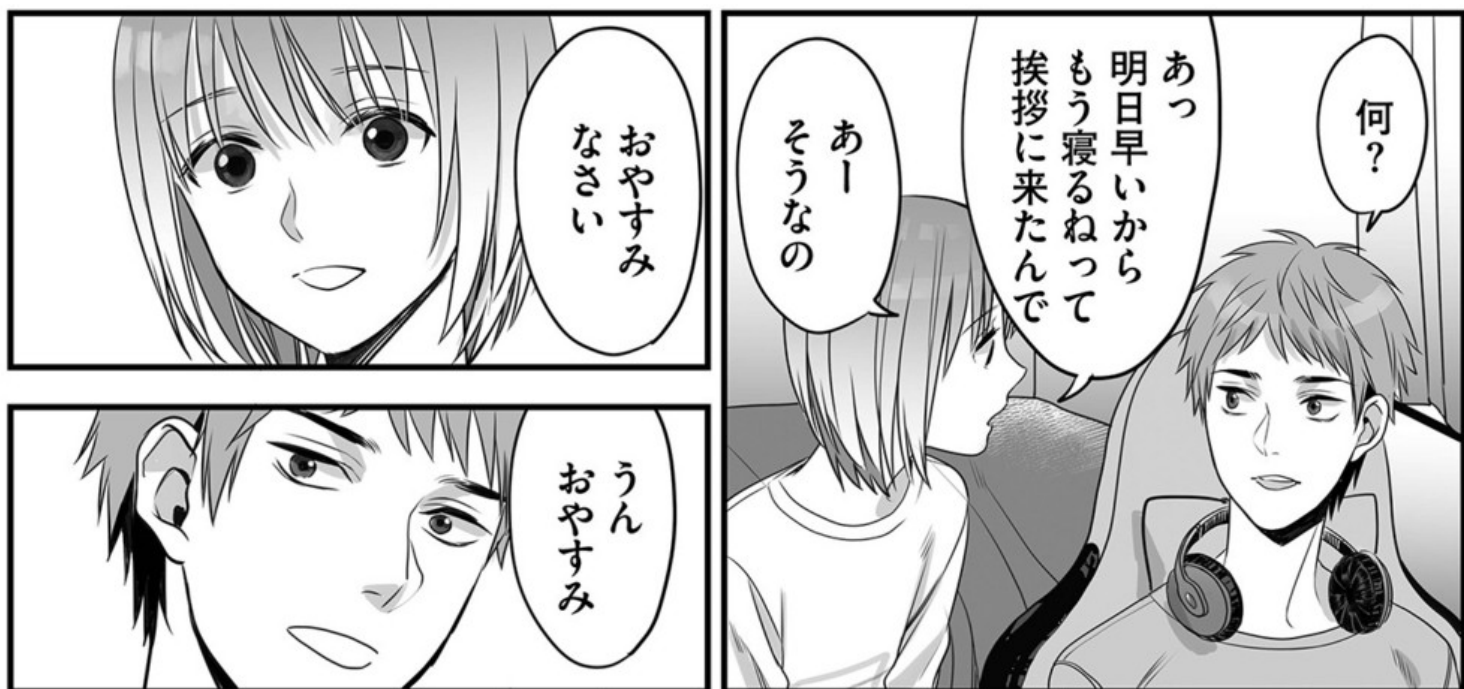
じゃ
風呂入ってくる

出たらご飯
あっためるねえ

まじかー！

まじかー！！

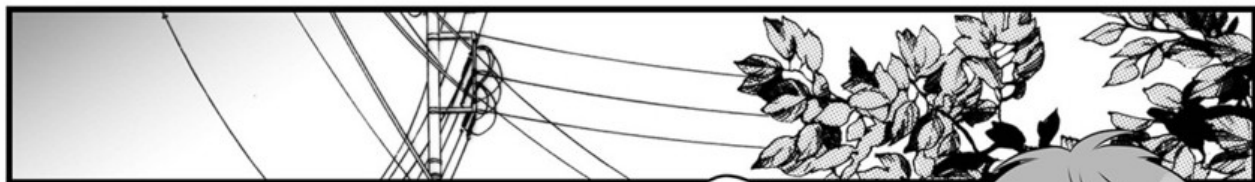




はあー

しかしこれは

生活が
変わっちゃったなあ



かずほ
和歩くんー

は居ないのか
早いつて
言ってたっけ

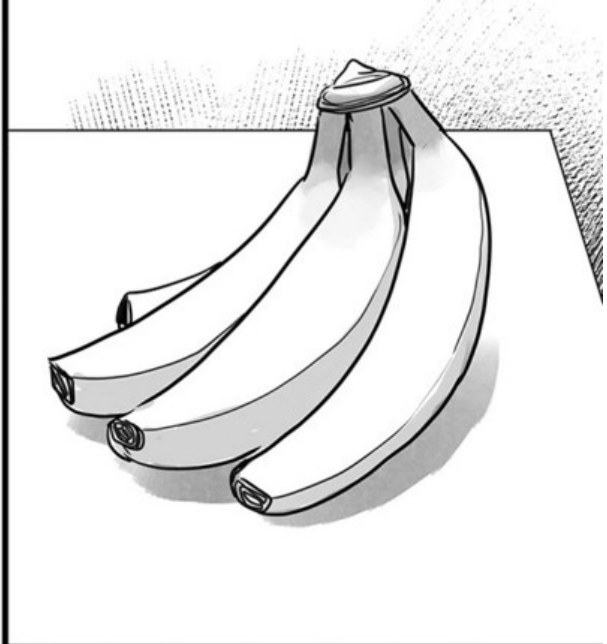
ん？

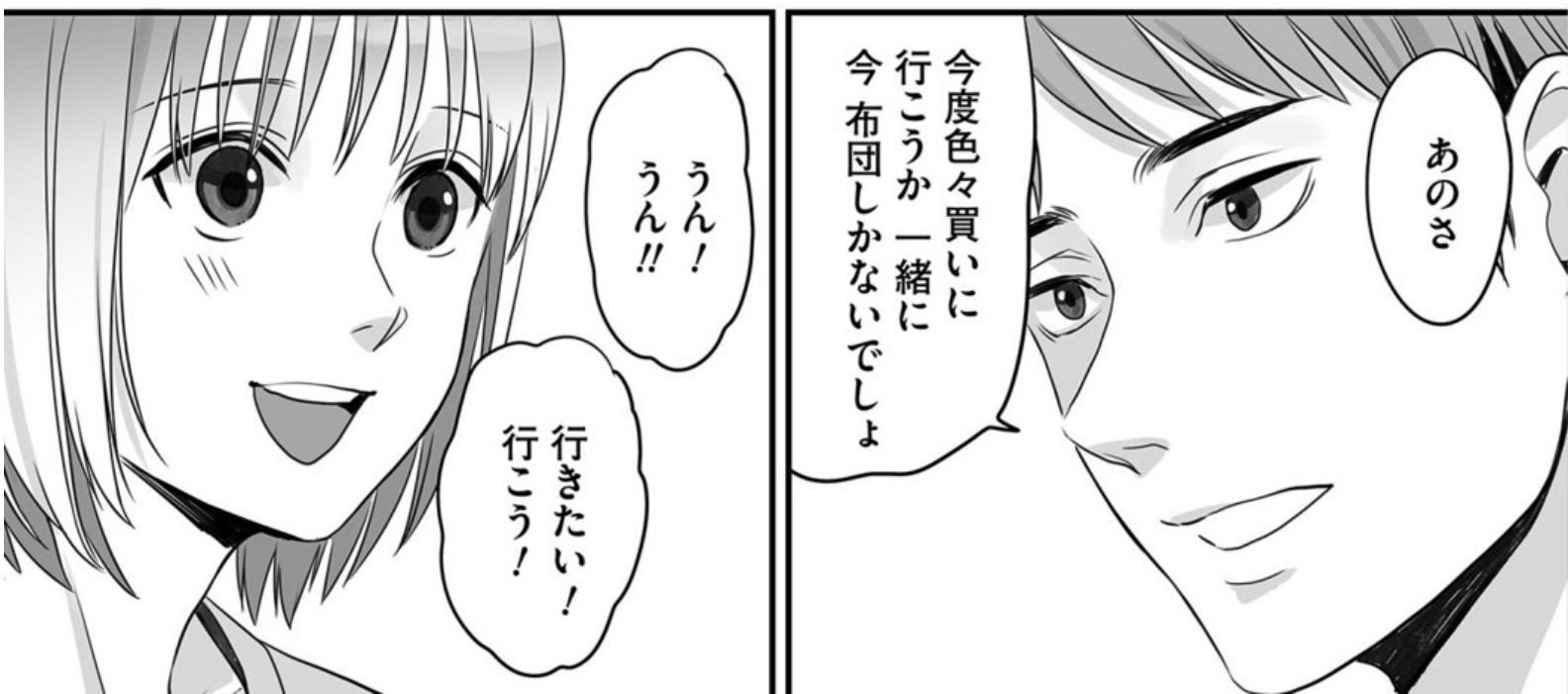
ふ
あ
あ

朝食用のバナナと
冷蔵庫に
ヨーグルトが
あります。 かずほ

バナナあ？
ヨーグルトお？

俺朝は食べない
んだよなあ







ふかふかだよ

ベッドどうし
ようかなあ



じゃあ今度の
日曜日はどうかな？

うん大丈夫
楽しみだなあ



いーから

僕持てるよ
貸して



えー

それ
要らないでしょ

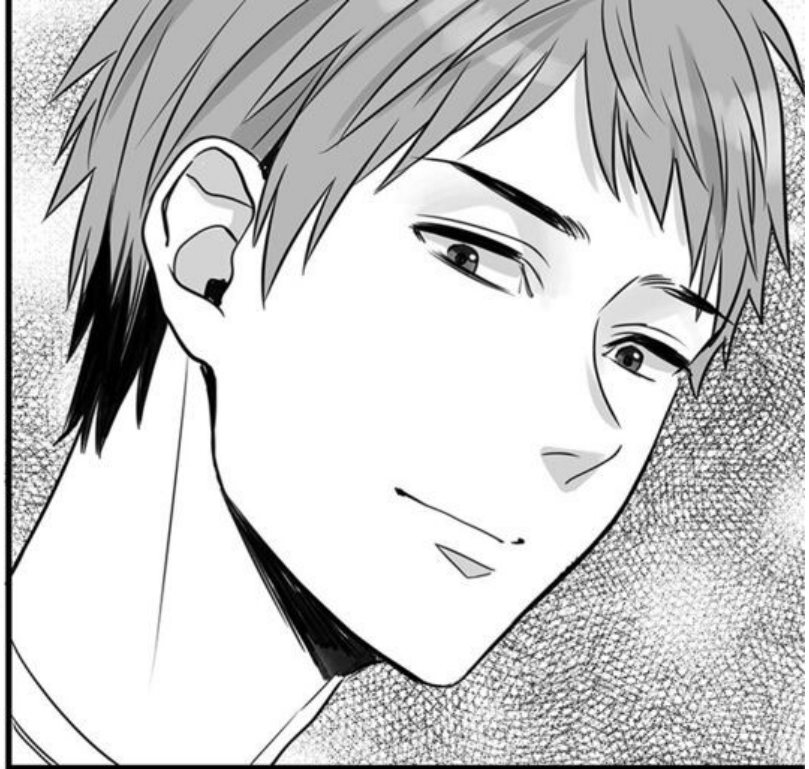


買いすぎたね
飲み物多いし



入れすぎでは？

お酒買おう



なんかいいな
こういうの



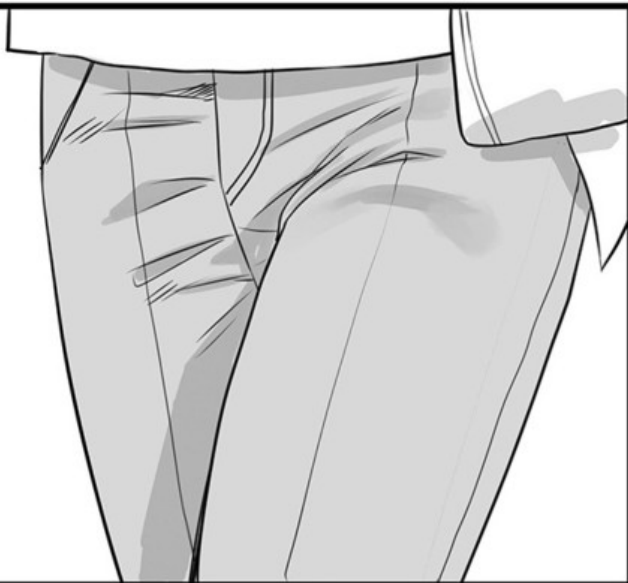
ねえボクにできること
他にもあったら言ってね

今で十分だよ

でも家賃分にな
ってるとは思
えないもん

遠慮しないで言っ
てね
できることはなんでも
するから！

できること…ねえー



いやいや
いやいや



僕も見たい

んいいよ
一緒に見る？

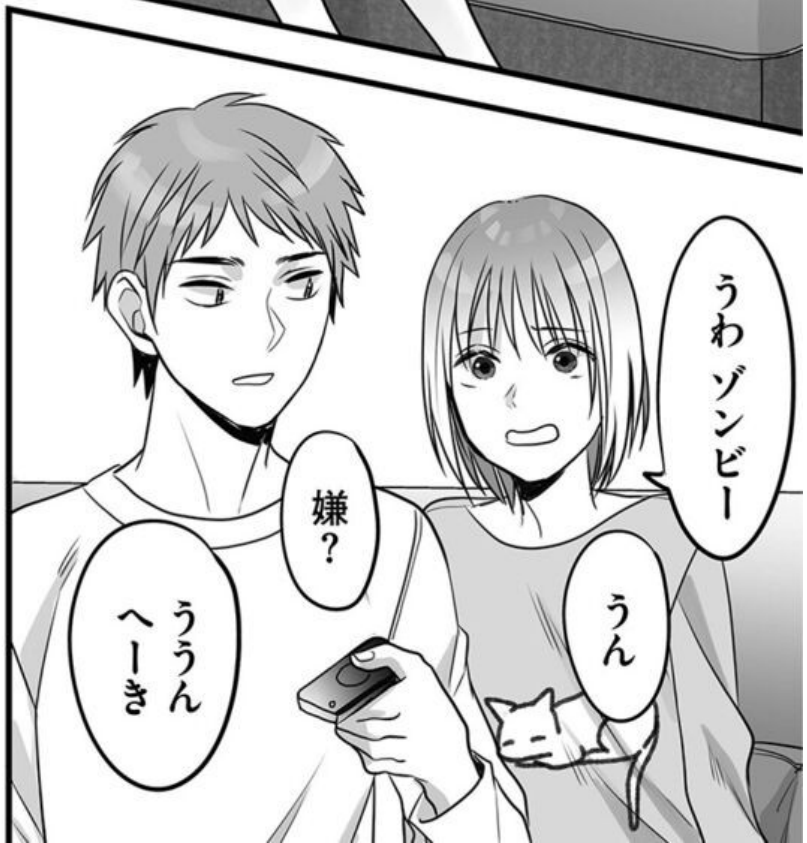
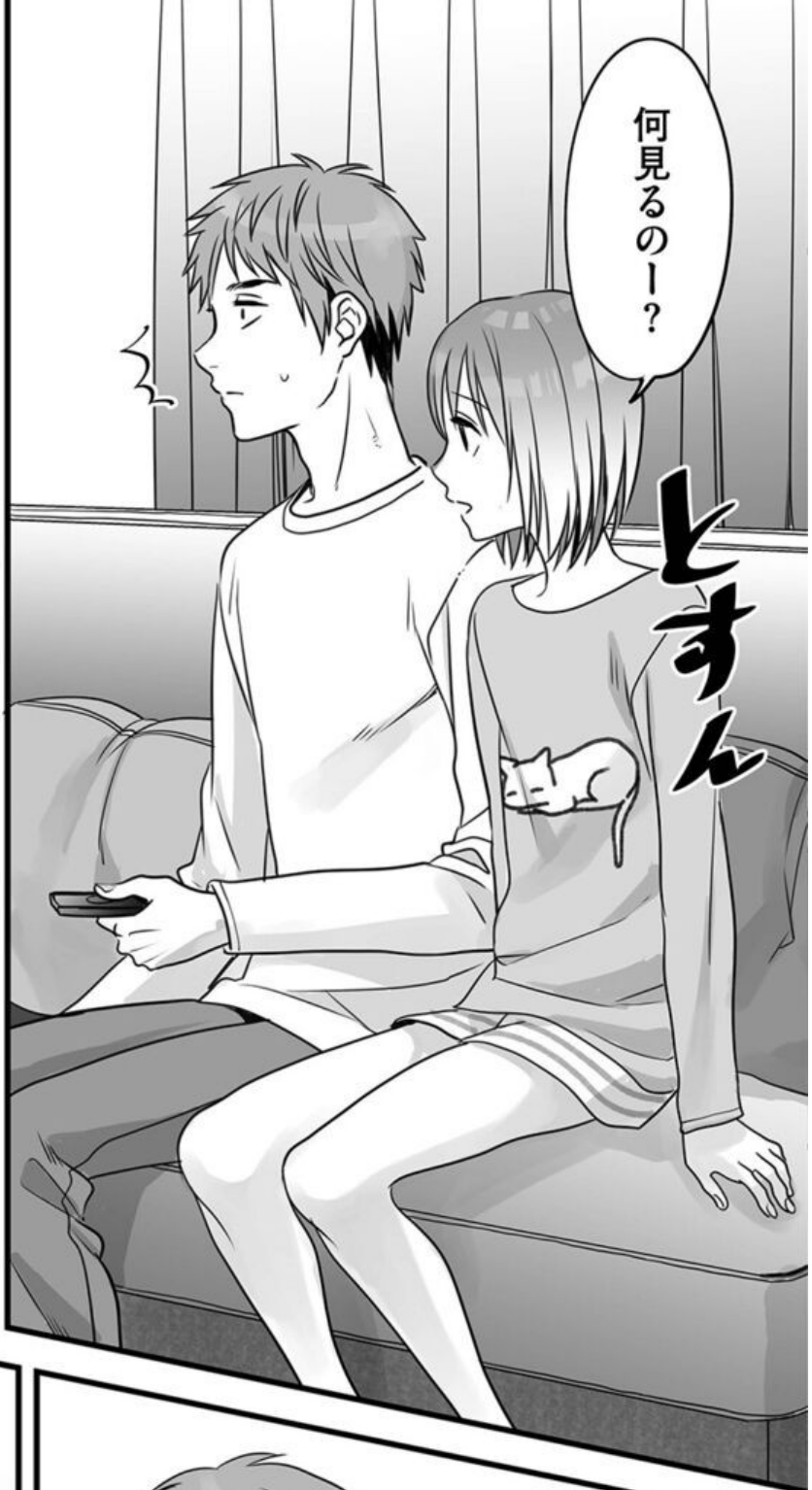
うん

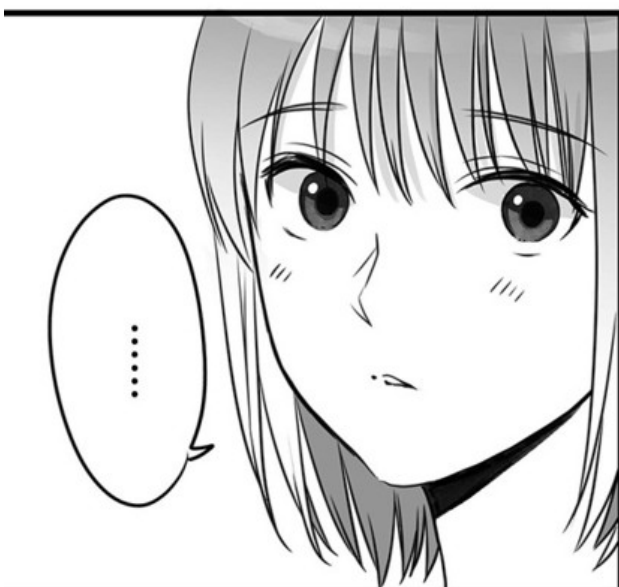
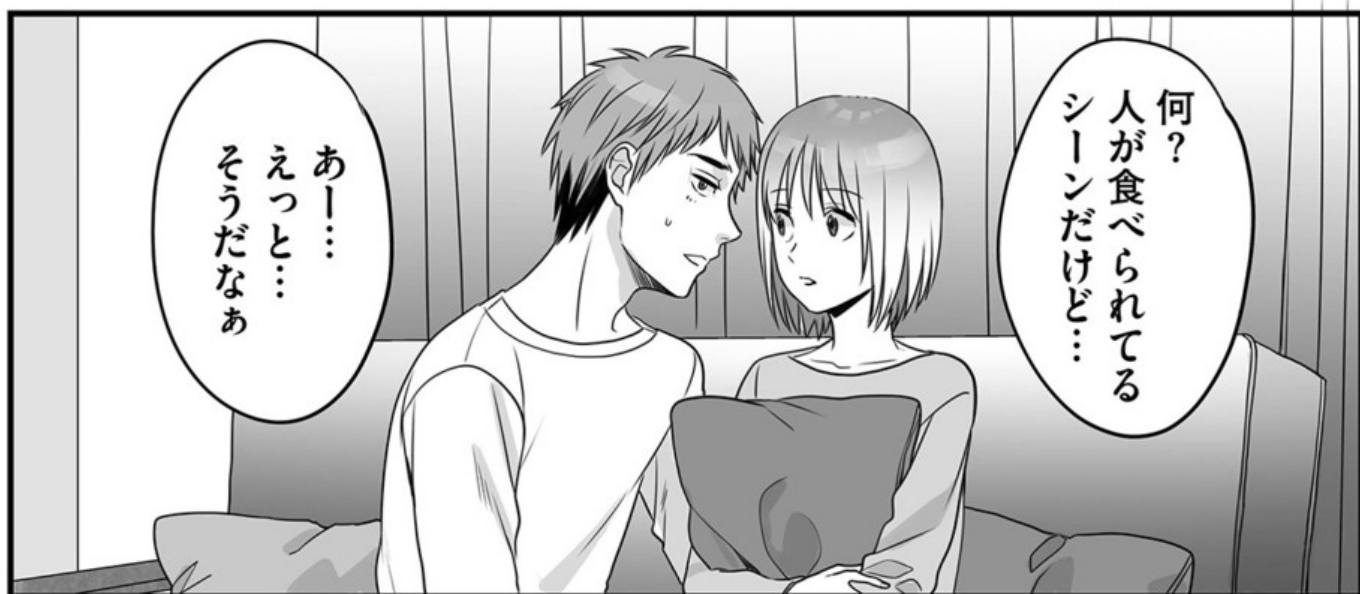


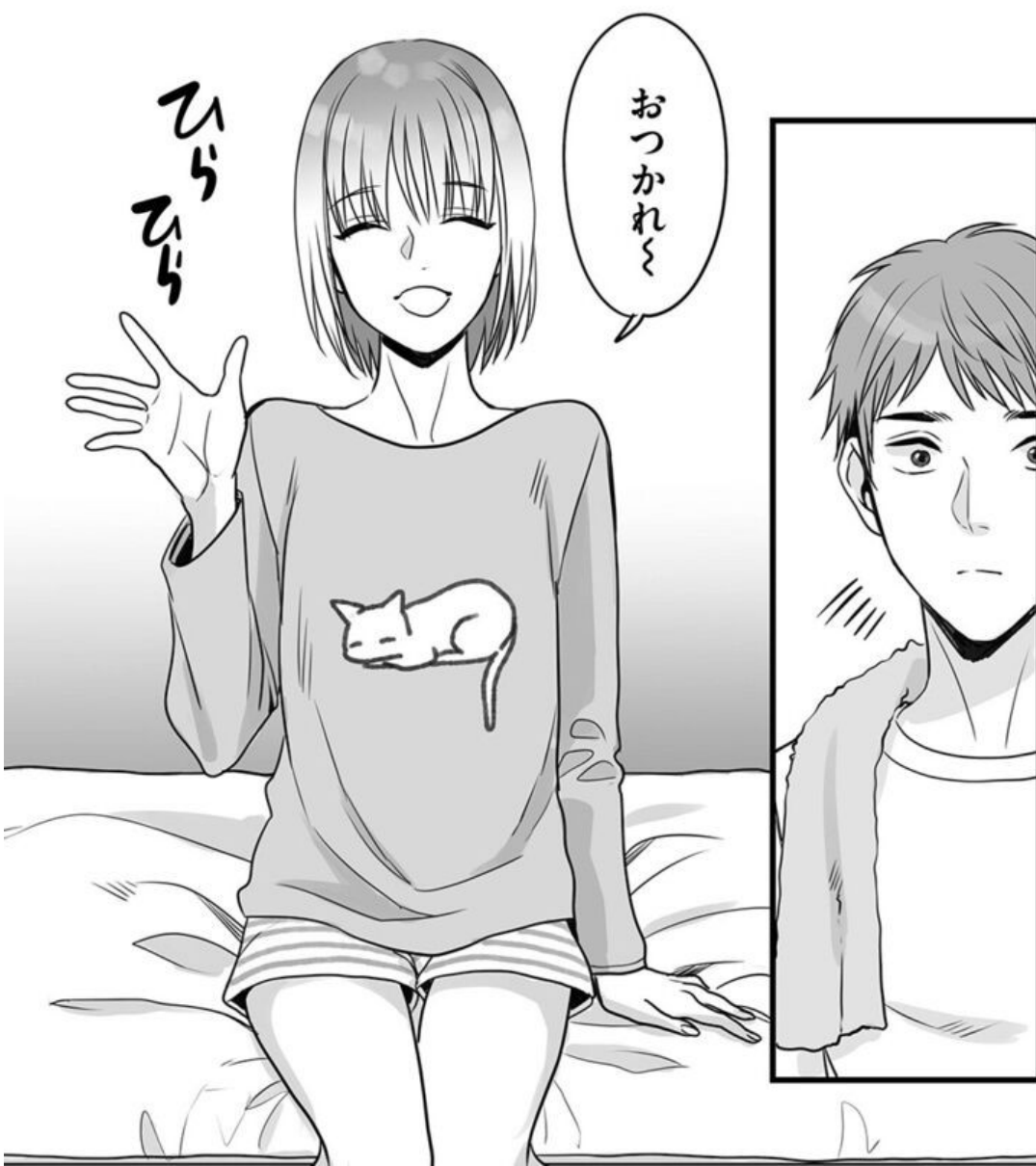
あれ映画見るの？
ゲームじゃないんだ

んーたまにはね

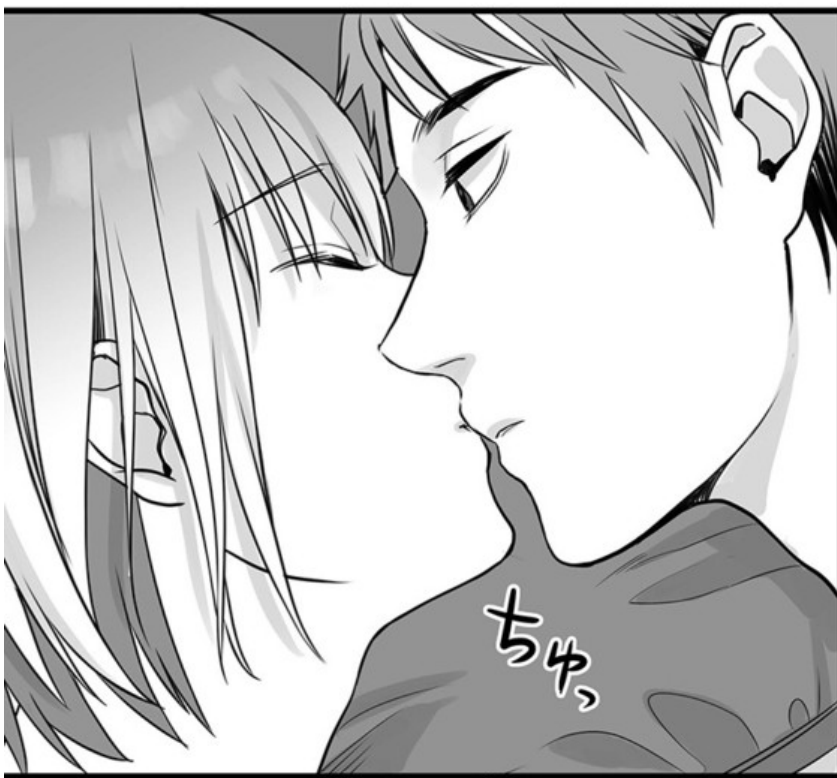




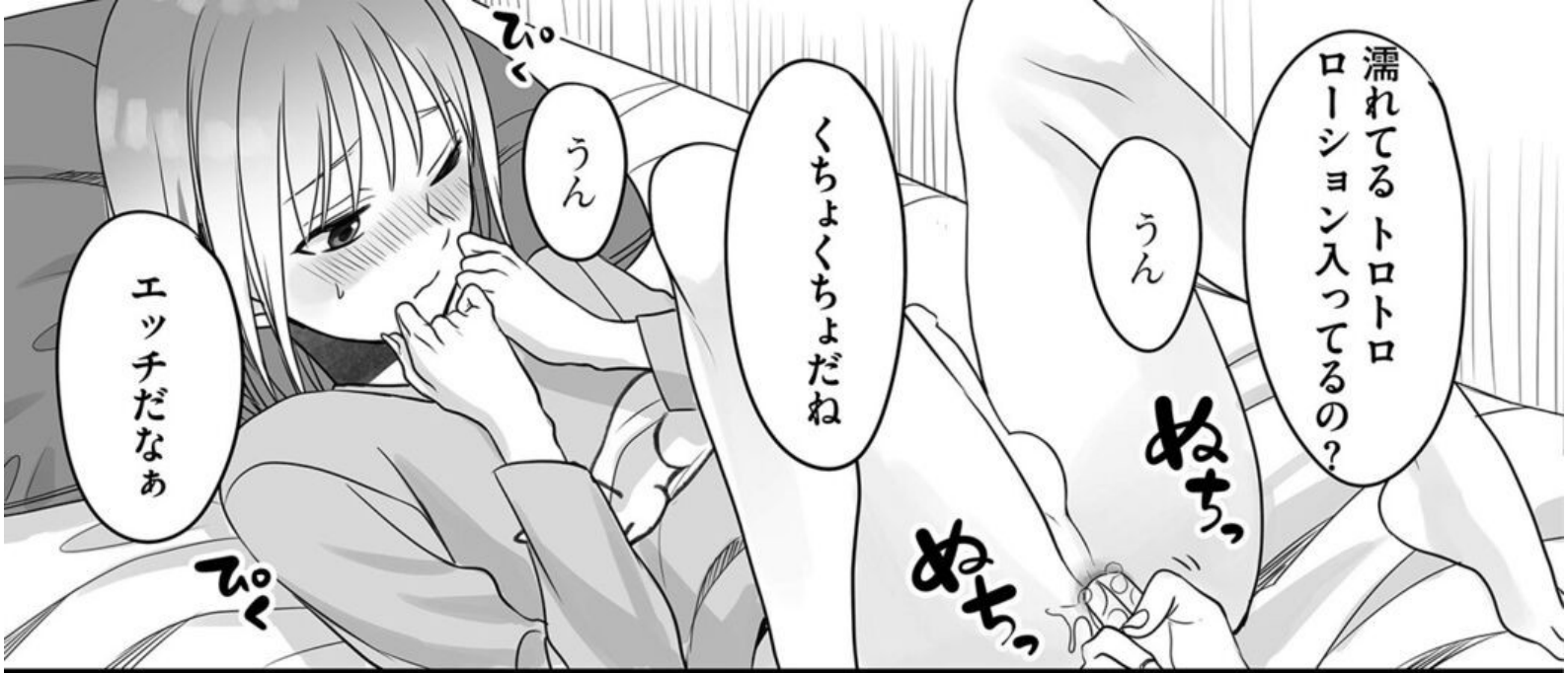
















入れるよ

くち

うん

へーき?

うん

は、

は、

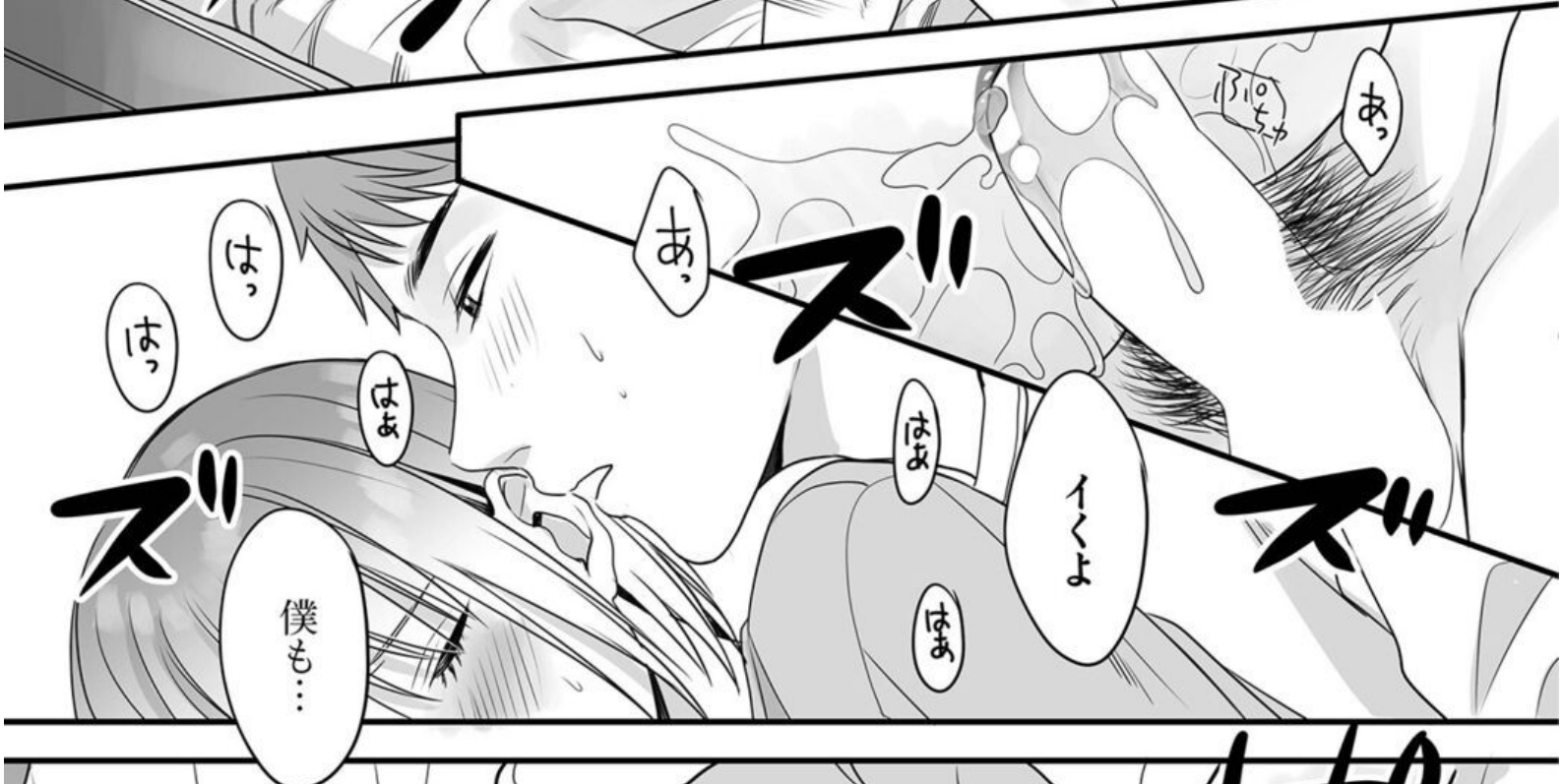
優しいねなんか
最初と違う

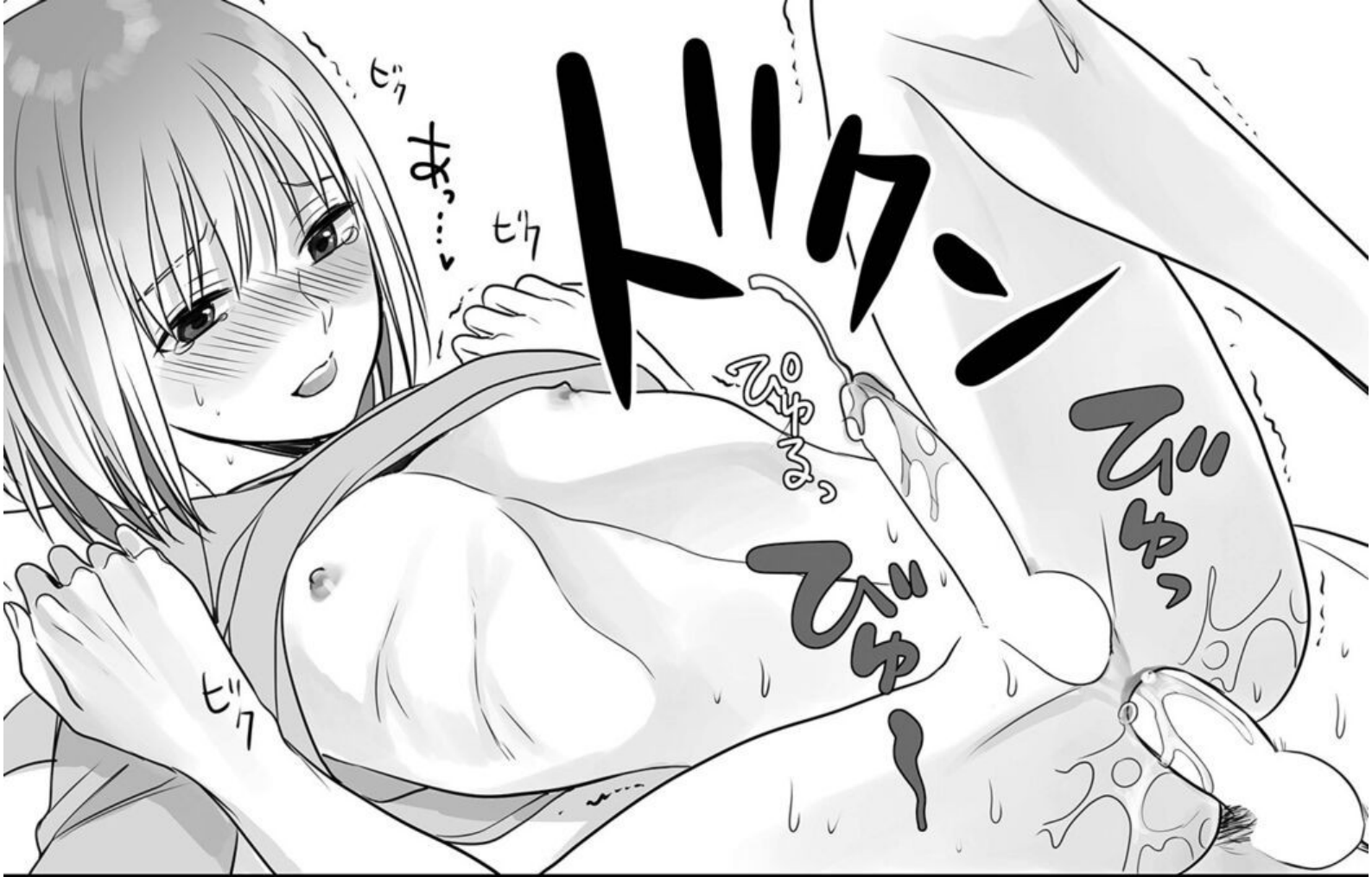
仲良くしないと

あー
そうだね

じゃあもつと
気持ちよくして

ぎゅ

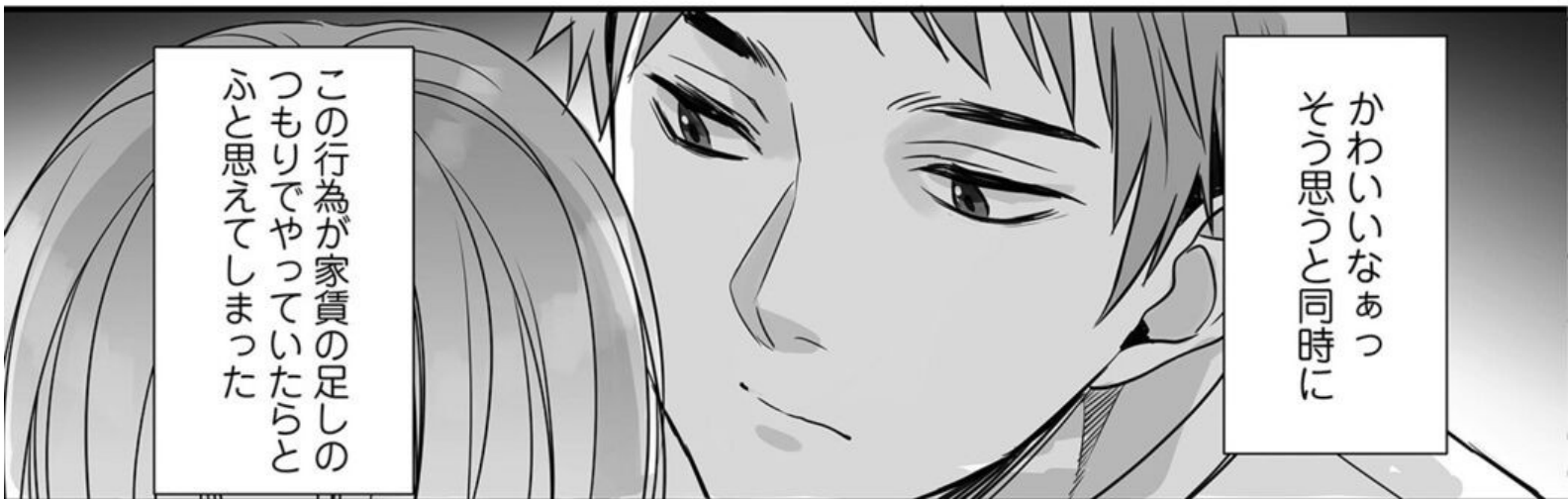






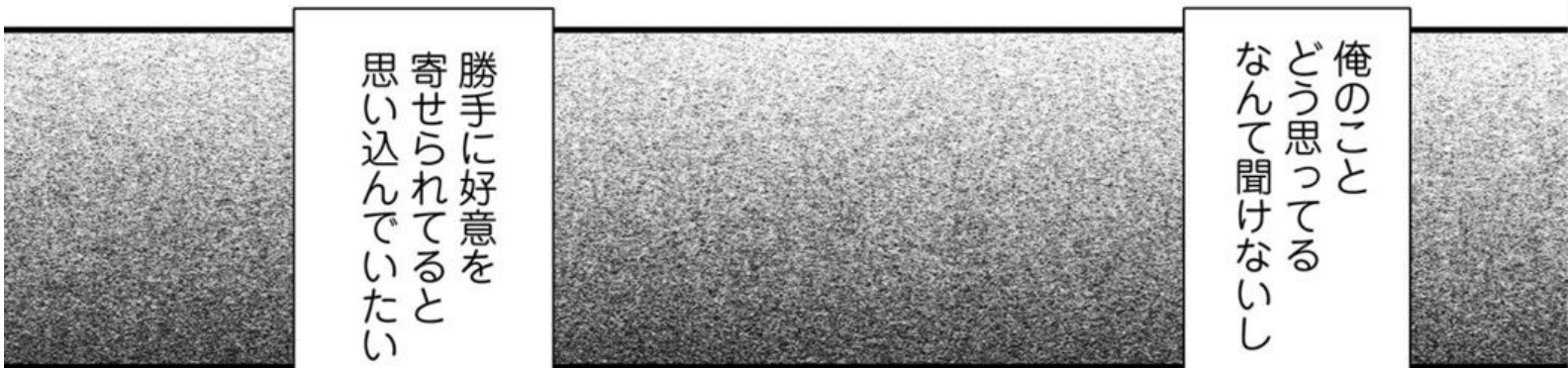
かわいいなあっ
そう思うと同時に

この行為が家賃の足しの
つもりでやっていたらと
ふと思えてしまった



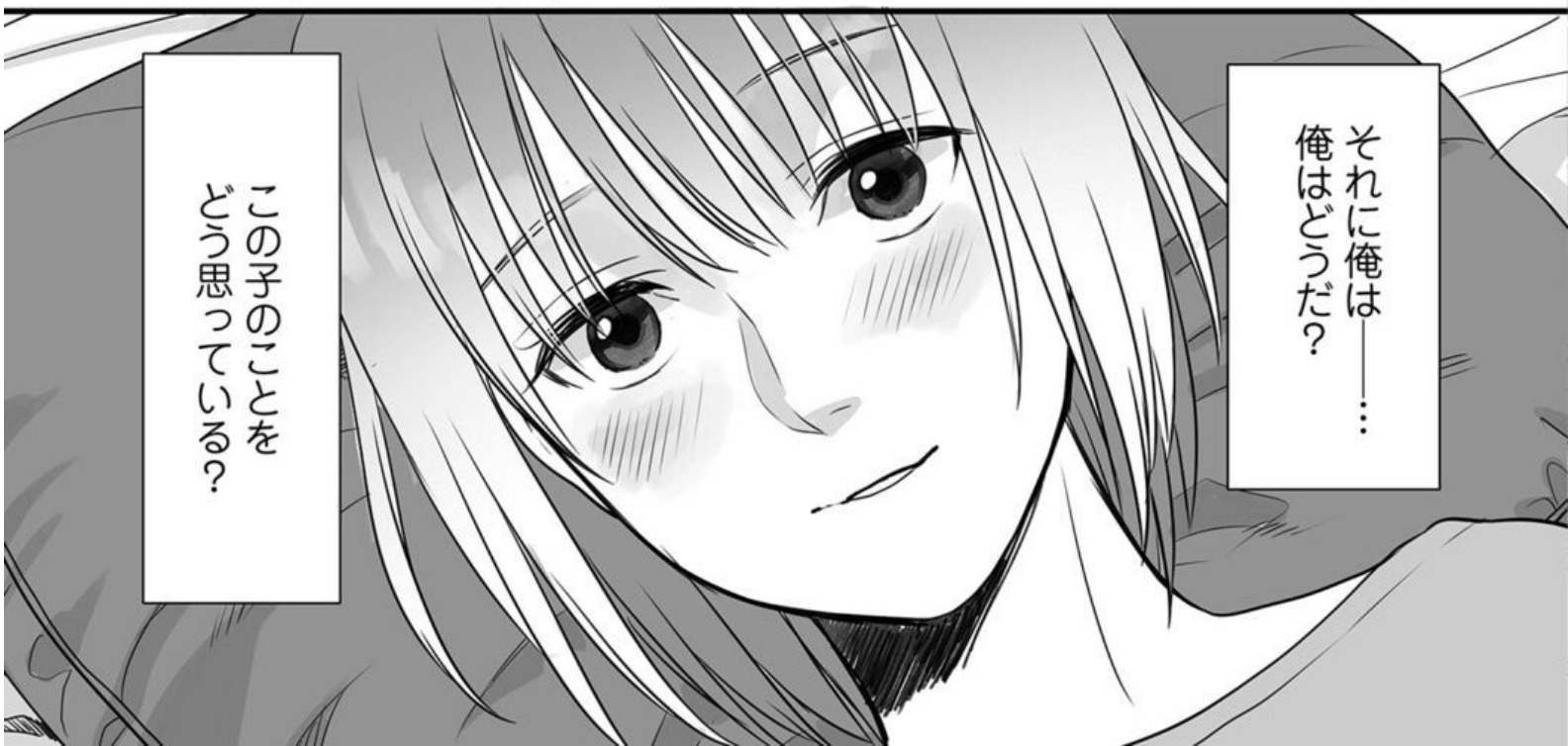
俺のこと
どう思ってる
なんて聞けないし

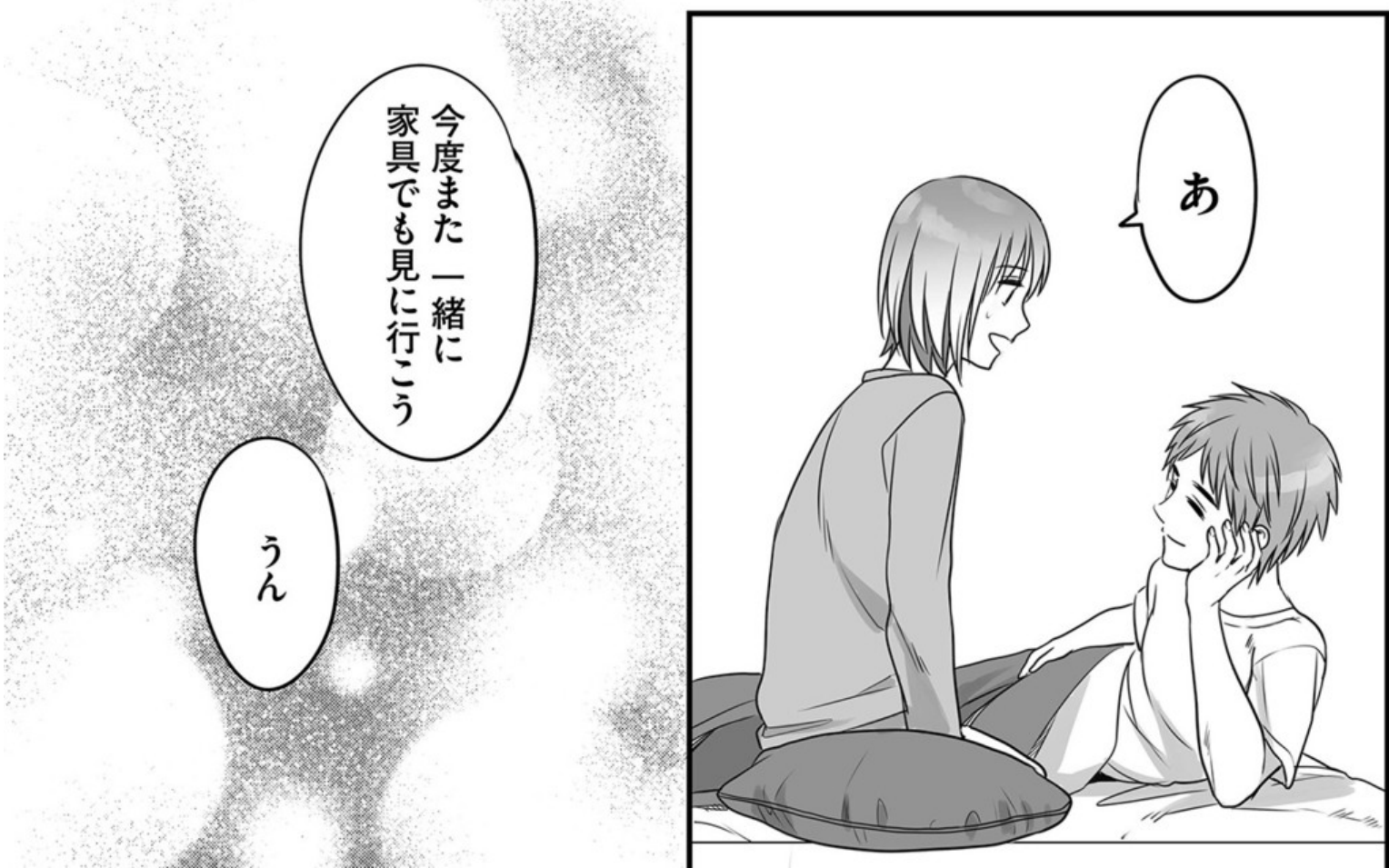
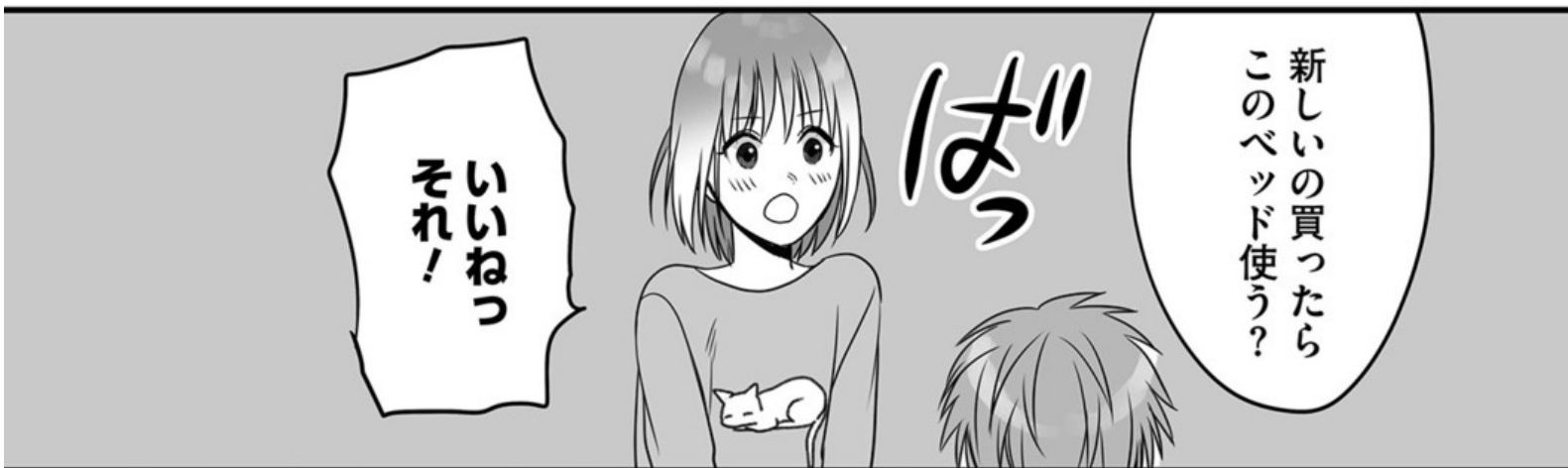
勝手に好意を
寄せられてると
思い込んでいたい



それに俺は……
俺はどうだ？

この子のことを
どう思っている？







花坂くんは
俺だけに優しい

hanosakokun ha
oredake ni yasoshii

第

3

話

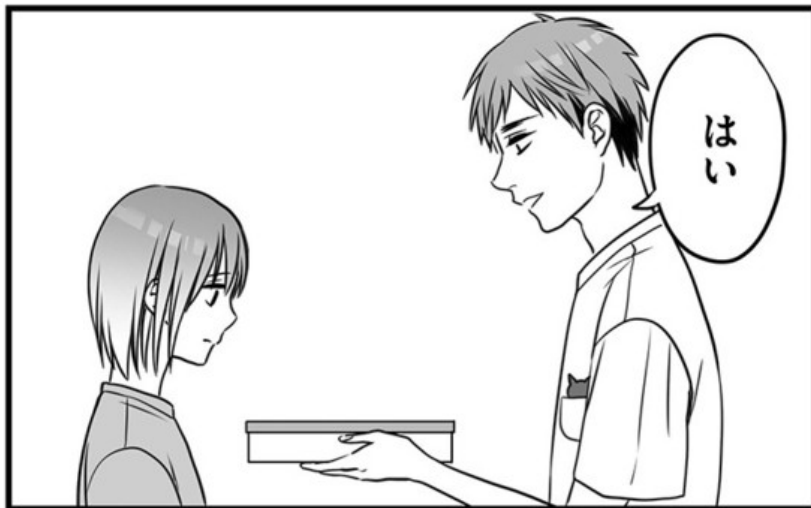
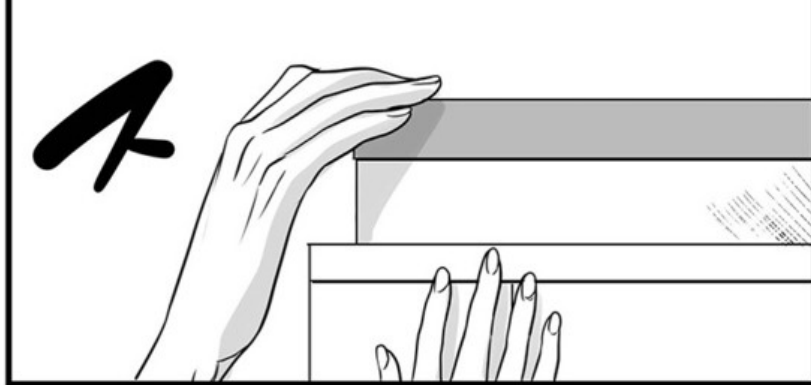


かわいいなあ
すべすべ

ナニ







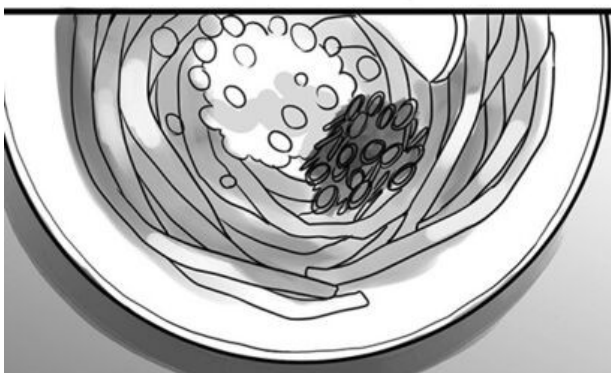


女の子みたいに
かわいいのに

ああだからか

男としての矜持とかが
あったりするのだろうが
面白いなあ

よく分からんところで
張り合われてきたけど



いただきます

いただきます

日曜日だねえ









こうしてみると
お互いのこと
何も知らないよね



普通って

んく
普通かな



だったらこれから
ふたりの思い出を
作っていいよ！

その過程でお互いを
もっと知っていいよ

ガタ



そうだ！



気持ちいい所は
わかるけどね

あつ
スケベだ！



よく知る前に
一緒に住みだした
からなあ

んー

ん
いいけど

よしっ
そうと決まったら

さっそく今から
出かけよ！

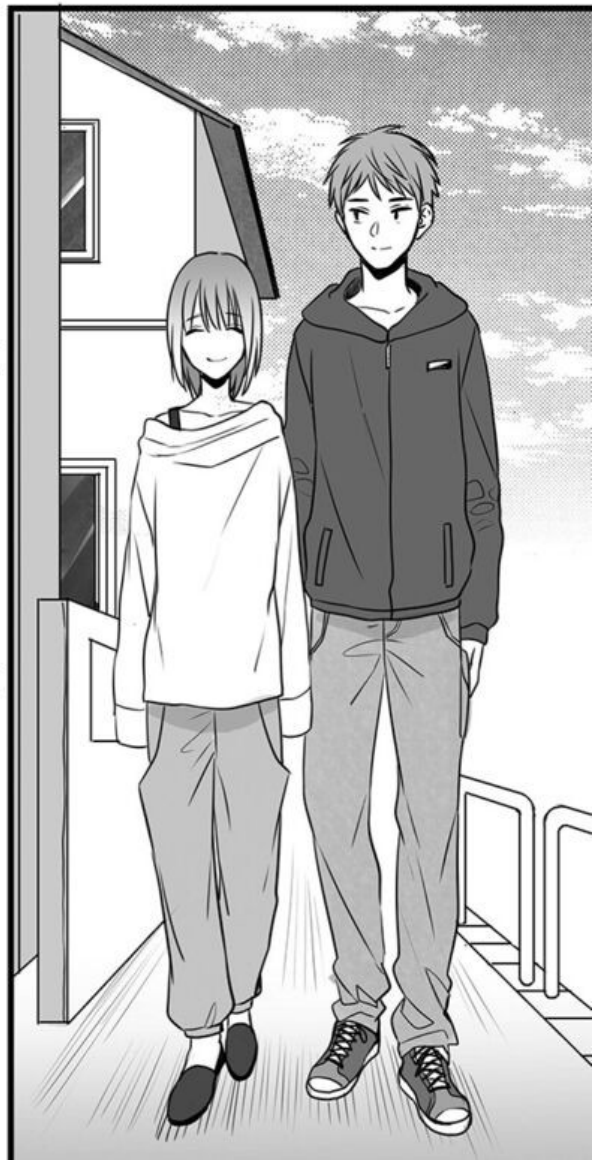
は？

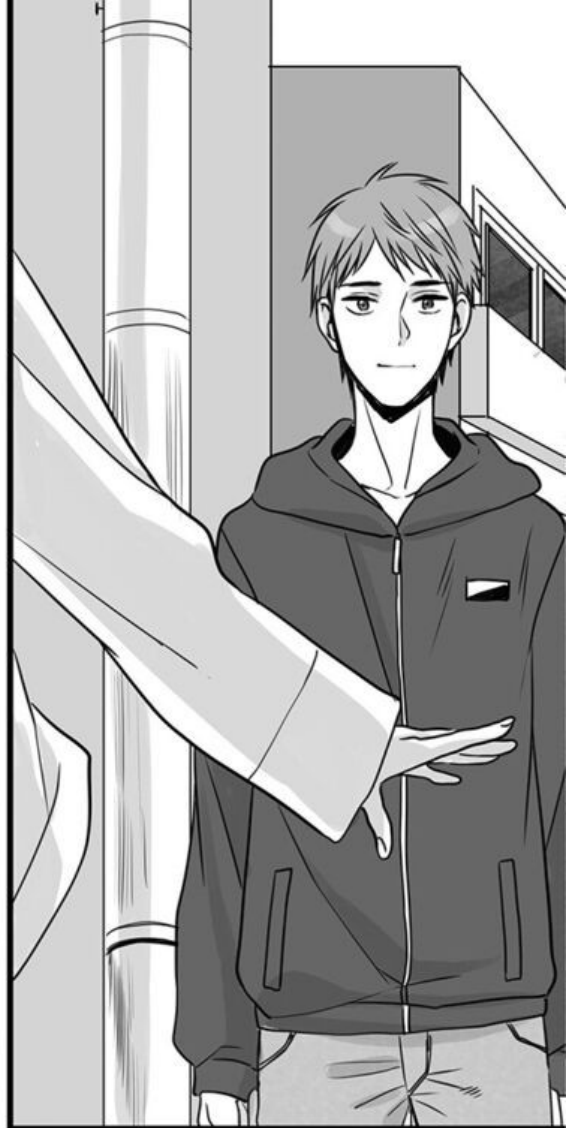
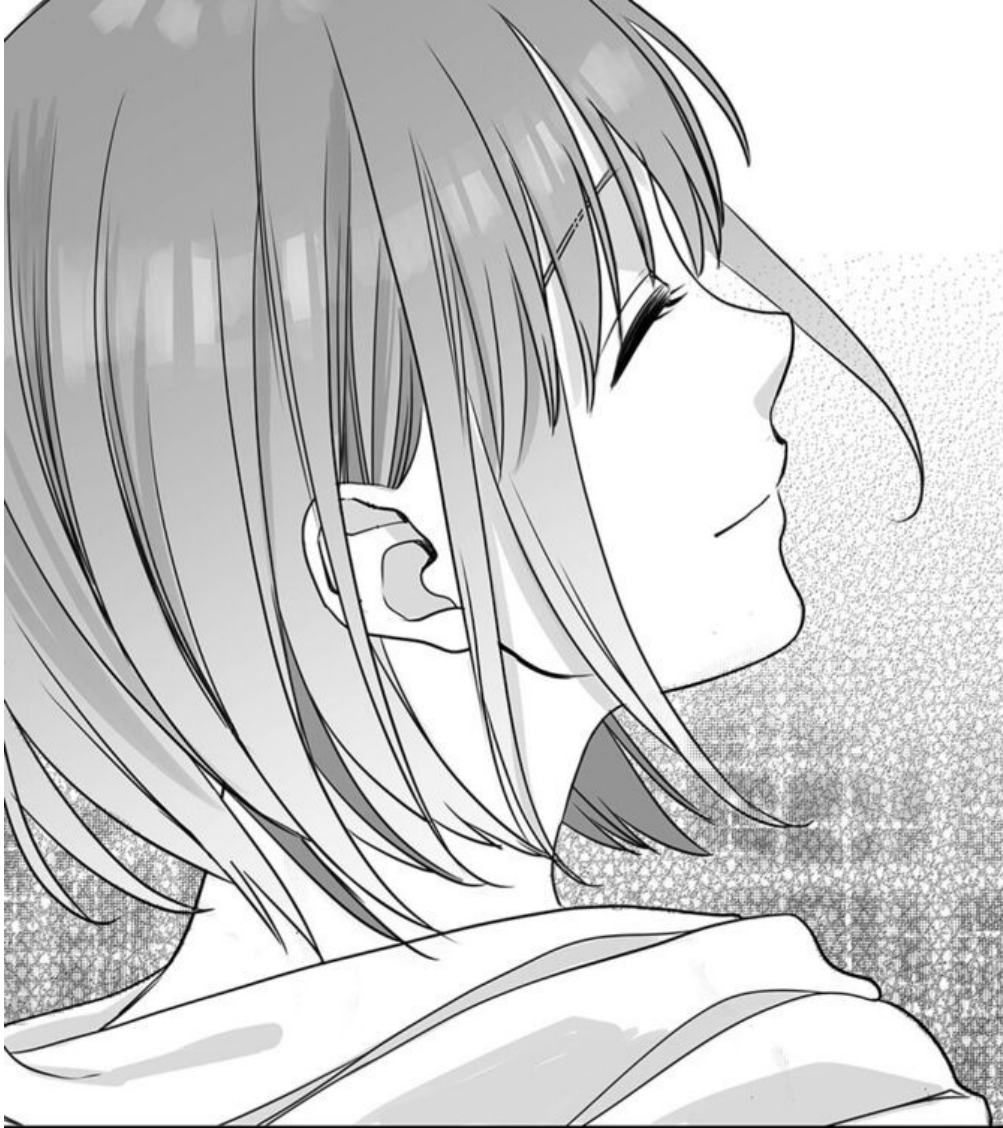
それで
目的地は？

特に
決まってないよ

なんでもない
お散歩も
思い出し
なるでしょ

それにしても
天気いいねー





まぶしいなあ

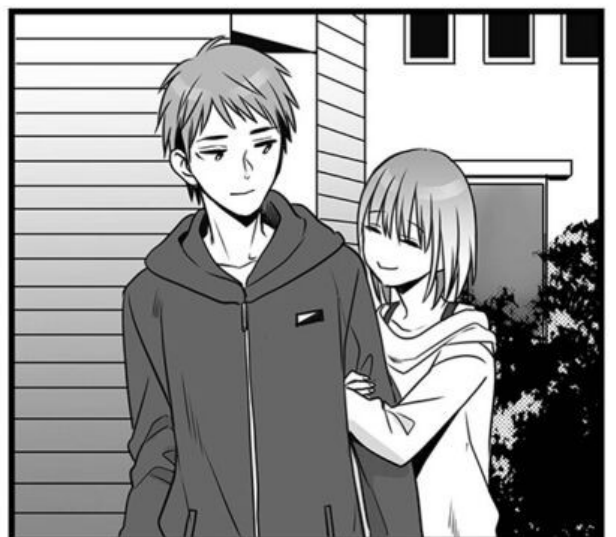
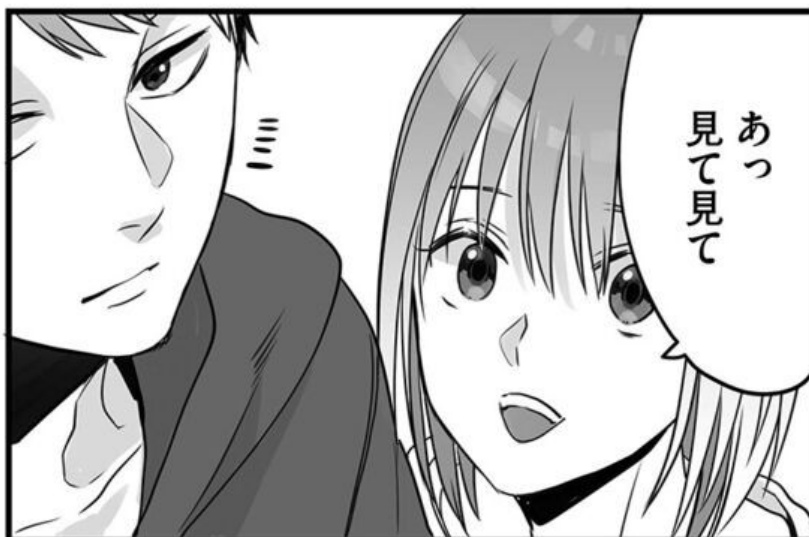


なんでも楽しかったし
キラキラして見えてた
気がする



二十歳だもんな

俺のその頃って
どんなだっけ



休憩
4000～
宿泊
7000～
HOTEL INARI



ふたりで初めて
ラブホ記念ってどう？
思い出にならない？



初めて記念だ

え？



じゃあ休憩
しちゃおう

いいんじゃない？







朝広さん

あ

あ

気持ちいい？

うん

はあ

よっと

とろ

びく

ちゅ

ちゅ

びく

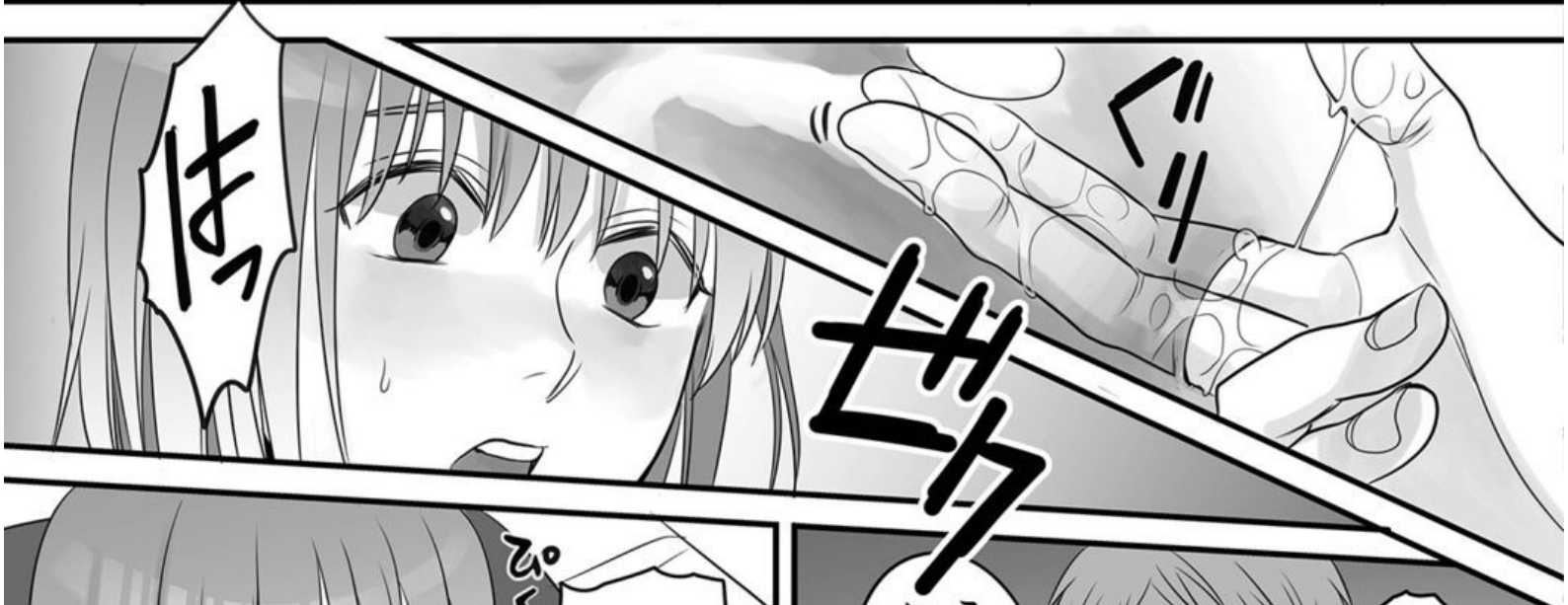
いっ
っ

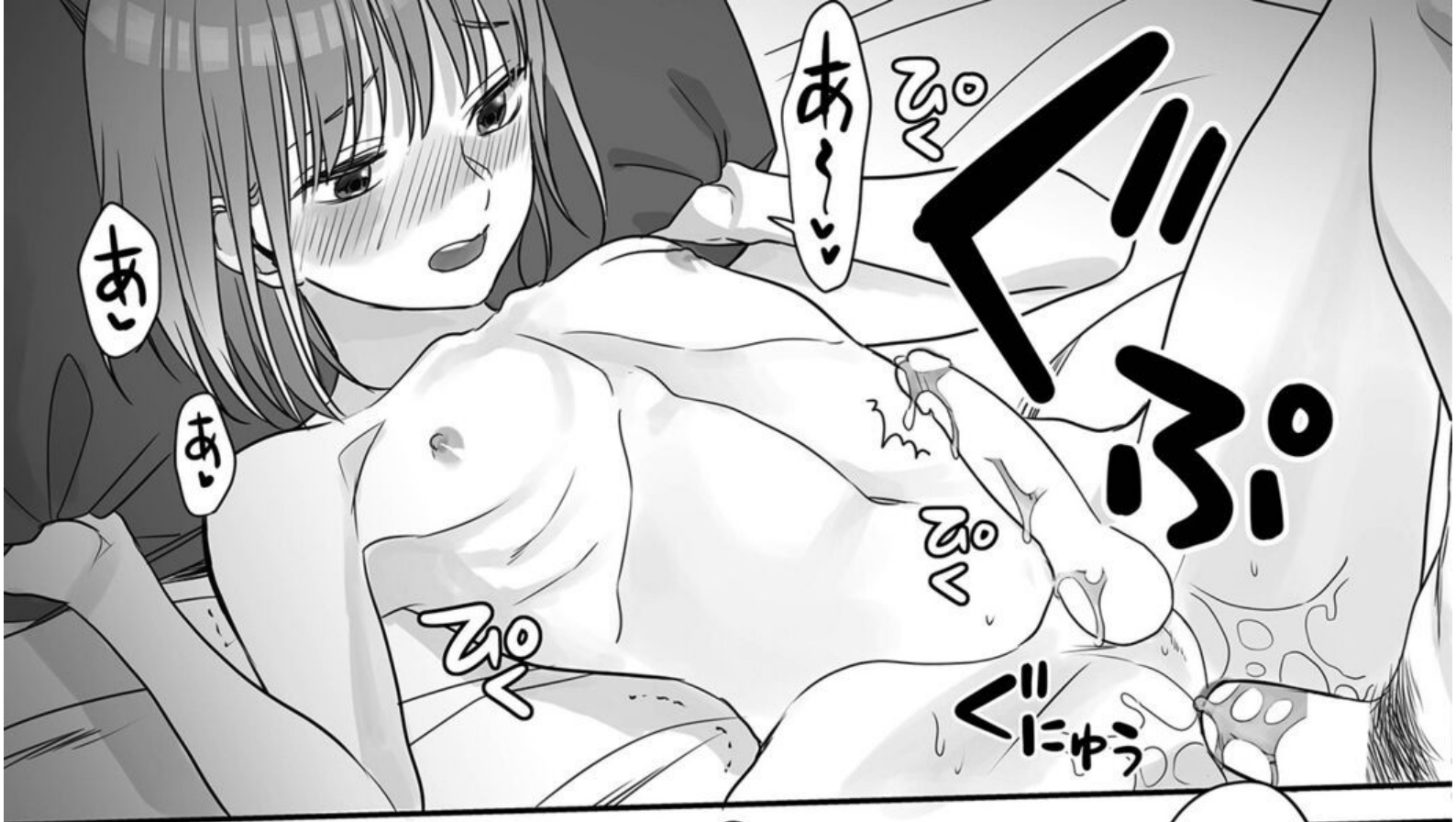
ん...

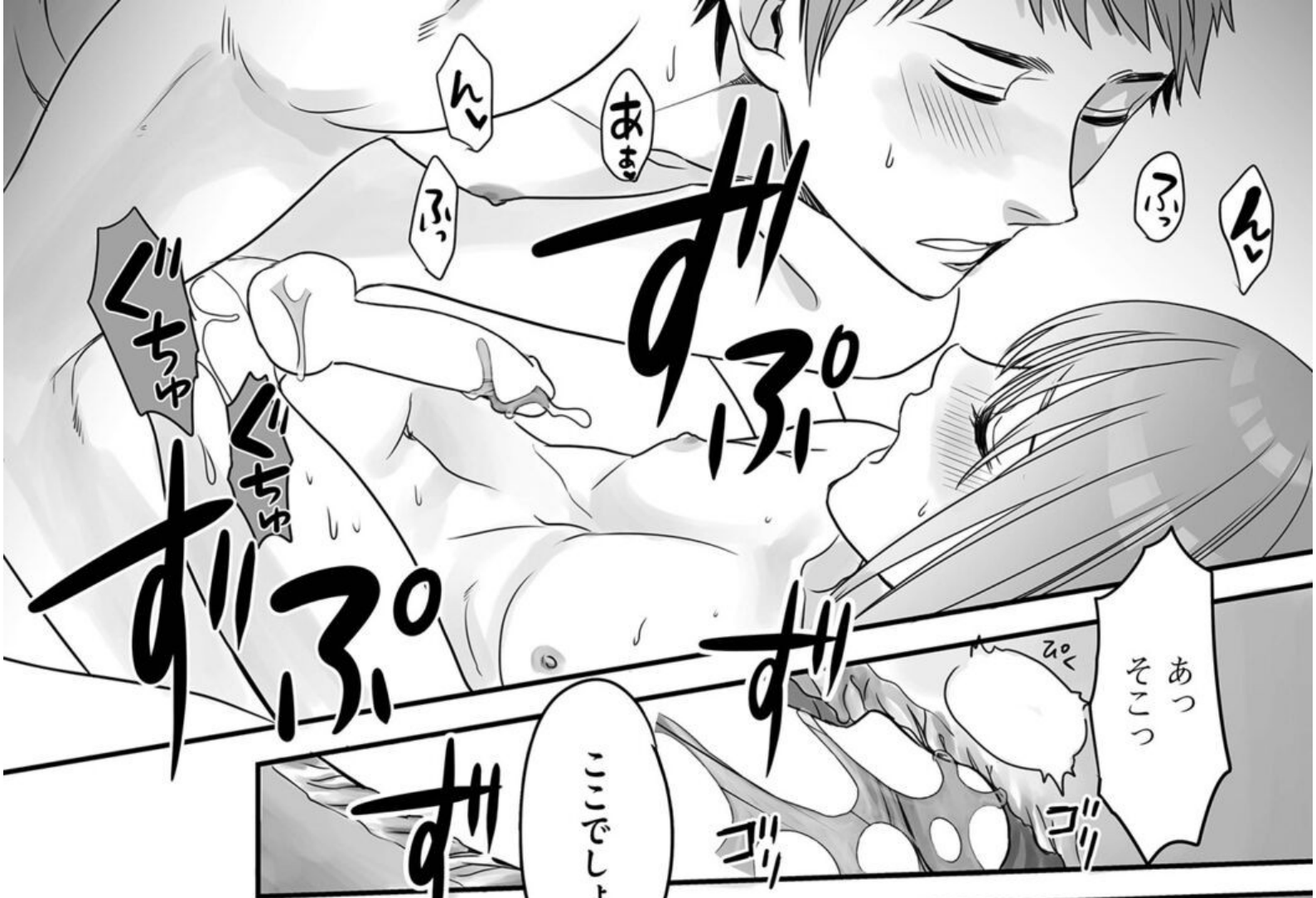
うん

指入れるよ

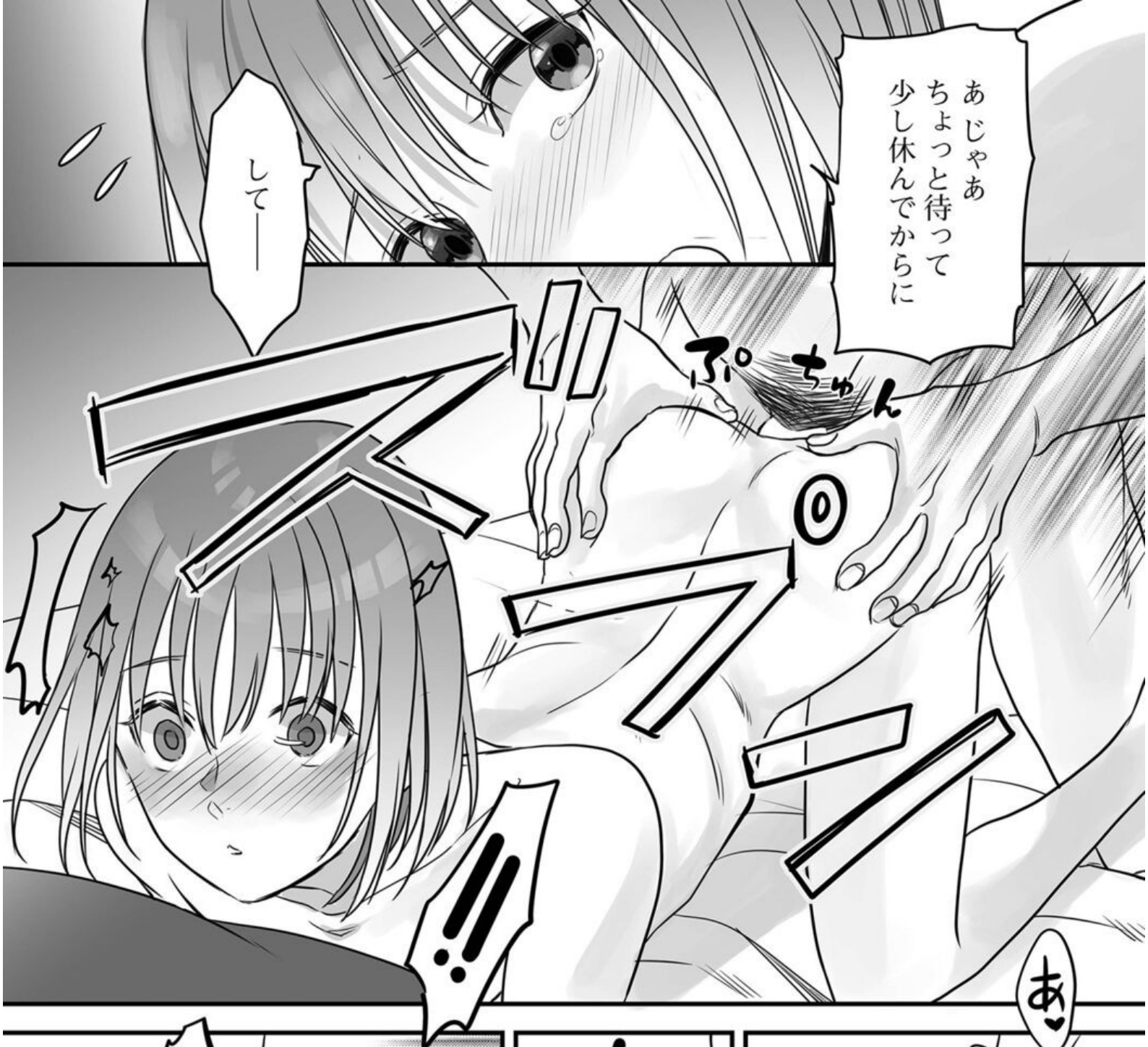
ぐ















おつかれさま



サア



んー
湿った匂いがする
梅雨の匂いだね



そうだね
いい思い出だ



サア

どういたしまして

思い出作りも
継続中だからね



迎えに来てくれて
ありがとう

サア

サア
サア



ああ
そうだね

そうか
季節の匂い

忘れてたなあ
俺も昔は
そういうの
感じてた気がする



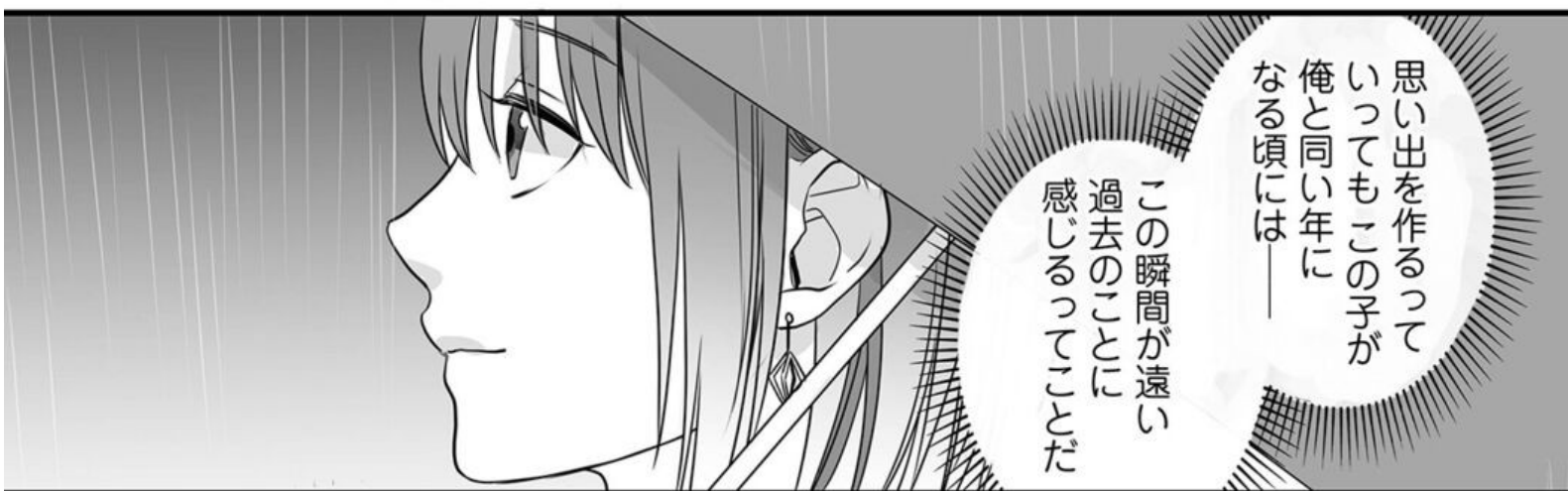
梅雨の匂い？

うん 湿った…
夏に入る前の
温かい匂い



それこそ
二十歳の頃は…

遠い昔のことの
ような気がする
けどね



思い出を作るって
いってもこの子が
俺と同じ年にな
る頃には――

この瞬間が遠い
過去のことだ
感じるってことだ



でも俺にとっては
最近の出来事みたい
に記憶していて――



この時を思い出して
くれたりするん
だろうか



いつかこんな雨の日に
雨の匂いを嗅いだら

ホッ

ホッ



ハァ

いつかさ



思い出してって
どういうこと?



俺のこと思い出して
懐かしく思ってたね

始まったばかり
なのに
変じゃない？

ああ
そうだね

サァァ

僕と一緒に
いたくないの？

いや
そうじゃなくて

じゃあ
どういう意味？

一緒に思い出
作っていきこうって
してる時にさあ

ホッ

うんだからかな
いろいろ考えちゃった
というか感傷に
浸ったというか

何それえ

深い
意味はないよ

年は取りたく
ないねえ



僕はこんなに
好きなのに



年とか関係ないよ
もしかしてだけど
全然分かってない？



好き？

そうだよ
あたりまえじゃん

サァ

サァ



えっと



あー



まさか

都合いいから
一緒に住んでて
そのためにHなこと
してるって思っ
てないよね

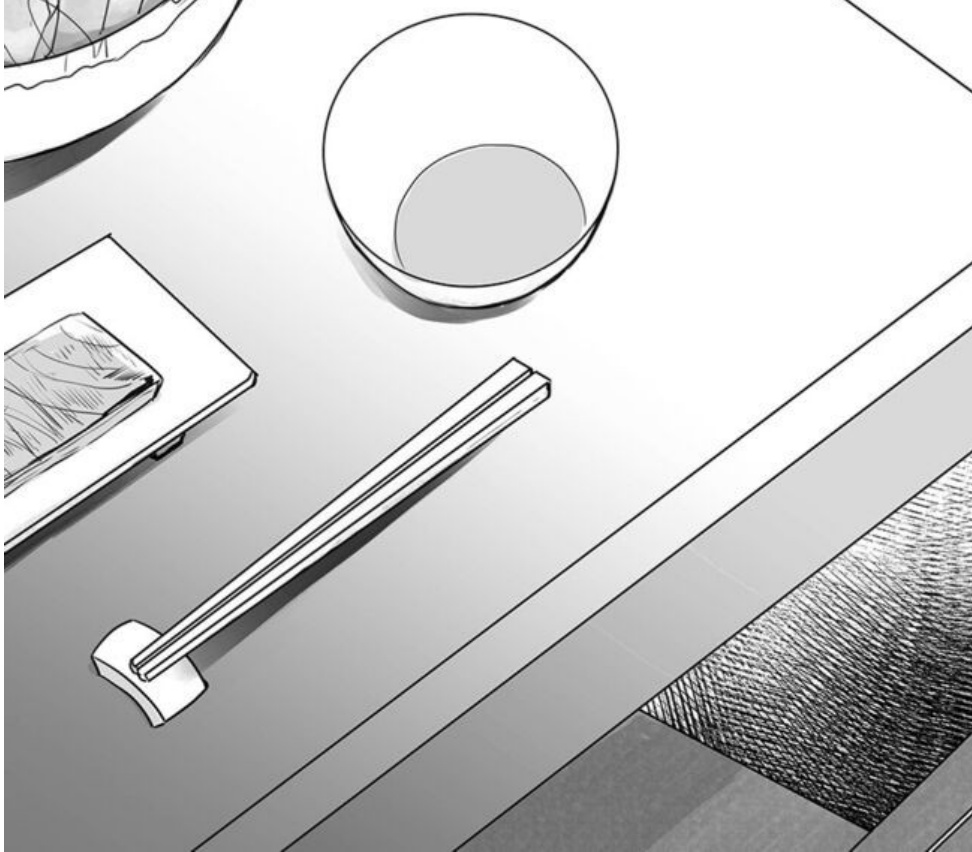


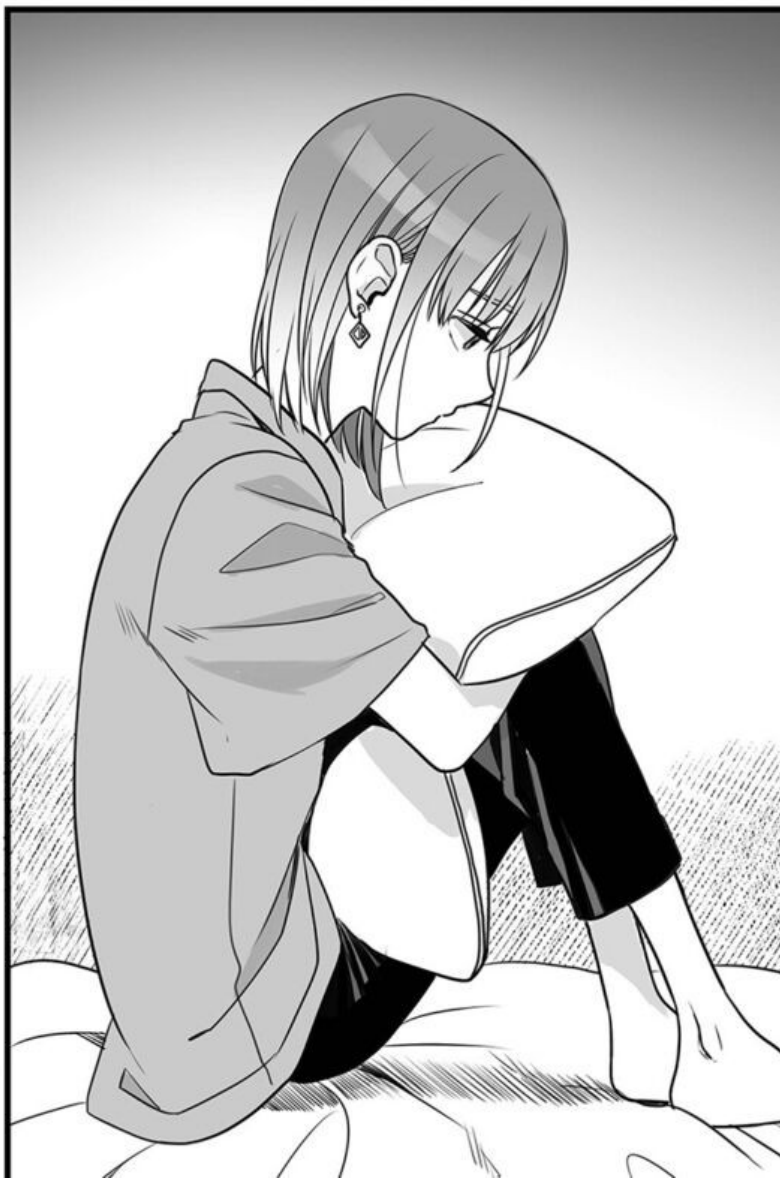
あ…

僕先に帰る！



何それ
嘘でしょ
信じられない





花坂くんは
俺だけに優しい

hanasakokun ha
oredake ni yasoshii

第

4

話





ちゃんと
わかって
くれたんでしょ
僕の気持ち

うん
それはもう

散々確認
したから

ねえ
わかったあ？

僕は本当に好き
なんだよ
ともひろ
朝広さんのことが

うん

本気だからね

うん

じゃあこの関係は今だけだ
みたいなこと言わないでよ
ネガティブなこと禁止ね

うん

ほわん

ちよつと
何笑ってんの!?





一生かあ

永遠を信じられる
年頃だもんな

まあこれが
一時の感情でも
つきあっていけたら
それでいい

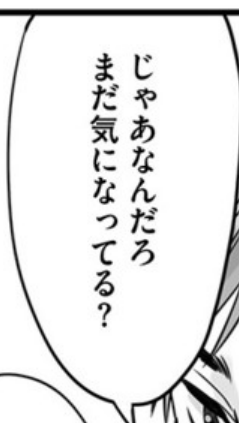
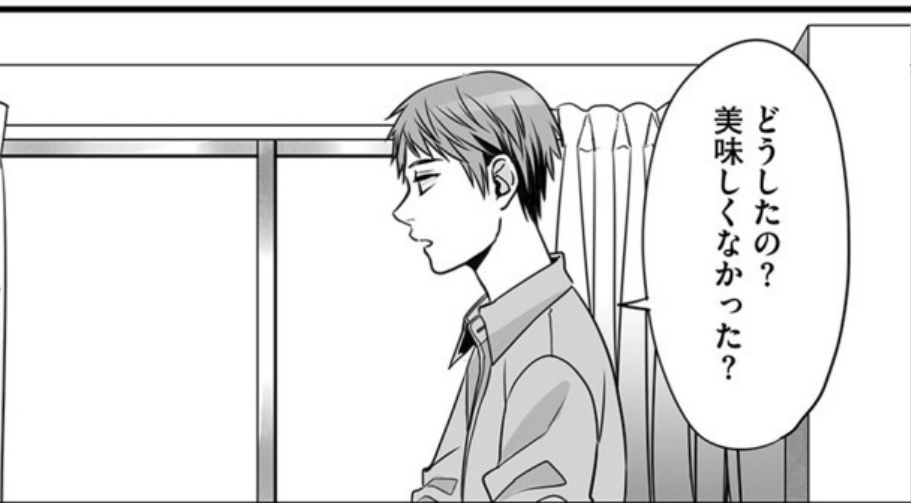
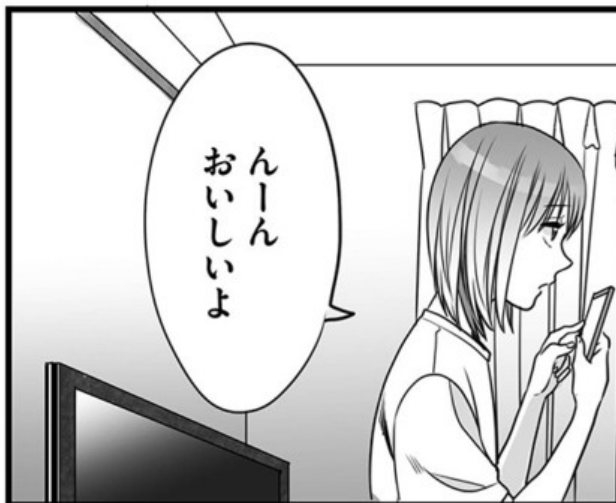
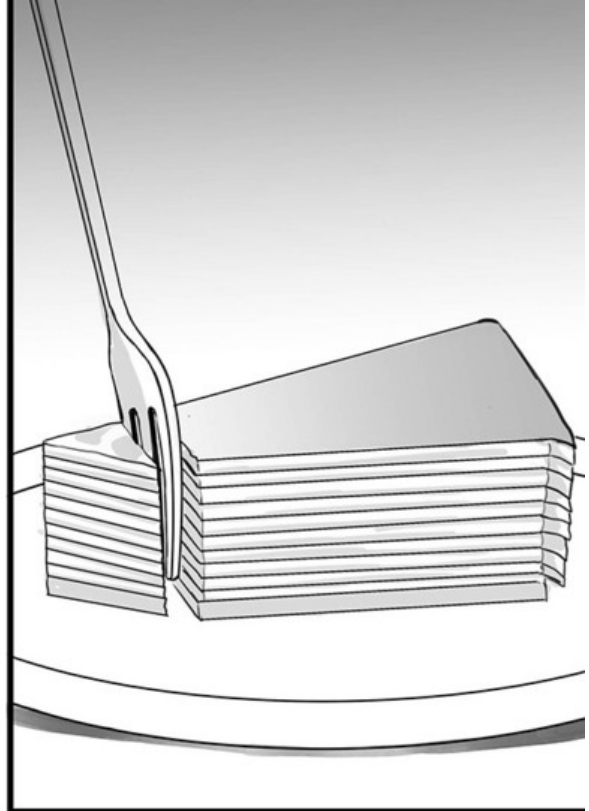


なんて考えを
聞かれたらまた
反発されるん
だろうけど



この子をもついいって
思う時まで一緒にいよう

離れたいと言われたら
潔く送り出せるように





どうしよー

怒られるだけなら
いいけど
学校とか辞めさせられ
ちやったりして



うん

え？
引越したの
言って
なかったの？



あー…でも
放っておくわけにも
いかないし

会わないとダメかなあ
なんとかごまかせない
だろうか…

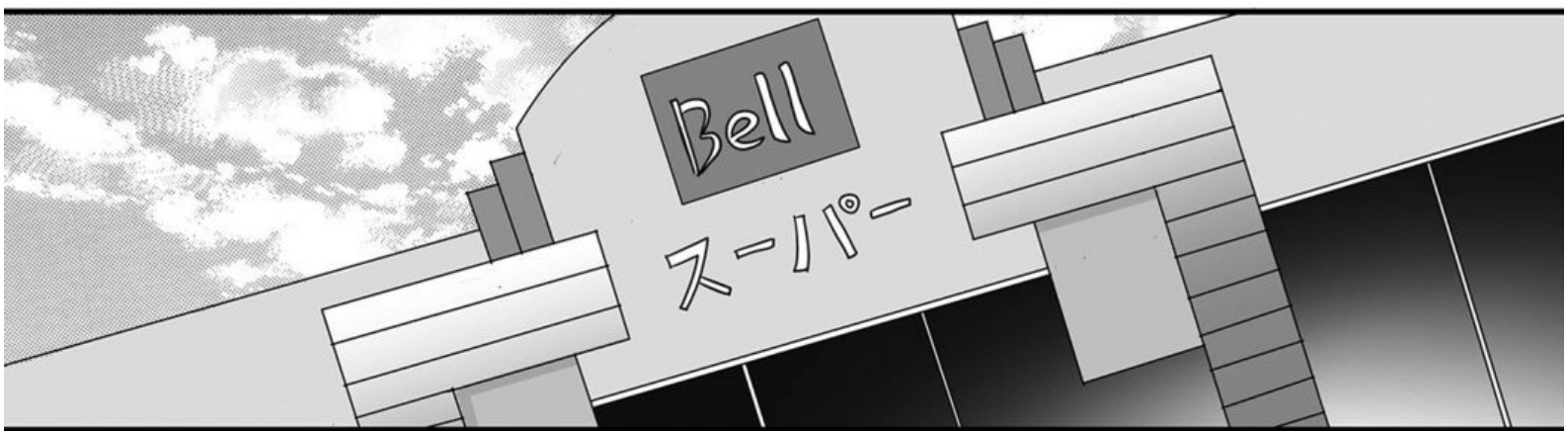


そんな
おおげさな

おおげさじゃないって
分かってないからだよ



俺にできる
ことは？
あいさつなら
するよ



こうやってずっと
いられたらいいな
と思って

ずっとって

自分で言ってたでしょ
一生だよって

そうだけど

お父さんのこと？

……

分かってくれるって
きっと

そうだといいいけど

僕のことになると
父さん普通じゃ
なくなるから

どういふこと？



僕は父さんの
女なんだよね



え…
今なんて

ん—
いいや!



聞き間違いかな

女って言った?



さっ早く買って
帰ろう
ご飯作らなきゃ



悩んでも仕方ない
なるべくにしか
ならないよね



まさかね
そんなこと

でもこの子の
姿を見ると
変に邪推してしまう

だけどなぜか聞けないまま
気のせいだと思ってしまう



今日は何しようか

んーそうだなあ





いいよお
余計ややこしい
ことになるから

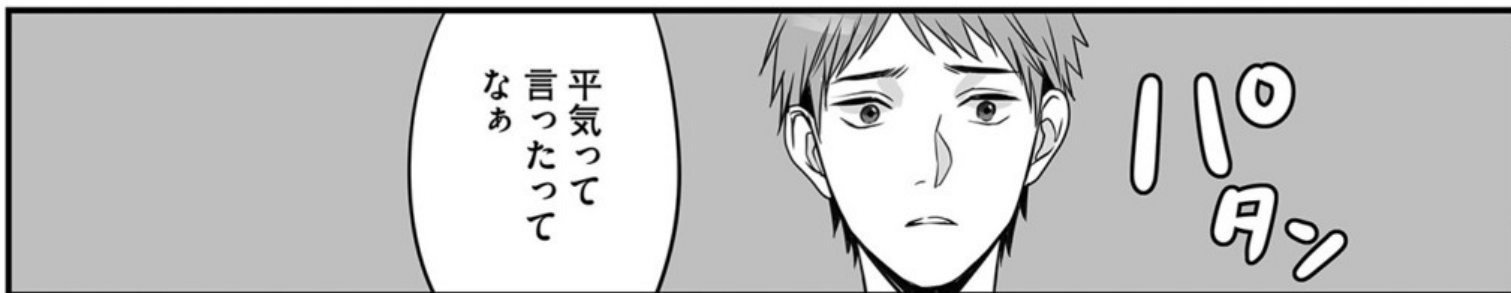
付いて行こうか？



それじゃあ
行ってきたあす



平気って
言ったって
なあ



待つことしか
できないか



父さんの
女だから

ちゃんと聞いておけば
よかった



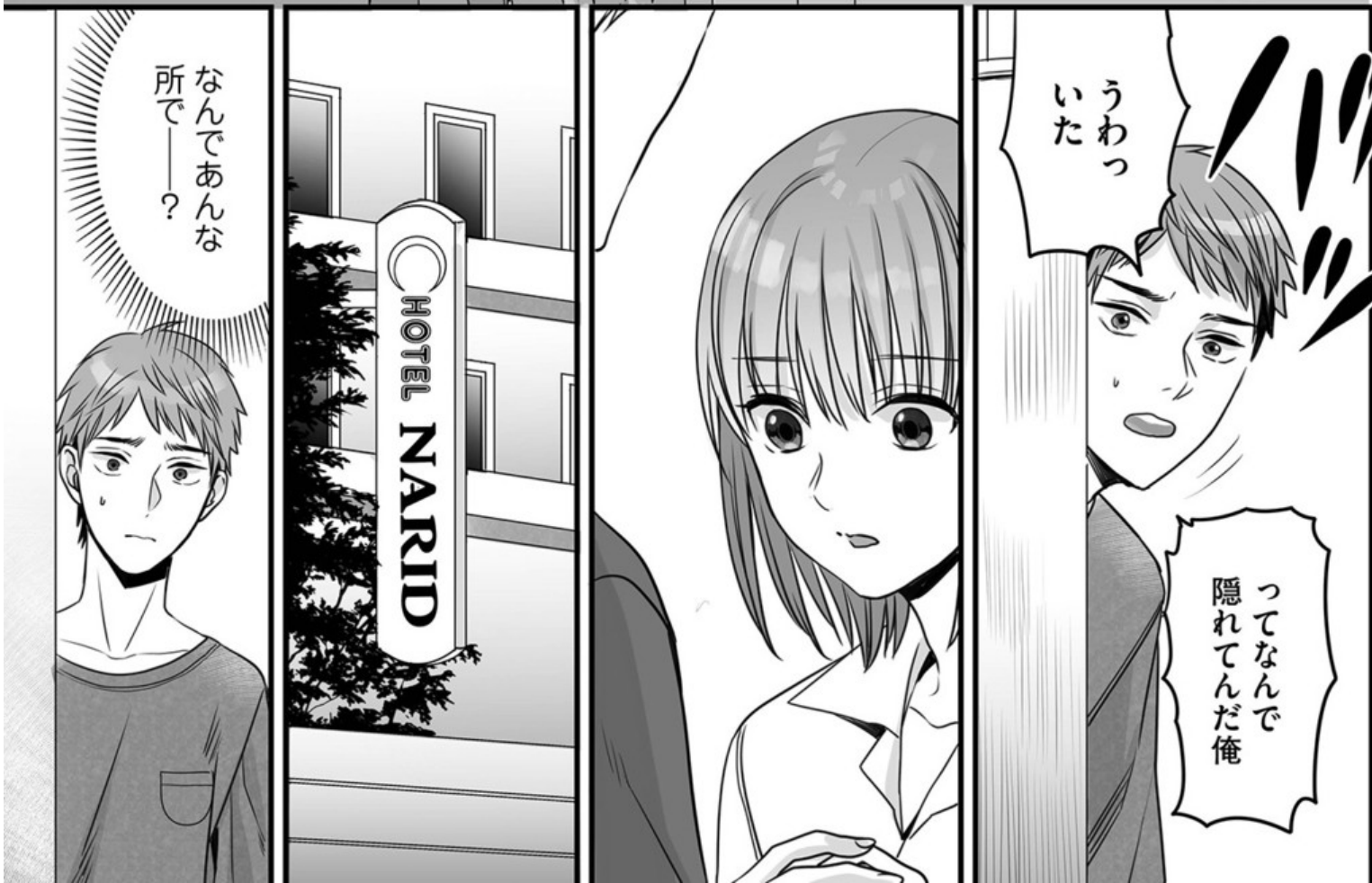




料金案内

ご休憩
4000~5600
お泊り
6000~8000
平日フリータイム
7:00~17:00 3500
平日サービスタイム
14:00~21:00 4000
土日祭日サービスタイム
7:00~17:00 4000
宿泊AM2:00:~正午まで
千円引き(土日祝除く)

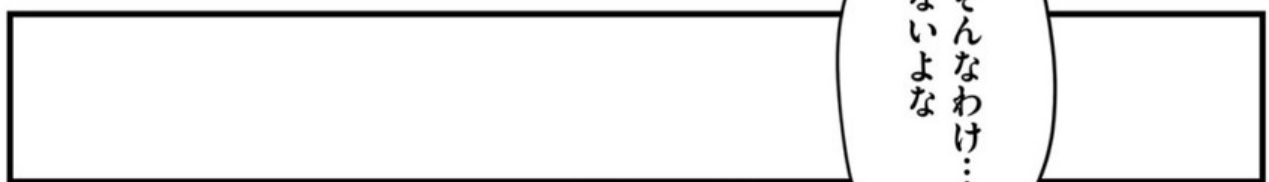
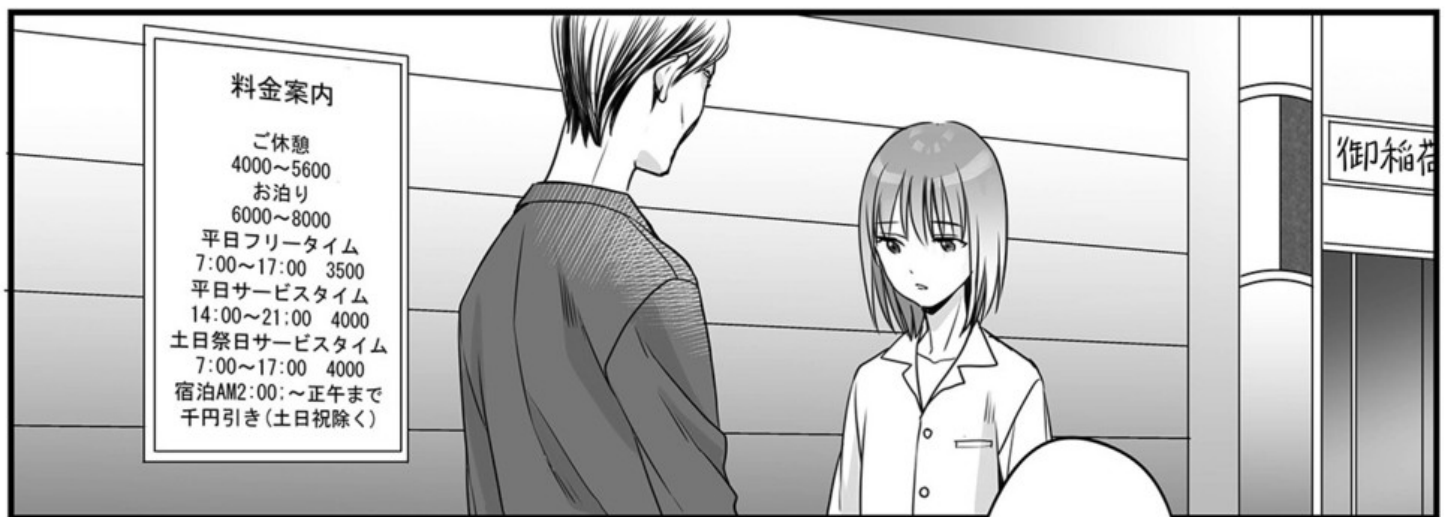
近くにいないかなあ
帰ってくる途中とかで

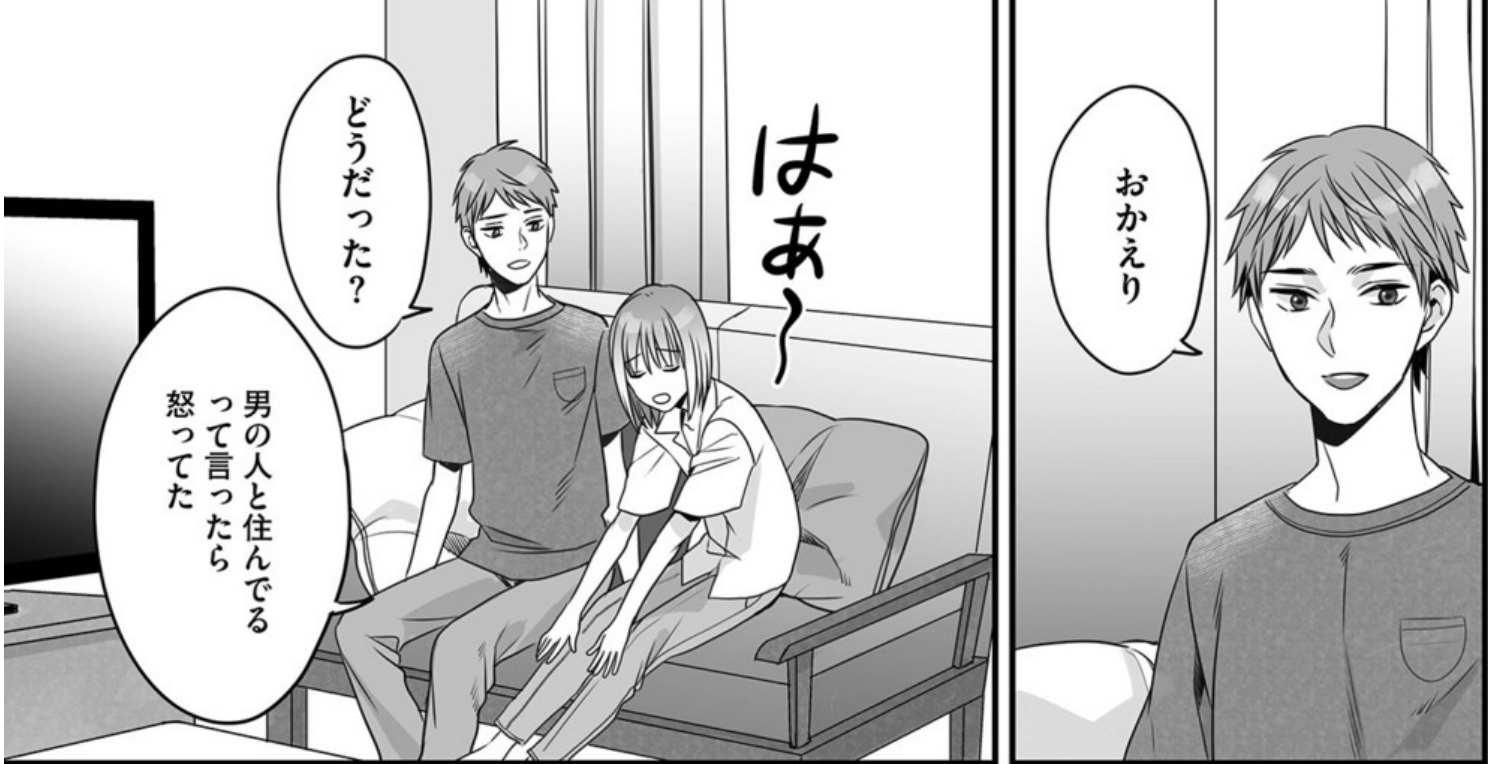


なんであんな
所で——？

うわっ
いた

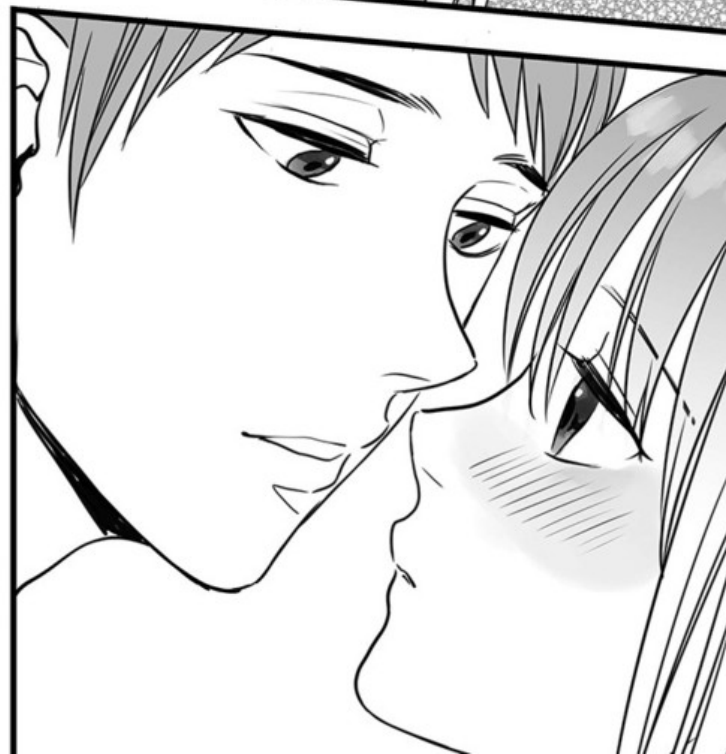
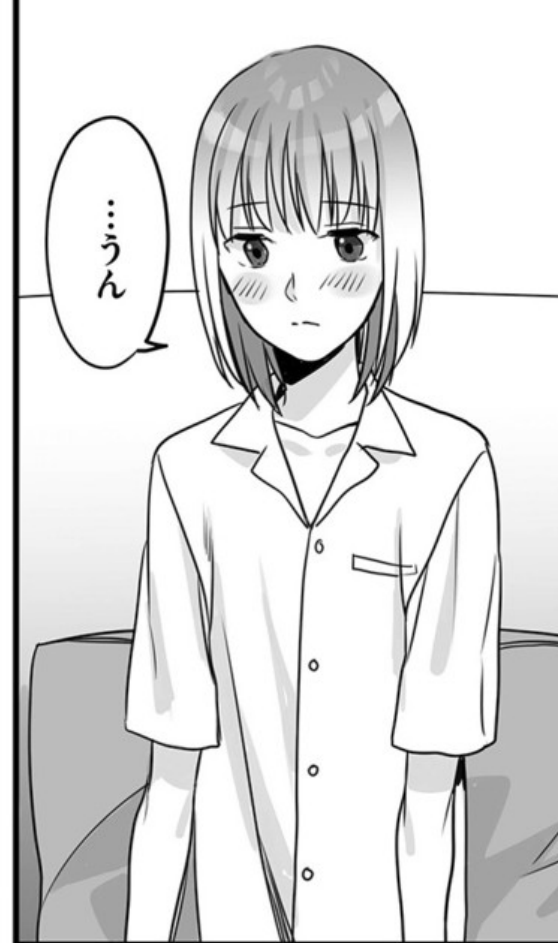
ってなんで
隠れてんだ俺





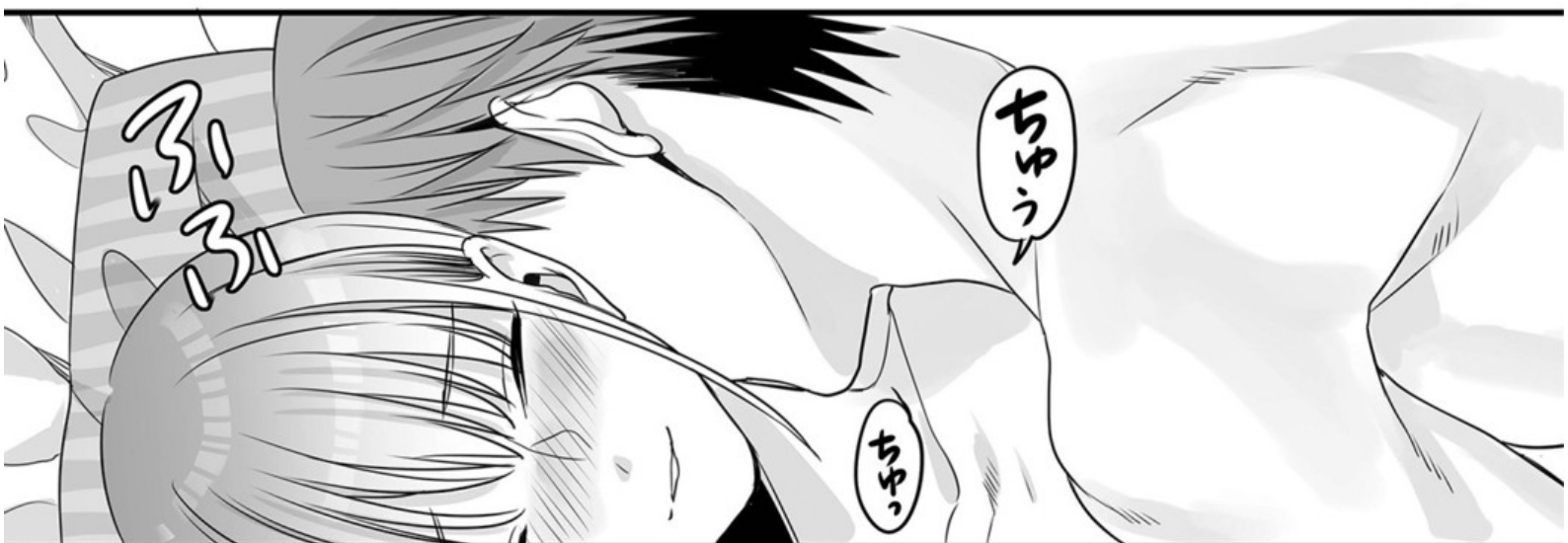
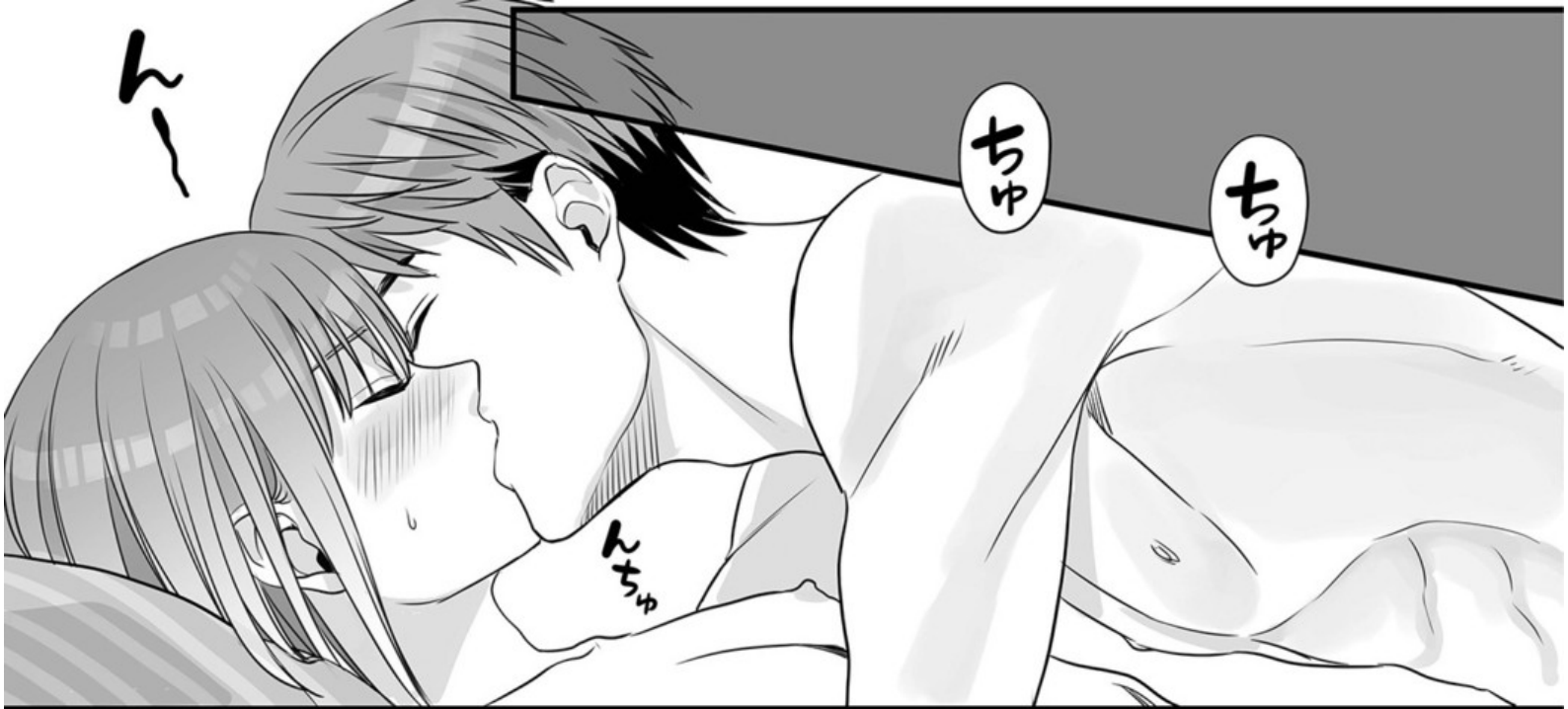














母さんが死んじゃって
代わりに僕が父さんの
世話してたから
依存されてるっていうか

自分の物
なんだって
放さない感じで

そういう意味で
女ってこと
父さんの中では

あ…
そ…

なんだ…

変な言い方して
ごめんねえ

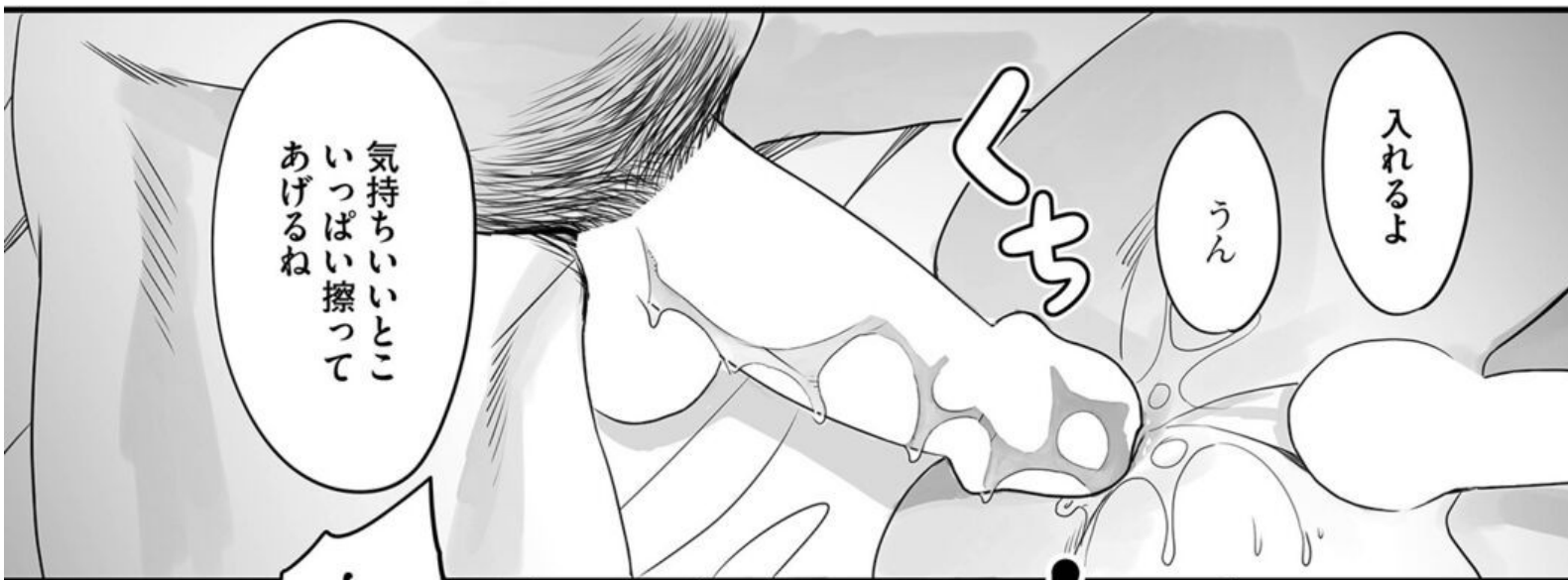
いや
俺の方こそ
変な想像して
…ごめん

くす

続き
するでしょ？

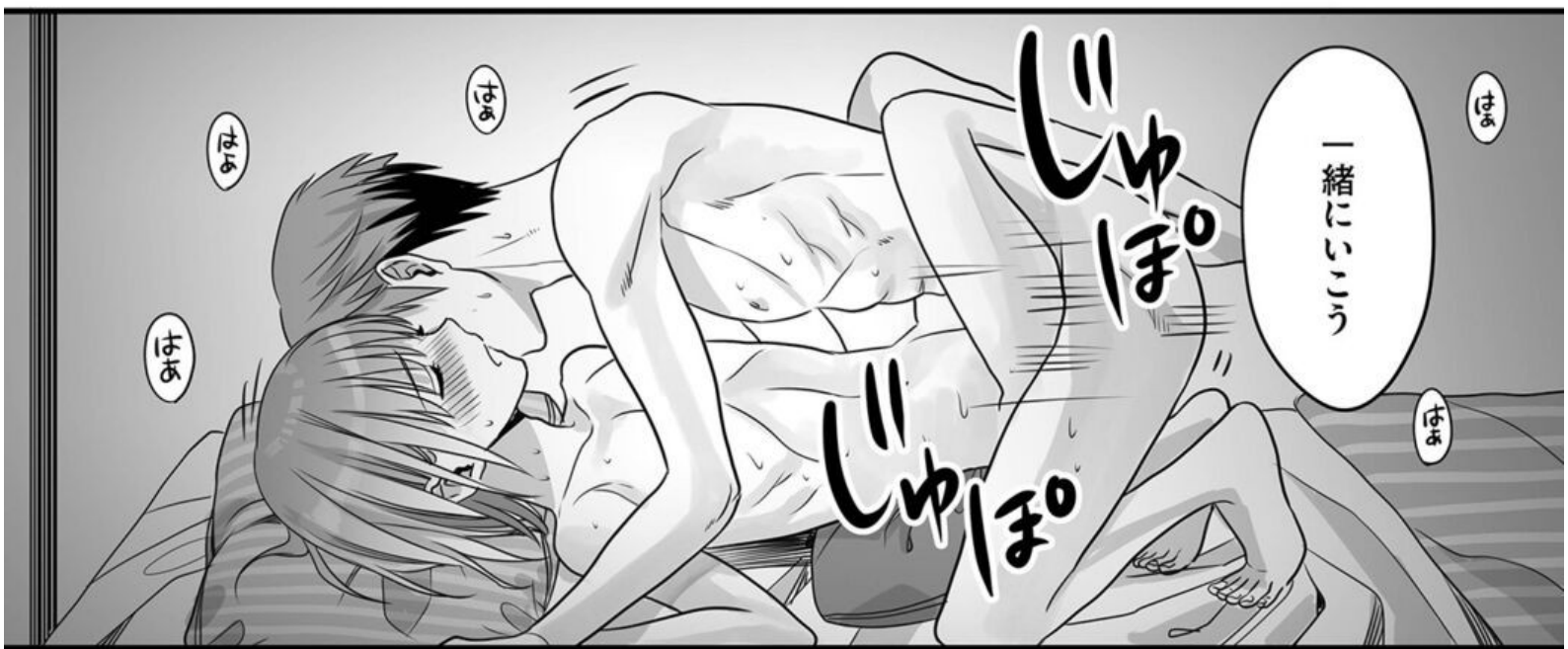
好きにしていよ

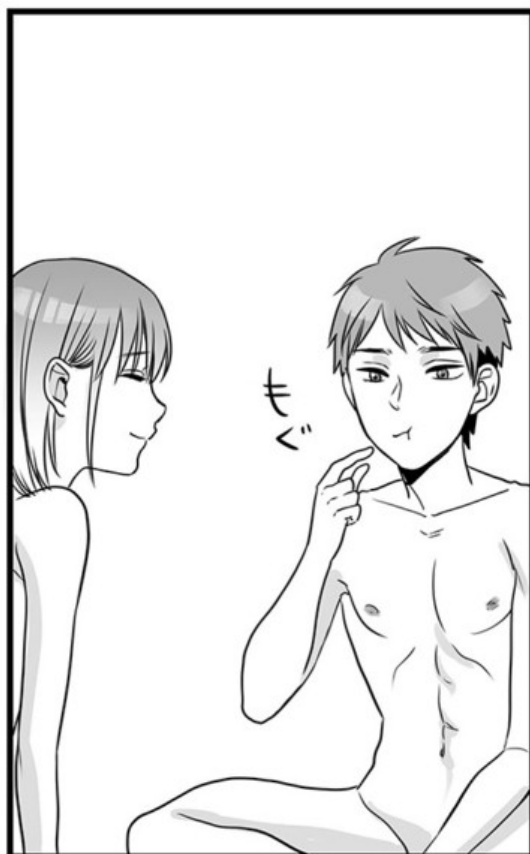
ア…













そうか…
それじゃあ



END



僕の幸せな
未来

boku no siawasena mirai

大学に入って
ひとり暮らしを始めた

よっと

父さんには最初
反対されたけど
なんとか説得して
新生活を始められ
たんだ

父さんの元から
解放されたいって
想いがあったけど

そんな僕の気持ちも
知らず家賃と
生活費はちゃんと
送ってくれた

荷物少ないなあ
後で買い足そう

でも送ってくれる
生活費だけじゃ
遊興費他いろいろ
足りなくて
だから僕はバイトを
することにした

MINNANO-MART

と学がより



話に聞いていたより
来るお客さん
みんないい人たちだった

いえ

温めますか？



いらっしやいませ

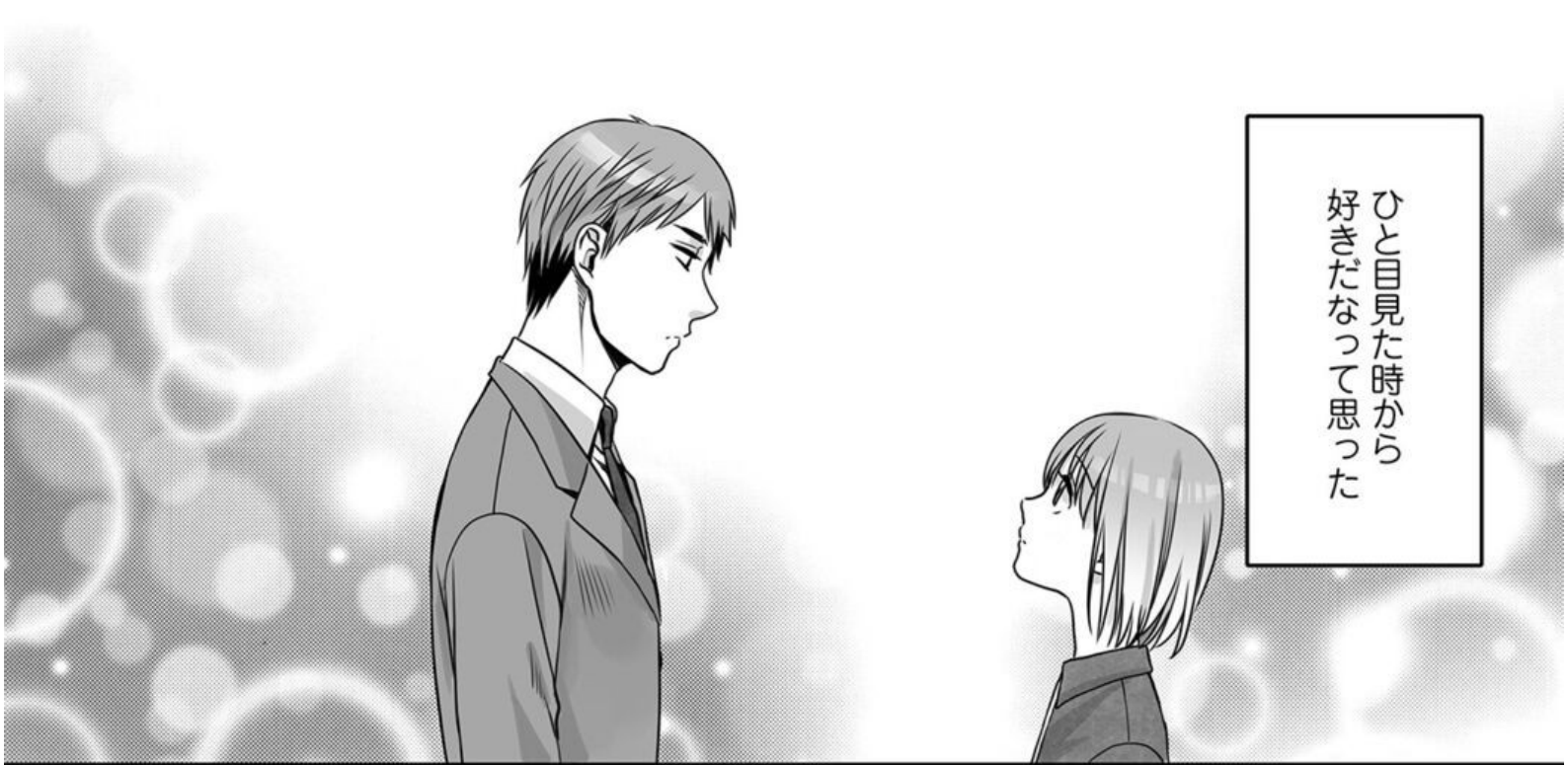
学校からの帰り道にある
普通のコンビニエンスストア



そこで――



僕は朝広^{ともひろ}さんに
出会ったんだ

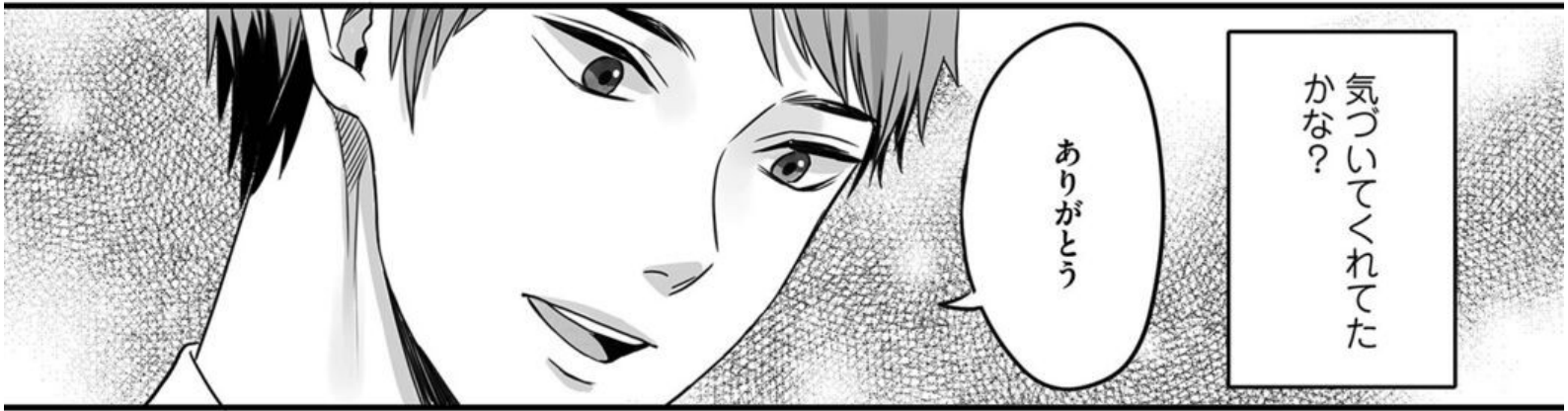


ひと目見た時から
好きだなんて思った



おつり一五八円に
なります

特別優しくして
態度で示してたの



気づいてくれてた
かな？

ありがとう



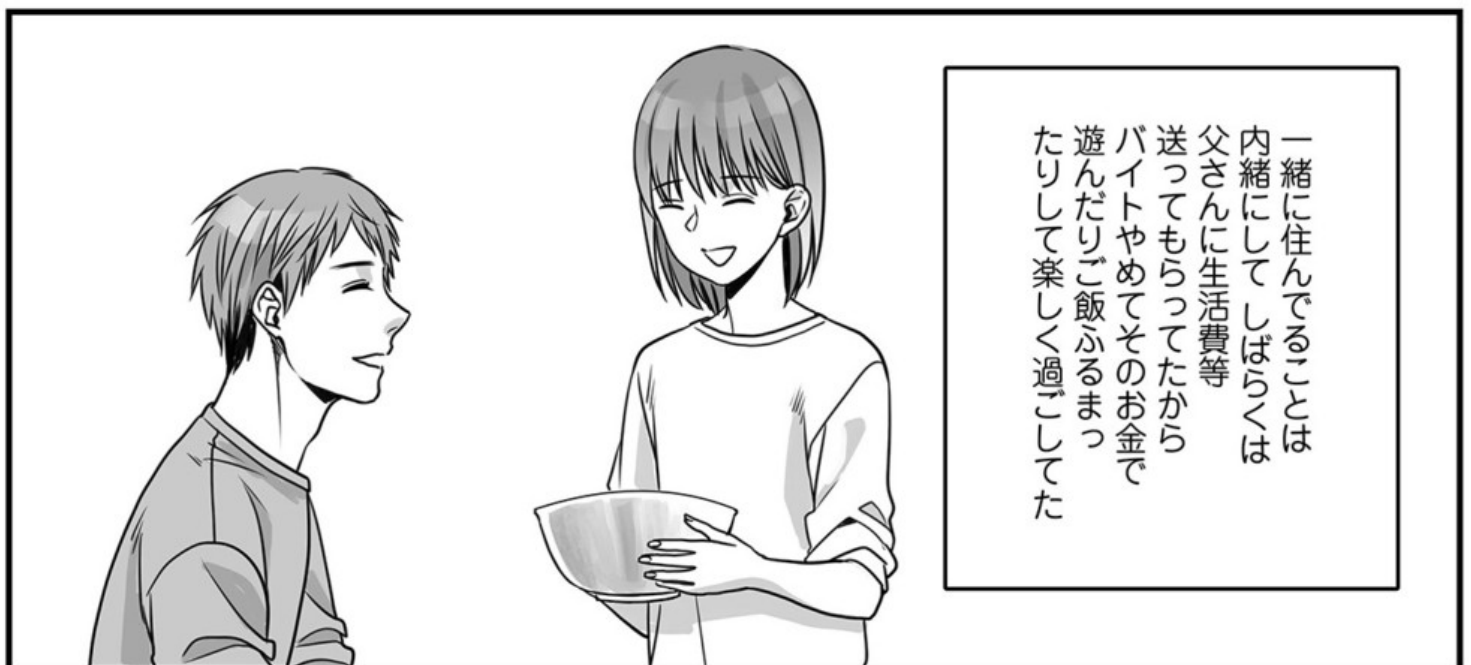
ひとり暮らしなのか
いつもお弁当
買っていくから
接点を持ちたかった
僕は
ある話をもちかけた



行きすぎかなとか
思ったけどまさか
上手くいくとは思
わなかった



一緒に住みませんか？



一緒に住んでることは
内緒にしてしばらくは
父さんに生活費等
送ってもらってたから
バイトやめてそのお金で
遊んだりご飯ふるまっ
たりして楽しく過ごした

だけどそんな
甘い考えが長続き
するはずもなく
父さんに知られて
しまった

男の人と住んでるのも
知られて大ピンチ
だったけどなんとか
上手くまとまったはず

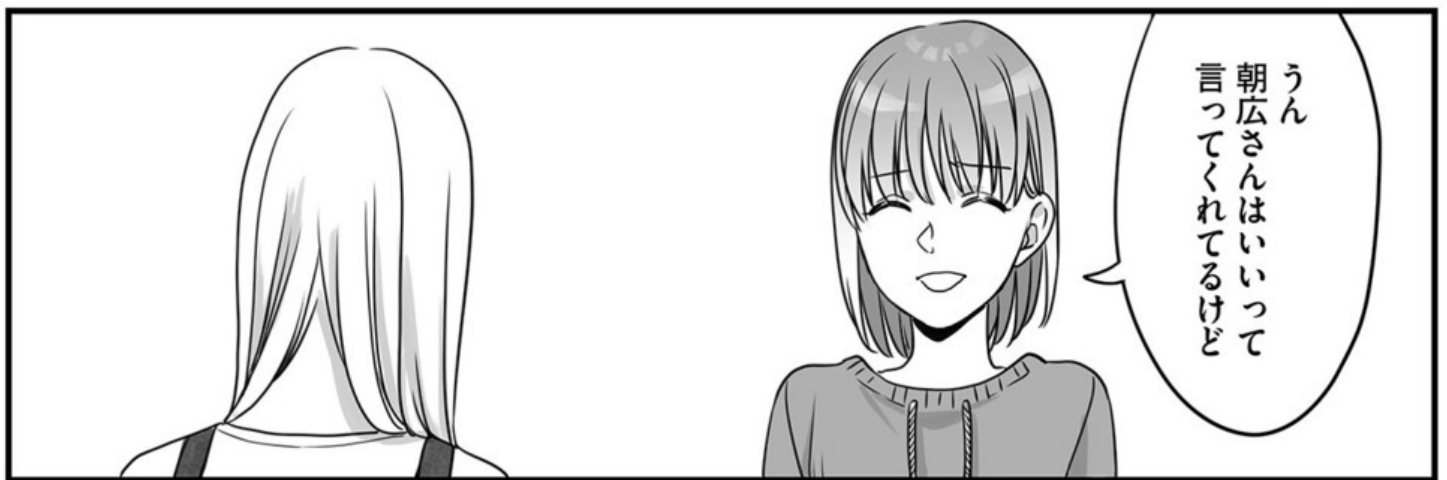
はあく…でもまあ
そんなこんなで

これからは仕送り
なくなっちゃうから
バイトしなきゃなんだあ

ちゃっかりしてたね

でも学費は払って
もらってるんでしょ

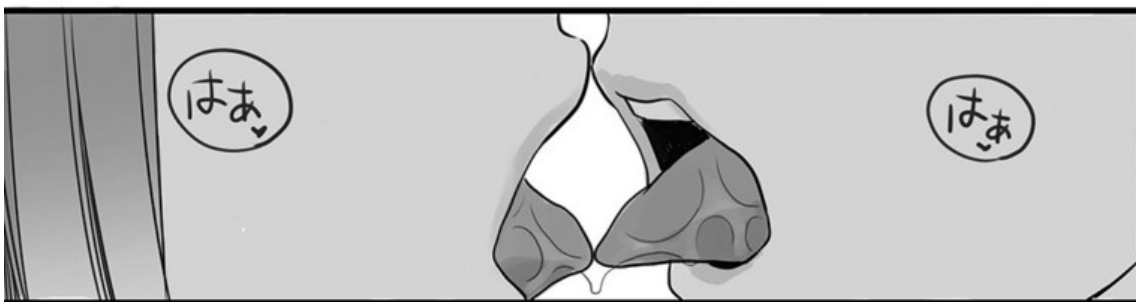
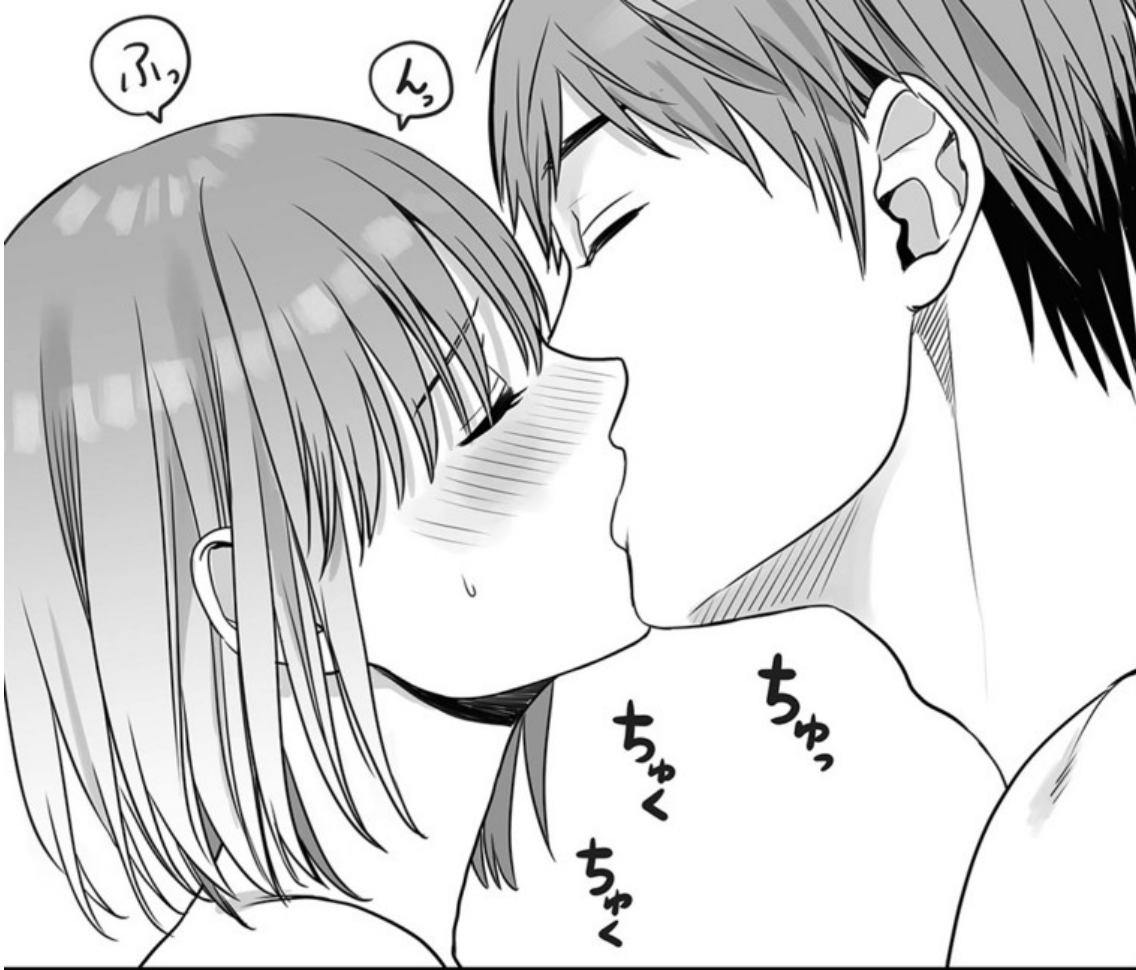
うんまあね

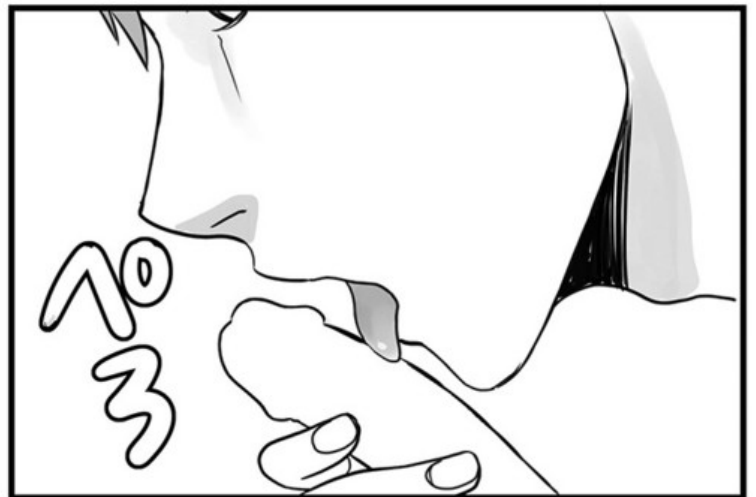


この日々に
感謝しなきゃ

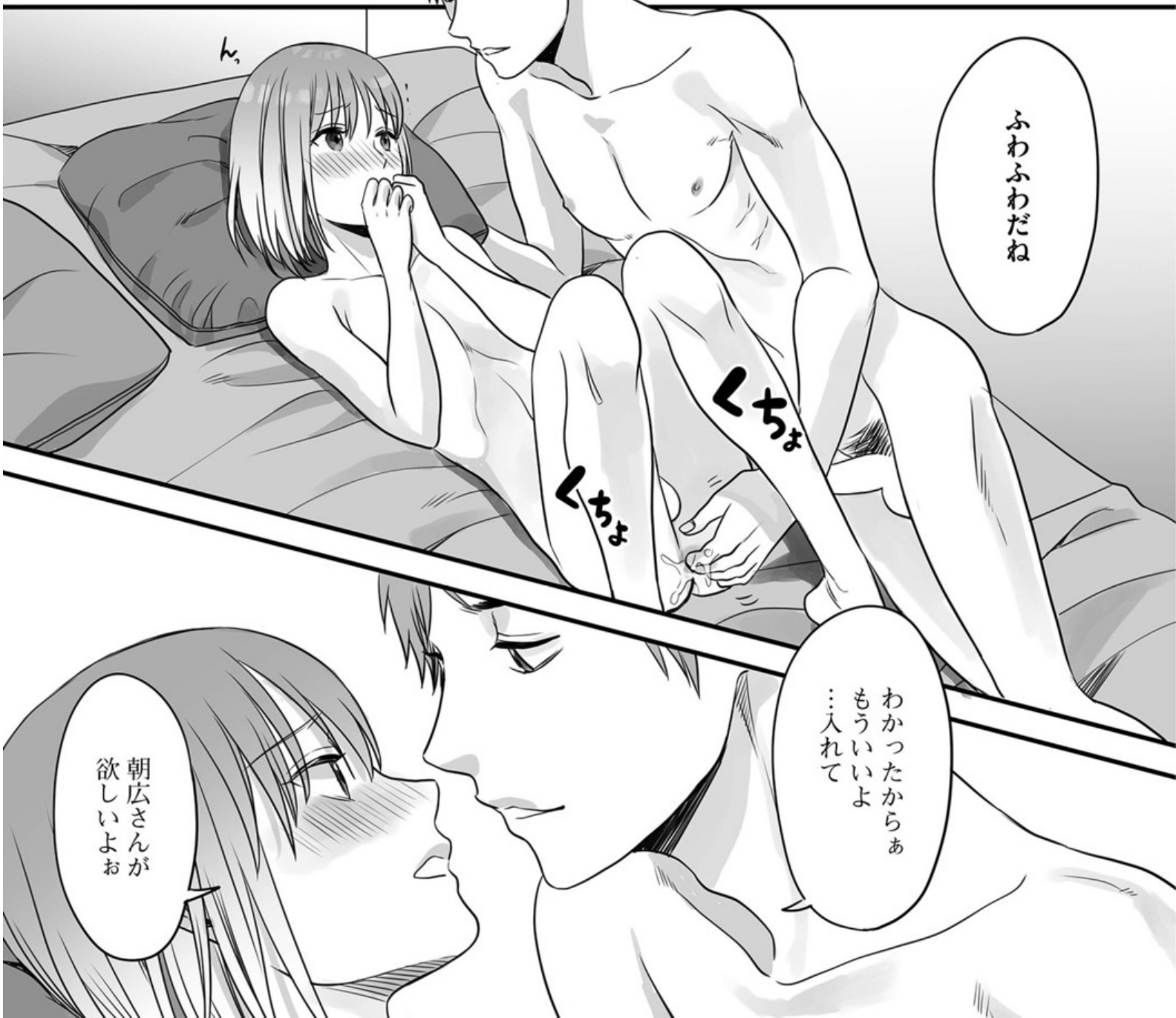
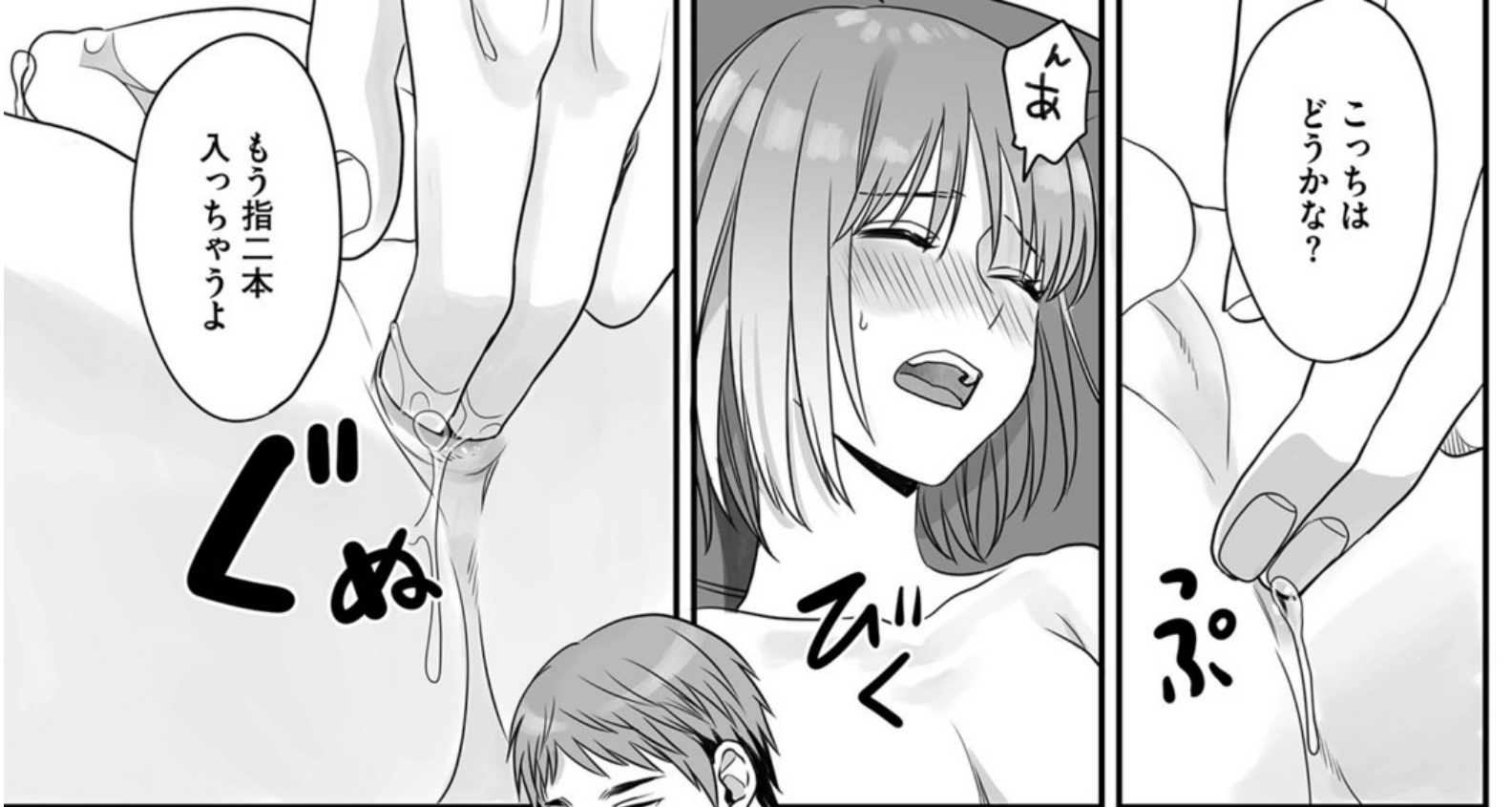
それに朝広さんに
何かお返しができれば
いいなって思うけど

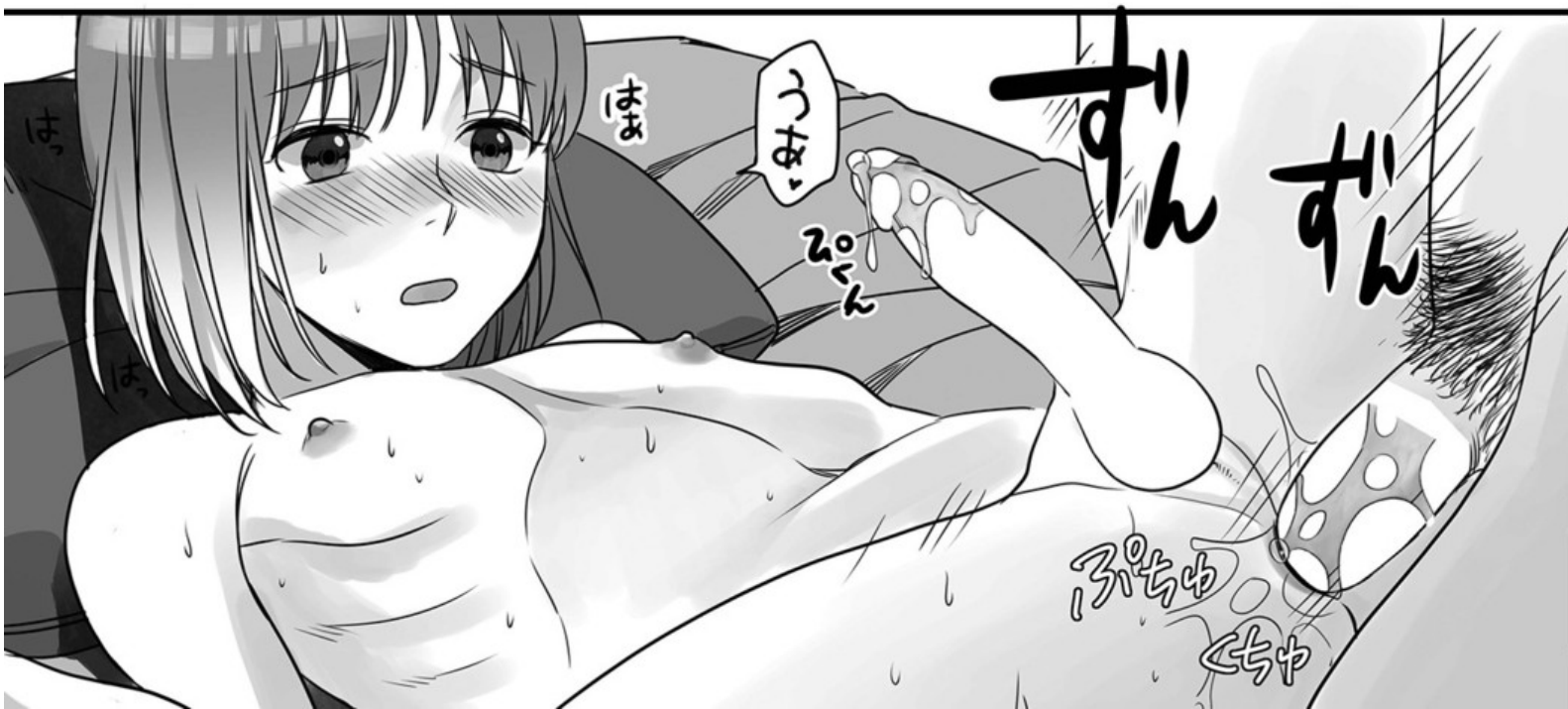
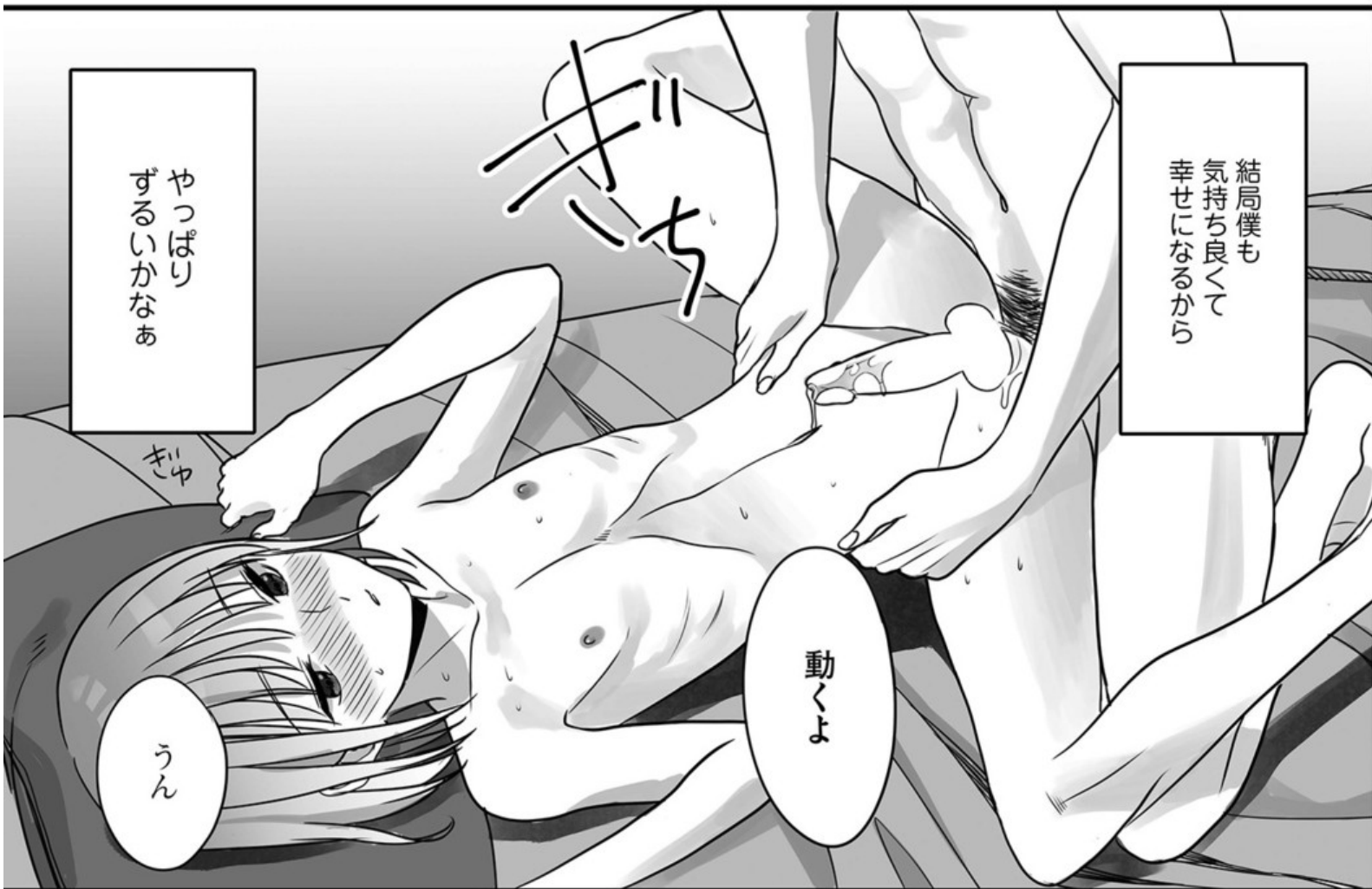
側でできるのは
これくらい…
求められたら
拒まず応えること

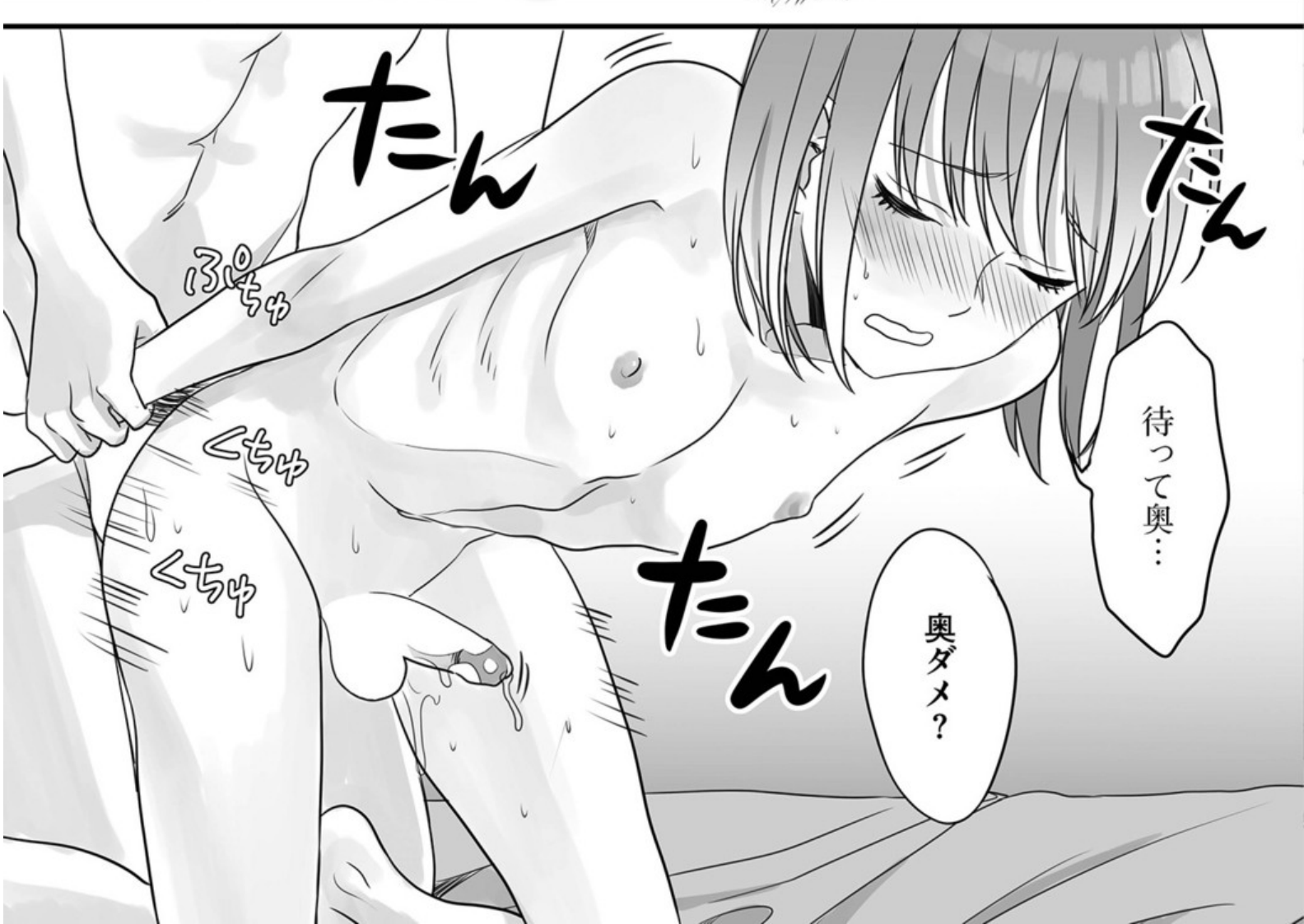
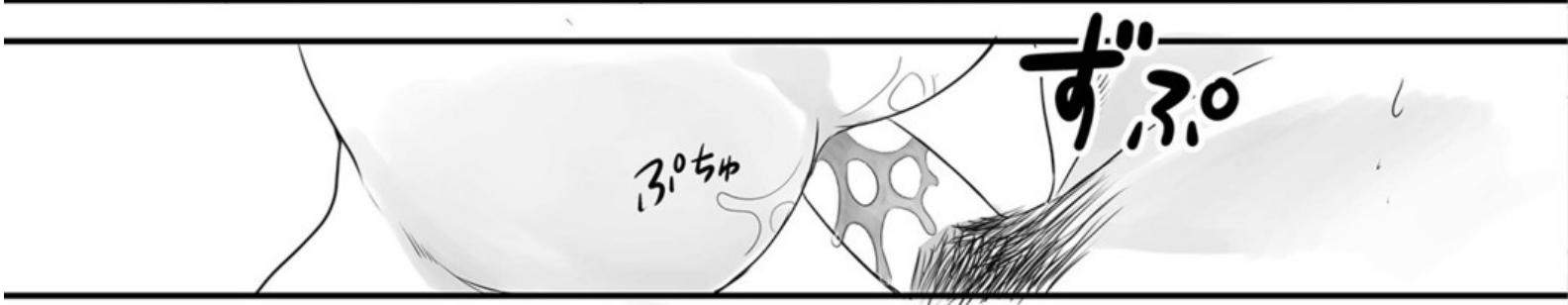


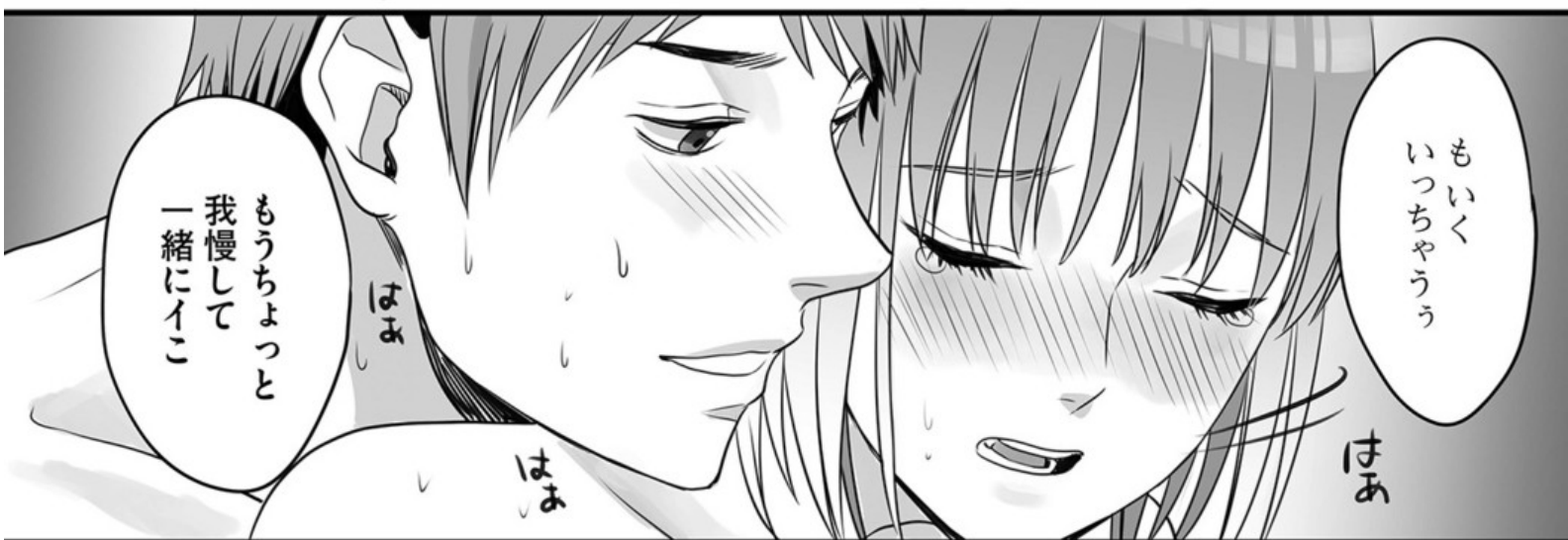
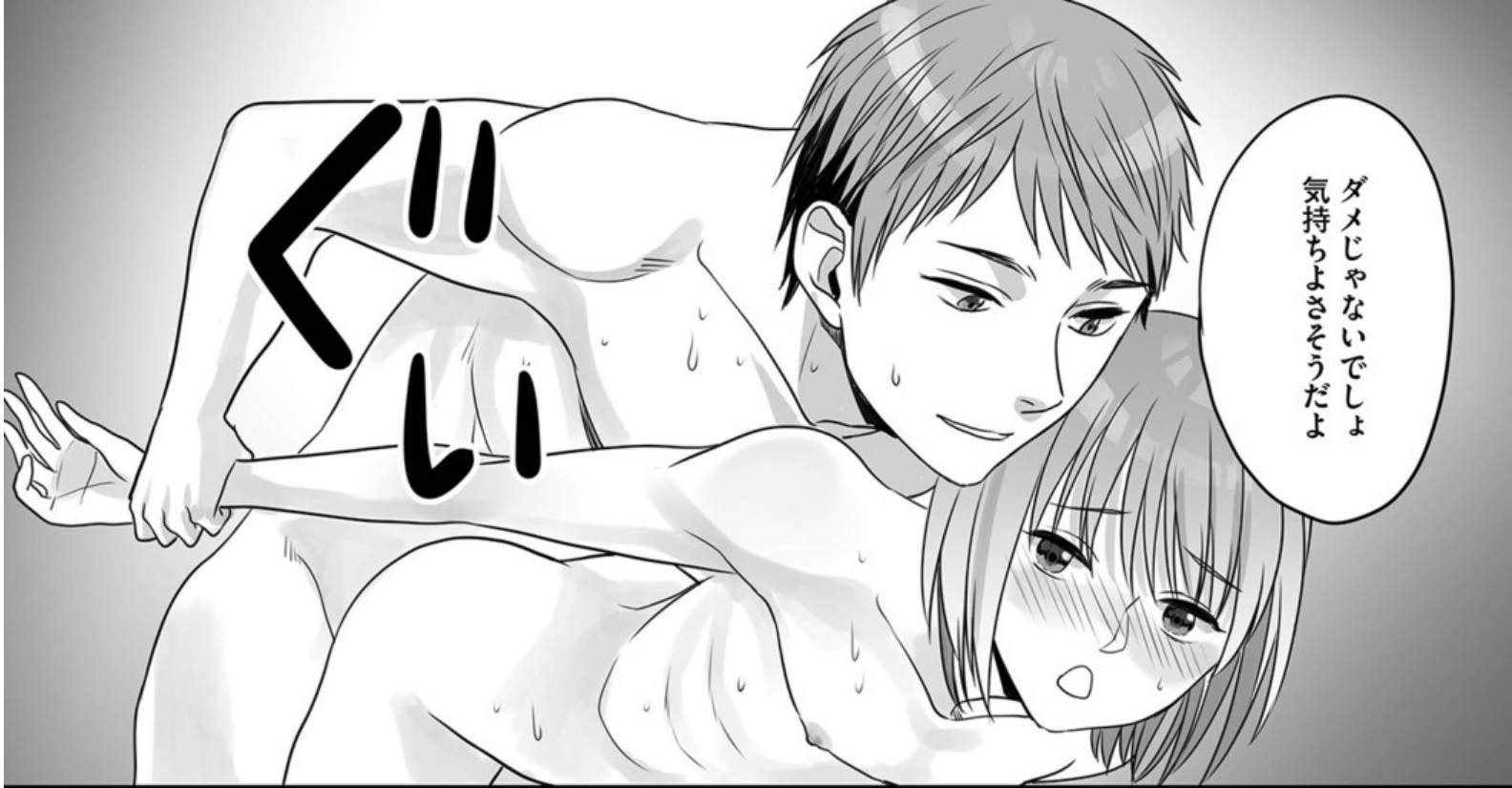


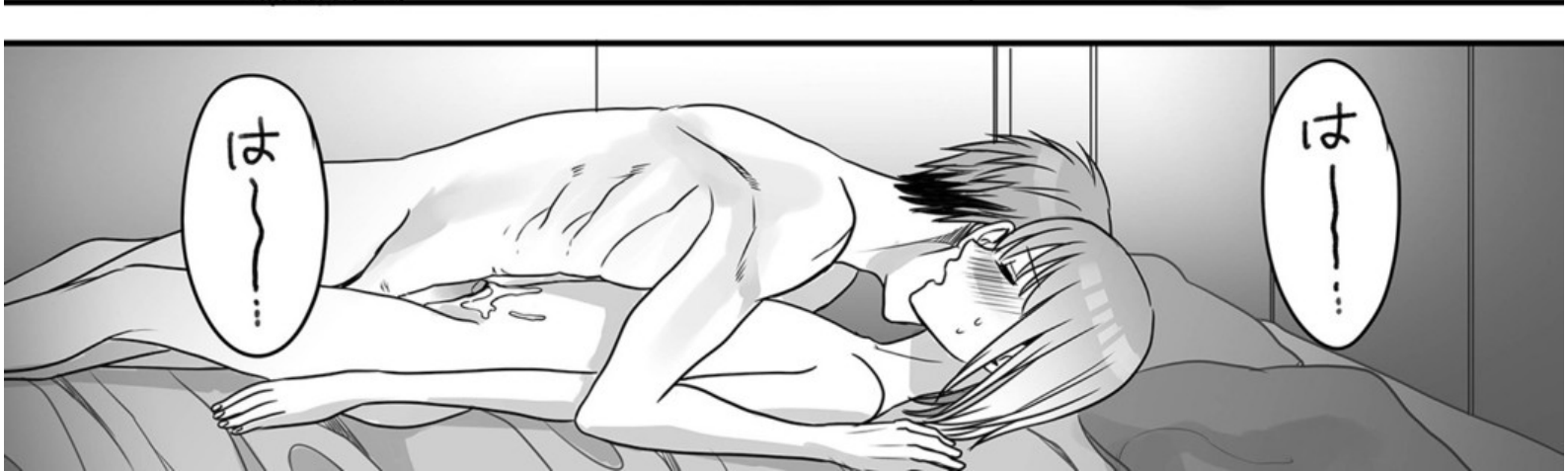














はあ

はあ

僕の気持ちちゃんと
伝わってるかな



ありがとうって
まさか今の…



え

なんのこと？

僕のありがとうの
気持ち伝わってる
かなって



ああ違うよ
求められたら
応えるように
って思ってるけど

僕もしたいし
気持ちよくて
幸せだから
いいのかなって

そうかー

いつも家のこと
やってくれてるでしょ
凄く助かってるよ

本当？

うん

今の僕は朝広さんが
いないと生きて
いけないなあ

それはそれはー
嬉しいなあ

えーなんで



だって離れられないって
ことでしょ



嬉しい
ボクに執着して
くれるの？



キィ
ーゅ

うん

離れないよっ

ずっと一緒だもんね



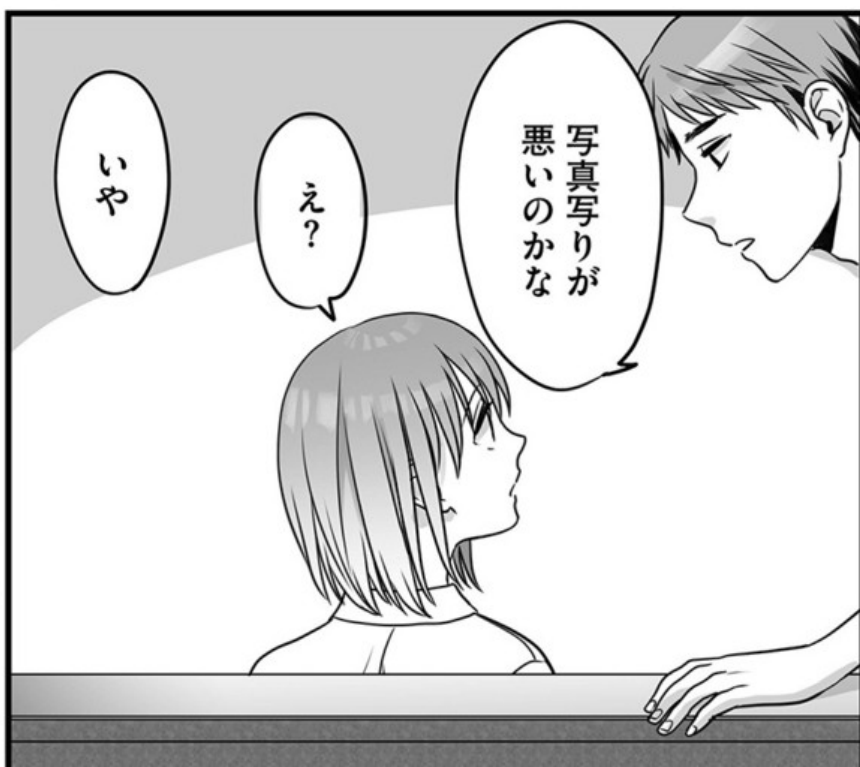


この先もいっぱい
気持ちを
伝えていくんだ

いろいろあるかも
だけど
ずっと一緒に
言ってくれたもん

これから何年経っても
この気持ちは
変わらないんだ
絶対







いいじゃん
頼ってよ

フ



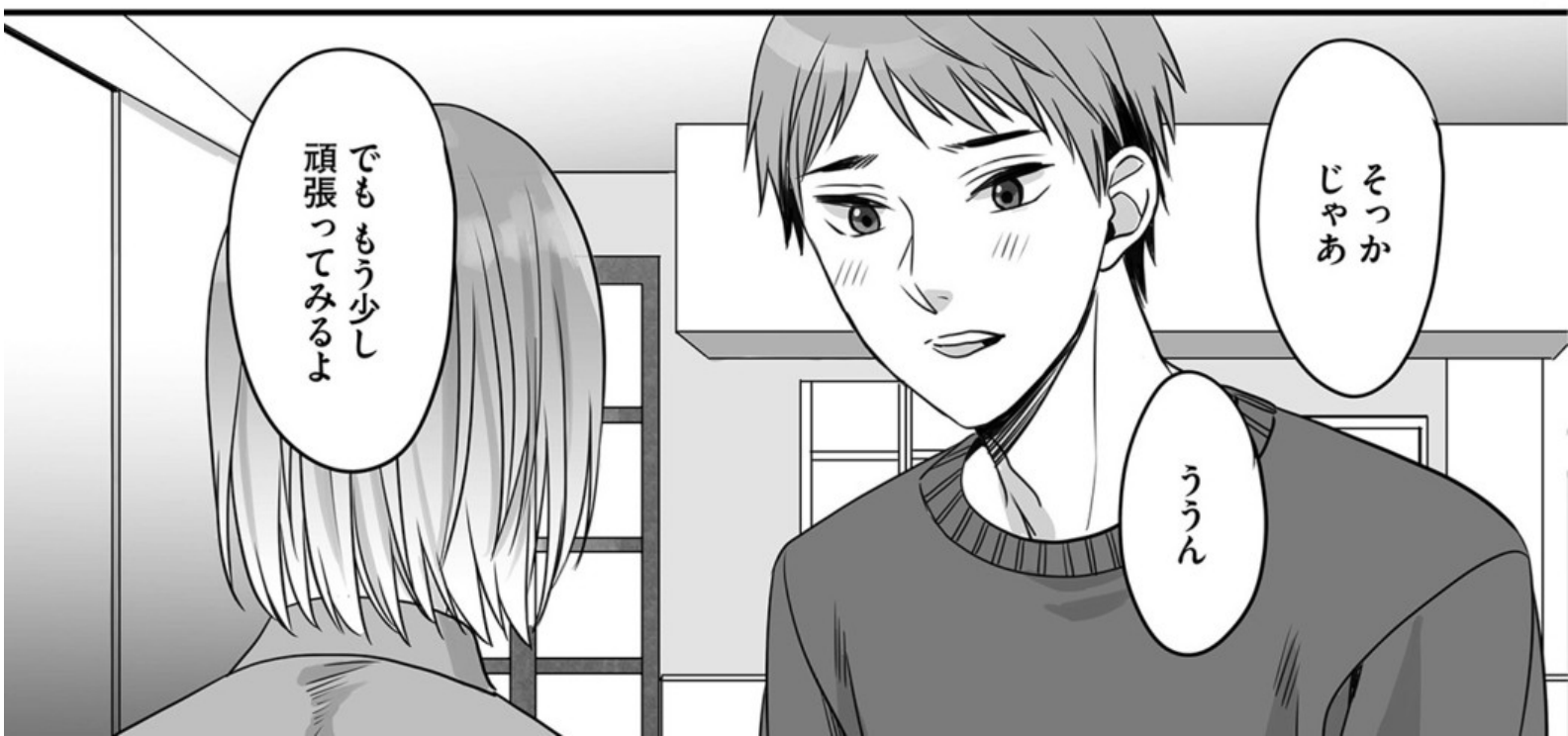
えーだめだよ
朝広さんばかりに
頼ってられないもん

ふふふ



なんなら
永久就職しちゃう？







素直でいいと思うよ



それでダメだったらー
とか…甘い？



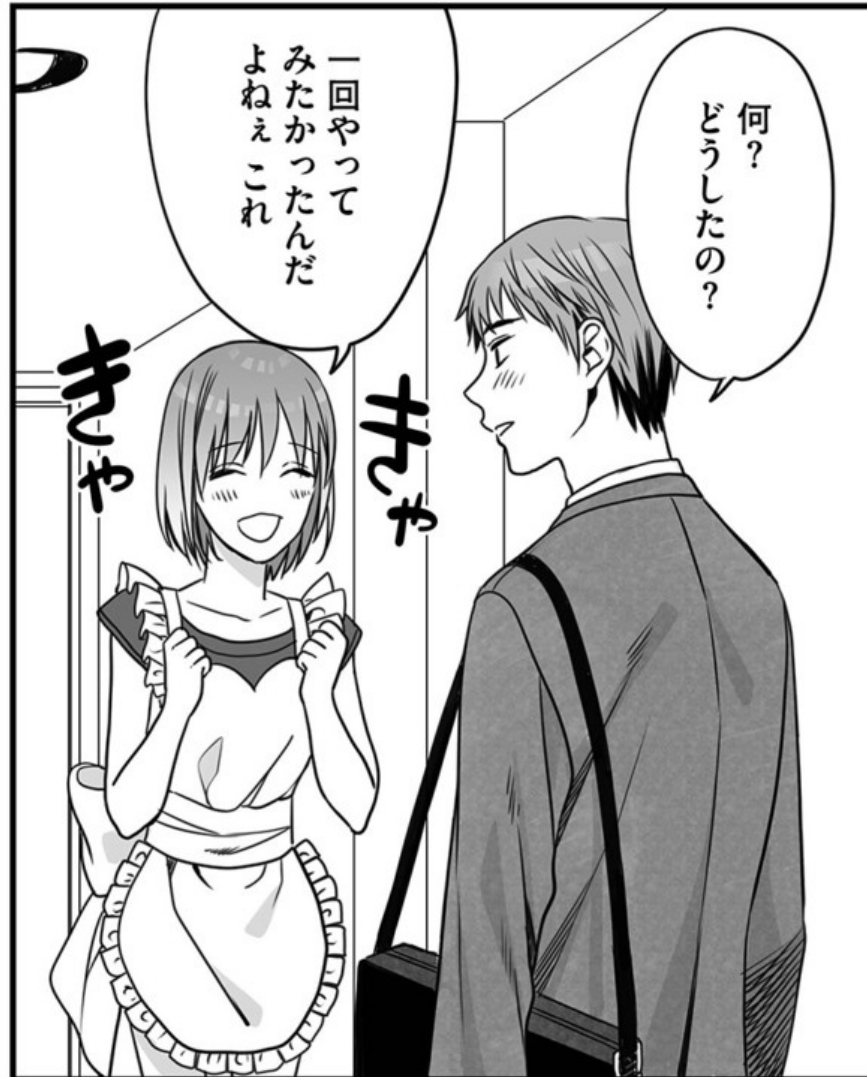
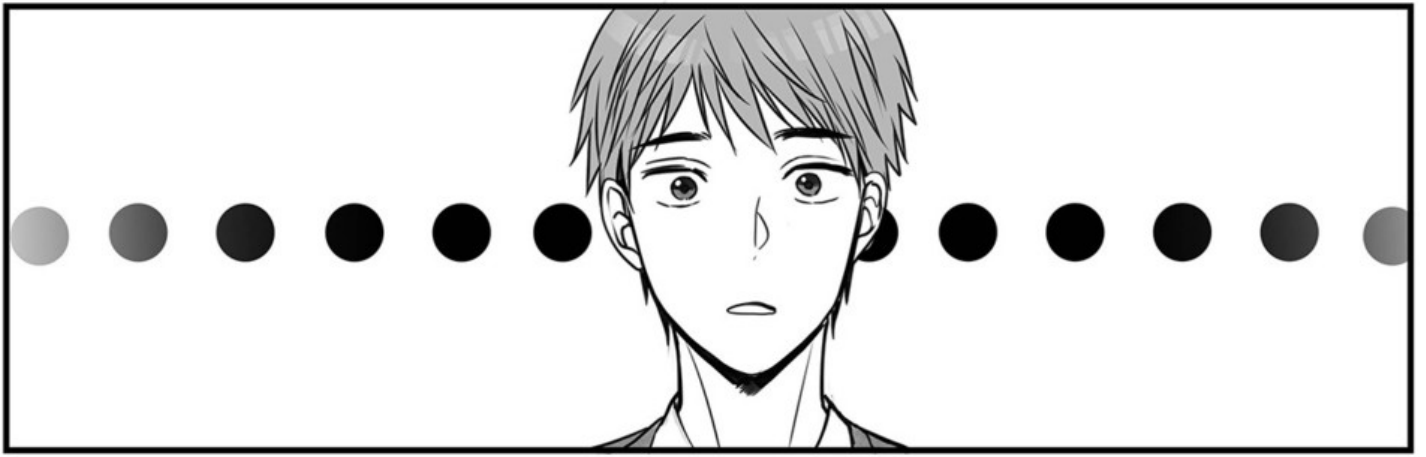
んじゃ頑張って
みようか

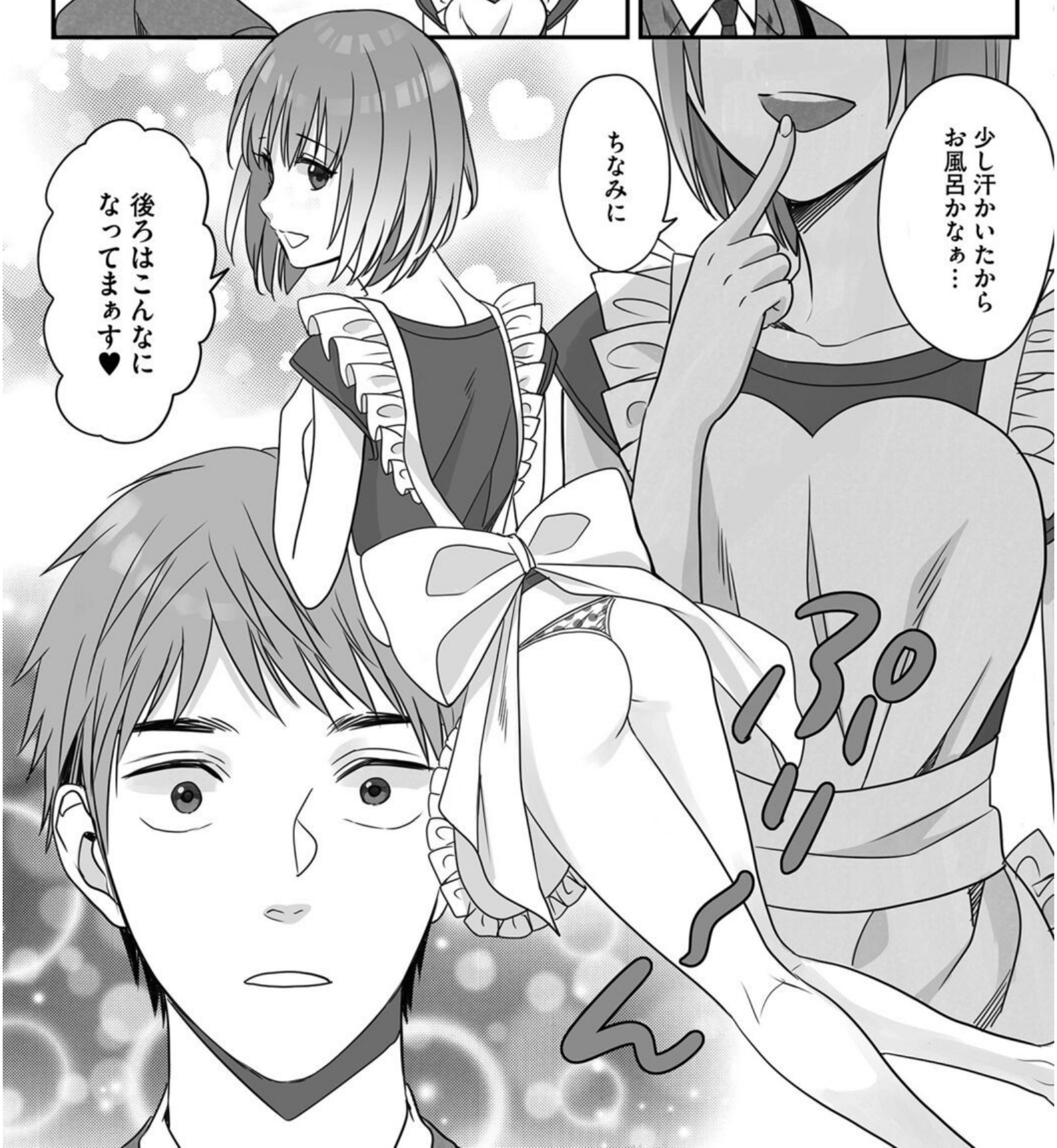
うん
アドバイスくれる？

もちろん

END







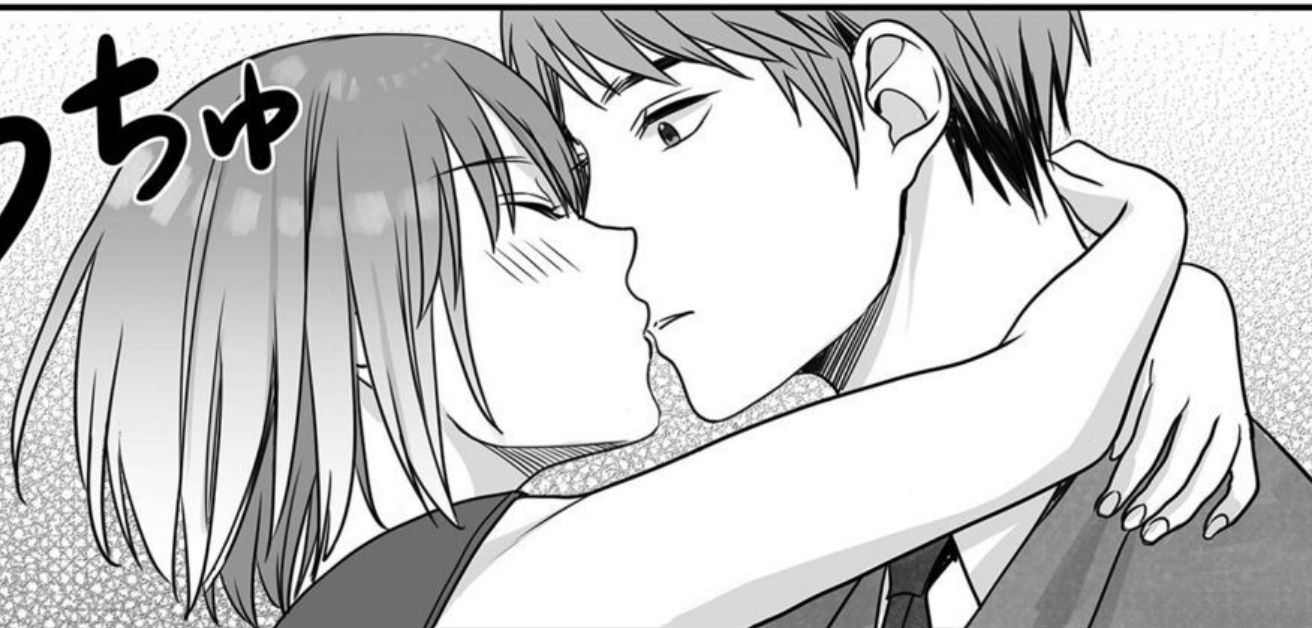
はあい♡

7回
メシ
ポク

メシフロでなく
ぽくで…
お願いします



うちゅ



ううん
就活頑張っ
てね

何が？

うん

これじゃあ俺のところに
就職する研修期間
みたいになってないかあ？

もみもみ



END



HANASAKA

あーっ..

あーっ..
ごさ..ましたー!!
宮下キッス

花坂くんは俺だけに優しい

007 第1話

新・ワンダフルBoy's vol.51 2022年3月

039 第2話

新・ワンダフルBoy's vol.53 2022年5月

071 第3話

新・ワンダフルBoy's vol.55 2022年7月

103 第4話

新・ワンダフルBoy's vol.57 2022年9月

僕の幸せな未来

135

新・ワンダフルBoy's vol.59 2022年11月

光彩コミックス^㉞

2023年7月7日 初版発行

著 者 宮下キツネ
編集人 阿部理絵
発行人 中沢克政
発行所 株式会社 一水社

〒162-0805 東京都新宿区矢来町113 神楽坂升本ビル3F

☎03-6280-8660(代) <http://www.issuisya.co.jp/>

製版所 株式会社オノ・エワン
印刷所 三共グラフィック株式会社
装 丁 齋藤 渉 (chipco design)

©Kitsune Miyashita2023 Printed in Japan

- ・この物語はフィクションであり、実在の人物、団体、思想などとは一切関係ありません。
- ・万一、乱丁・落丁本がありましたら、送料小社負担にてお取り替えいたします。
- ・本書の一部または全部を無断で複写・複製・電子データ化することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
- ・この作品を読んだ感想を一水社までお寄せ下さい。宮下先生へのファンレターもお待ちしております。



あいさつ？

はあ？

電子コミックス版
特別描きおろし

誰が？

俺が

誰に？

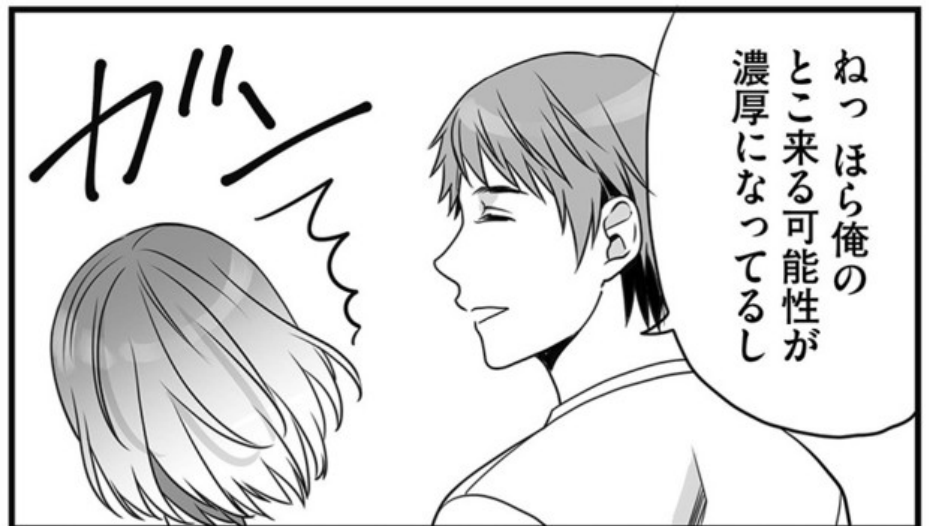
お父様に

ええく

うわっ
嫌そうな顔

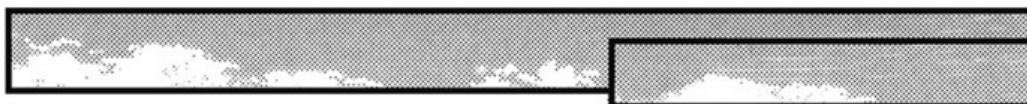
必要ないよ
そんなの

いやいやいやいや



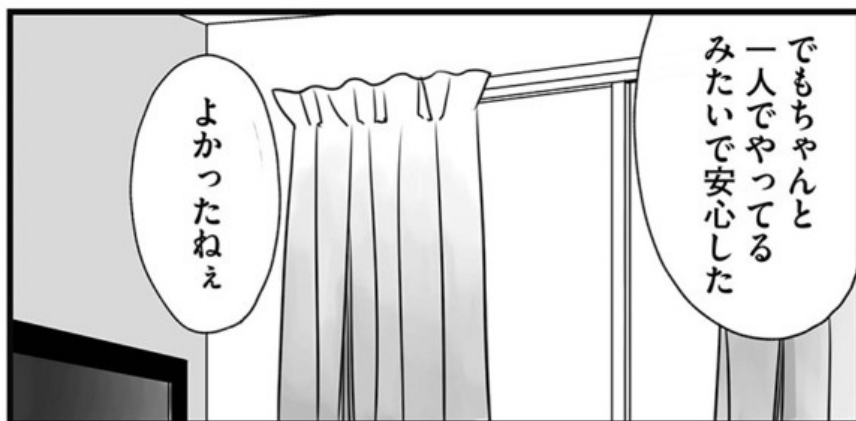
何があっても
知らないよ

うん大丈夫
気に入られて
みせるよ

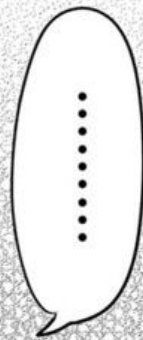


はあ
ああ

疲れた







END

宮下キツネの好評既刊



「普通の友達」

定価 825 円



全国の書店、オンライン書店、電子書籍で発売中。

発行：一水社

お問い合わせ先：☎03-6280-8660



honosakokun ho oredake ni yasashii